

江津湖でくらす

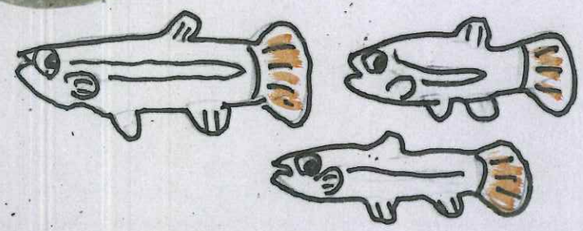
魚　エビ　カニ　貝　鳥　植物

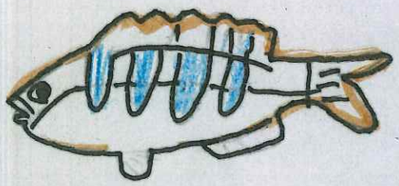
観察日記

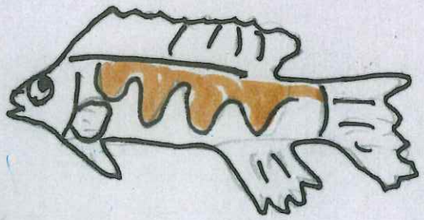




1







2026. 1～3月















（1月・じゃぶじゃぶ池）

1. 研究の動機

2~3年生の時から 田んぼや川にすむ生き物をさい集してきました。さい集した生き物は、場所やきせつによってちがうことに気づきました。

そこで、まず、

ジェゾ沼について、

くわしく調べて

みようと思いました。

（1月）

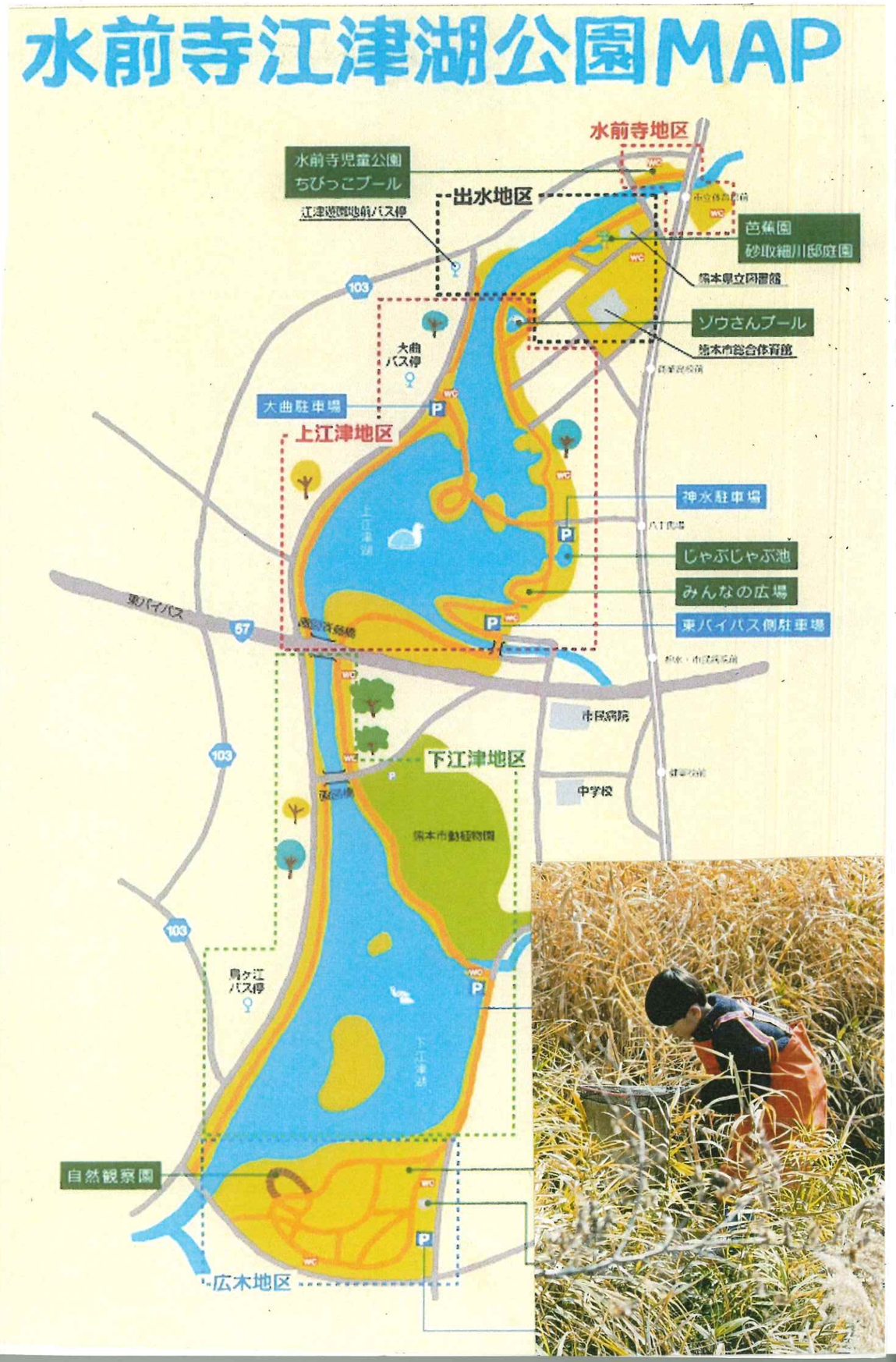


調べる方法 令和8年1月～

① 上江津湖、じゃぶじゃぶ池、下江津湖でどのような魚がとれるか調べる

② 水温・水の色・流れのはやさ・水深を調べる

③ 江津湖も上江津湖、じゃぶじゃぶ池、下江津湖で生息する生物が違うようなので、水しつけんさ（パックテスト）5月からしてみる



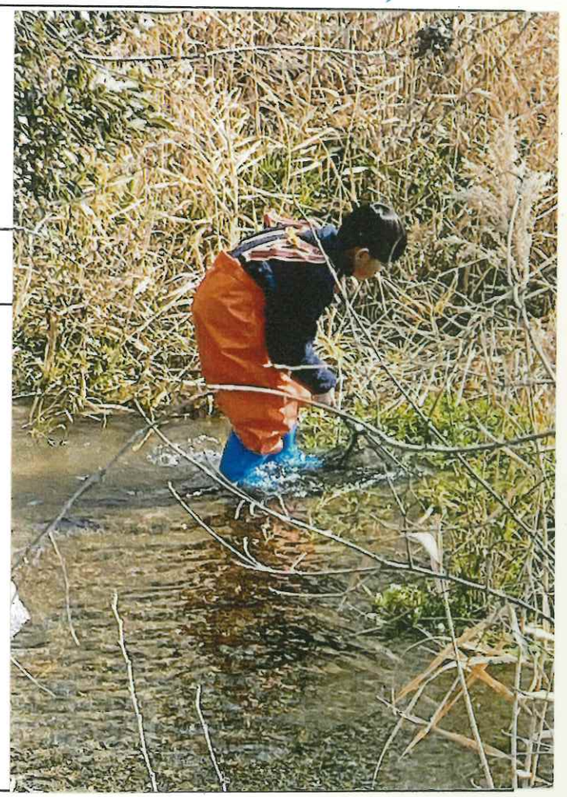
観察レポート

1，観察した日　1月10日(土)　1時10分

2，ジャブジャブ池

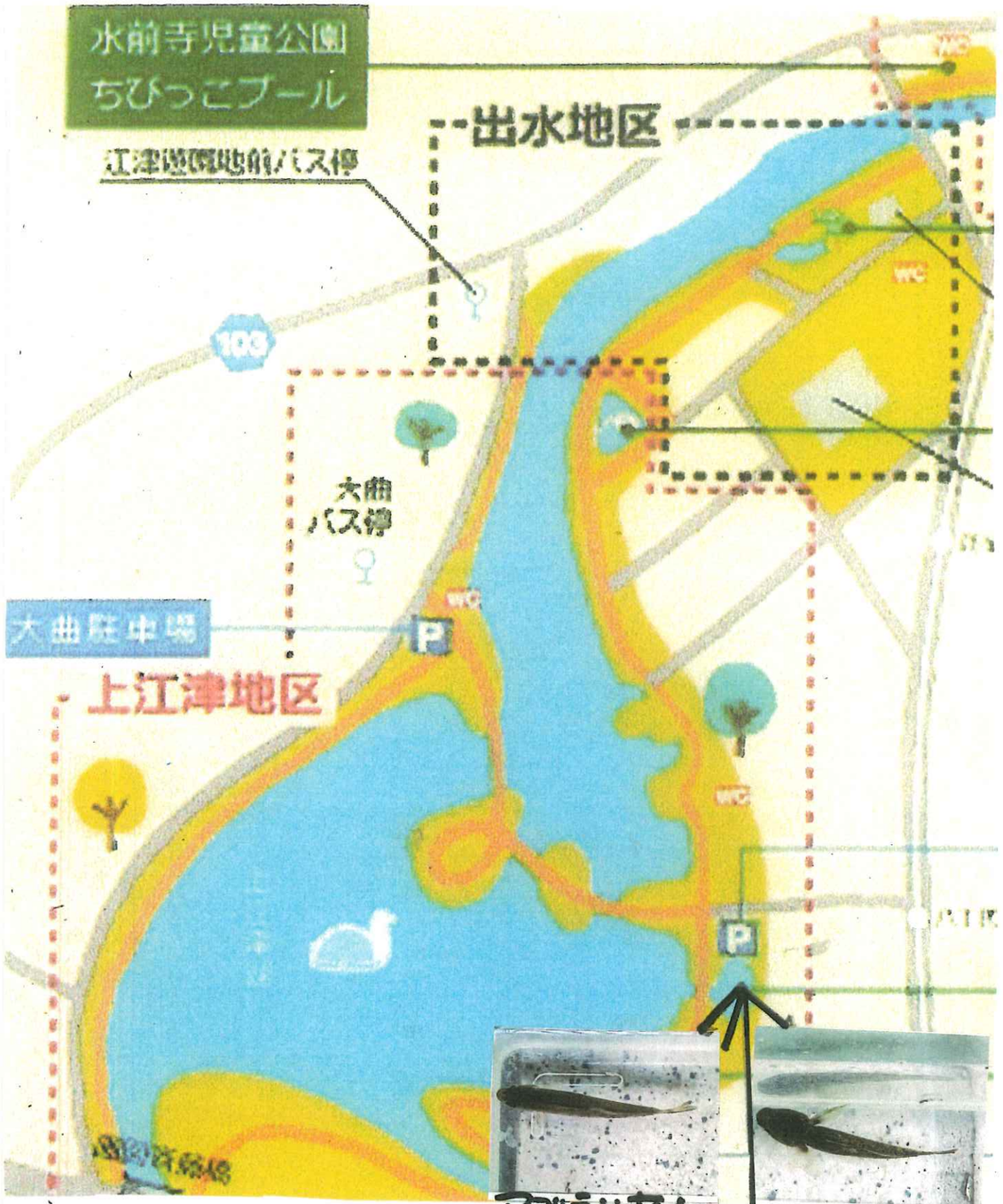
天候	はれ	気温	13℃
採集したの深さ	25cm	水温	16℃
流れの様子	やや速い	川底の様子	
水の色	すんでいる		

生息していた植物・鳥
コサギ
シオデ



採集した生物
ヨシノボリ　ノ
アブラハヤ　ノ
カワニナ　6
サワガニ　ノ

天気　晴れ　くもり　くもりのち晴れ　雨　強風



アブラハヤ

ヨシノボリー


サワガニー


カワニナ正ー

1月10日　13℃　晴れ

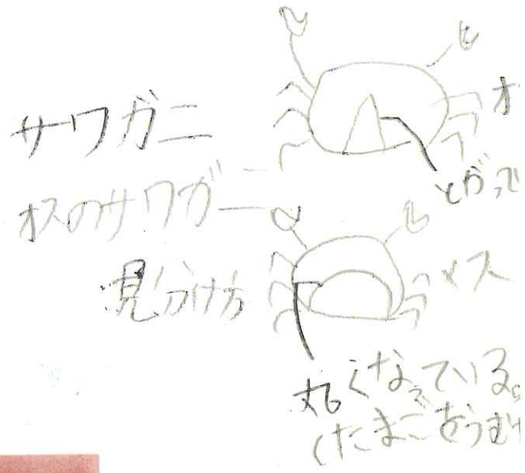


アブラハヤ
その名の通り、表面に
油をぬったようなぬめりがある。



ヨシノボリ
はらびれがきゅうばんに
なっていて、石にへばり
つくことで流されない

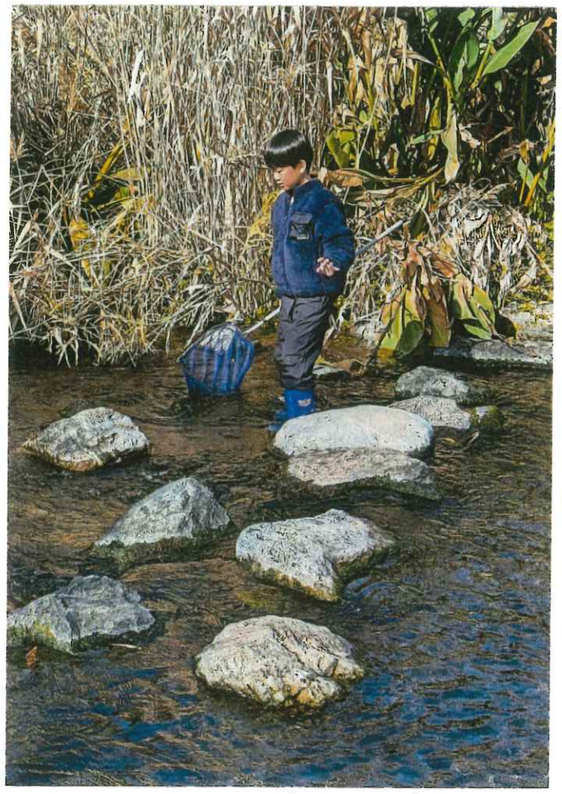


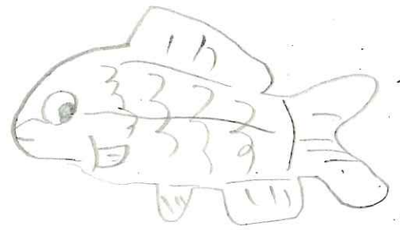




カワニナ
ホタルの幼虫のエサ。

1月10日　気温13℃





じゃぶじゃぶ池

1/10は、気温※1がひくいが、水温※2は少し高い。

※1 13℃。（気温）

※2 16℃（水温）

ジャブジャブ池でみつけた鳥と植物

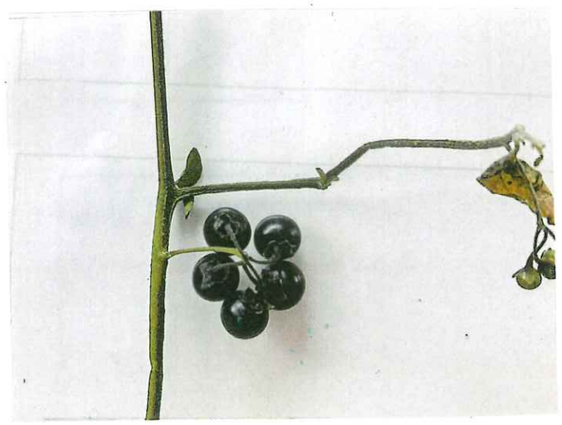


コサギ

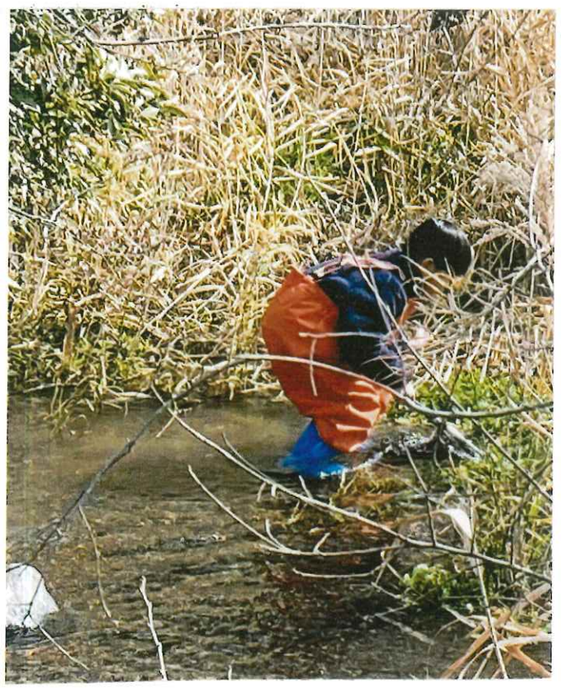


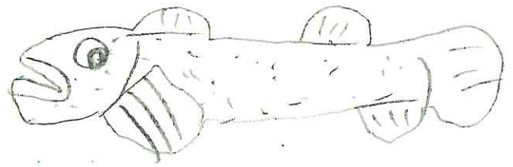


濁った鳴き声のセグロセキレイ



シオデ







観察レポート　上江津湖

1，観察した日　1月10日(土)　1時30分

2，

天候	☀	気温	13°
採集した の深さ	20cm	水温	18°
流れの様子	少し速い	川底の様子	そこはごりがある
水の色	すんでいる		

生息していた植物

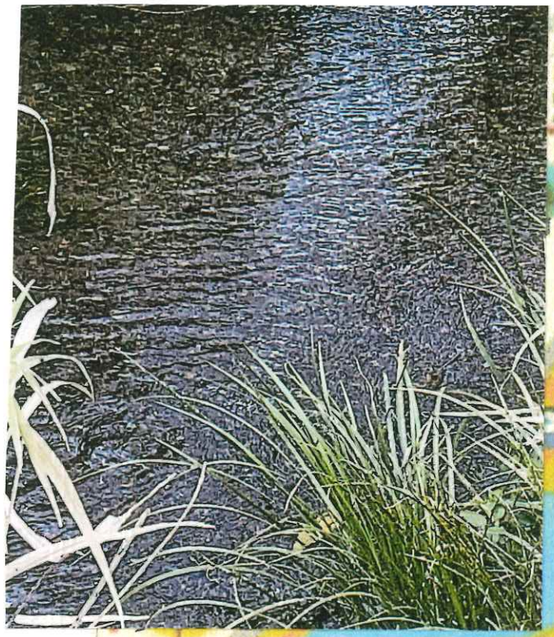
血止め草がおいしげっている



採集した生物

ドンコ 2
アブラハヤ 1
ヨシノボリ 1
スジエビ 1
メダカ + (カダヤシ)の稚魚
ナベブタムシ 1
ヌマエビ 20
カワニナ 11
イトトンボヤゴ 1
サワガニ 1

10分くらい 木中
カメラ設置　魚は発見できなかった。



1月10日　(上江津湖)



スジエビ

4cmくらい。
ヌマエビより大きい。



こナミ
ヌマエビ

2cmくらい。
スジエビより少し小さい。

こだヌマエビとヤマトヌマエビの
ちがいは
ヤマトヌマエビは.あみに入ったら
歩く
こだヌマエビは はねる。



ナベ
ブタムシ

3～5mmほどの小さな虫。
(しゃとんは.かく大している)



ドンコ

ハゼの仲間だが.はらびれが
きゅうばんじょうになっていない。

体長 10 cmくらい。



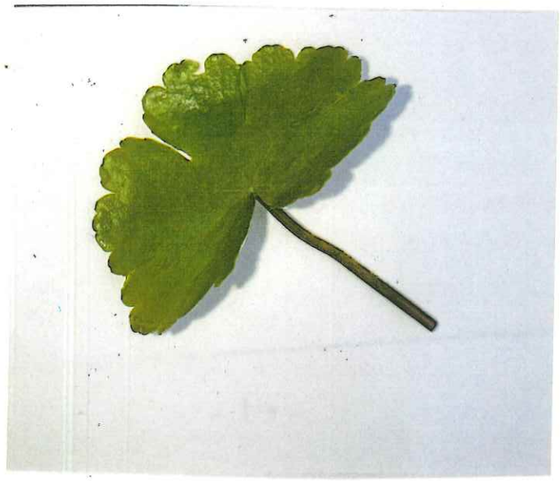
イトトンボのヤゴ

3cmくらい。



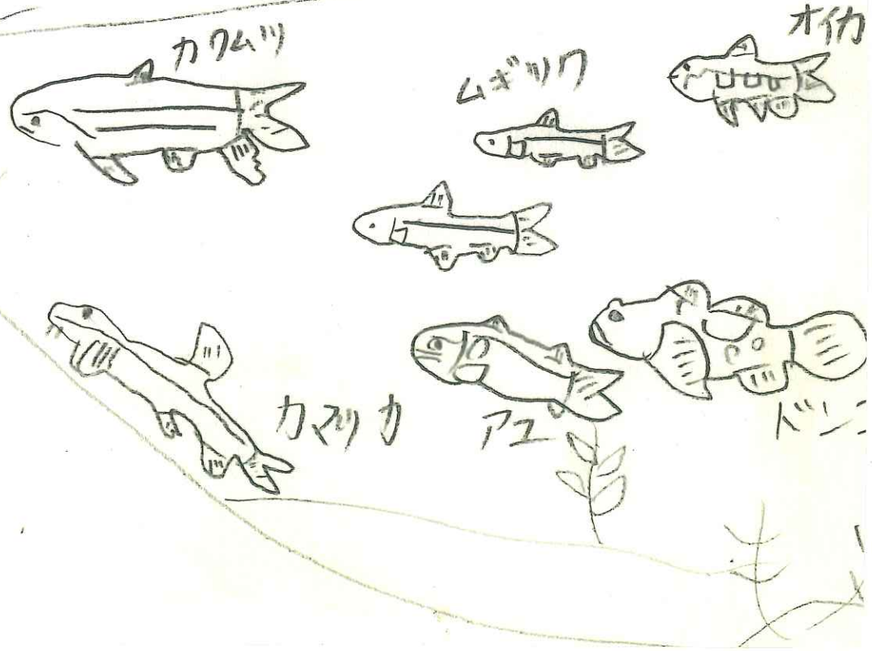
カダヤシ

力の幼虫(ボウフラ)を食べに
外国から日本へやってきた。



ブラジル
チドメグサ

近江津沼の生物



上江ヶ湖

観察レポート

1，観察した日　2 月 1 日（日）　12 時 45 分

2，

天候		気温	10℃
採集した の深さ	少し深い	水温	17℃
流れの様子	速め	川底の様子	
水の色	ややよごれている		

生息していた植物

採集した生物

ドンコ（1）　ヤゴ（イトトンボ）（12）
子ザリガニ（1）
ヨシノボリ（5）　スミウキゴリ（1）
ナベブタムシ（1）
ヌマエビ（多数）




ドンコ（1）


子ザリガニ（1）


スミウキゴリ（1）


ヌマエビ


（イトトンボ）


ヨシノボリ（5）

2月1日（上江津湖）



ドンコ

ハゼの仲間だが、はらびれがきゅうばんとしても
イ使わりがない。



スミウキゴリ

さわると、ぬるぬるしている。



アメリカザリガニ(子)

自分の体より小さい魚などを食べる。



ヌマエビ



ヨシノボリ

はらびれがきゅうばんじょうになっている。

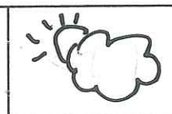


ヤゴ（イトトンボ）

観察レポート

1，観察した日　2月1日（　）　13時15分

2，　ジャブジャブ池

天候		気温	17°
採集した の深さ	あさい	水温	16°
流れの様子	遅い	川底の様子	
水の色	きれい		

生息していた~~植物~~
オオバン　鳥　カワセミ（1）
ヒドリガモ
ユリカモメ



採集した生物
サワガニ　2
ヨシノボリ　6
ザリガニ　2
エビ　1
アブラハヤ　1
ヌマエビ　多数
カワニナ　多数

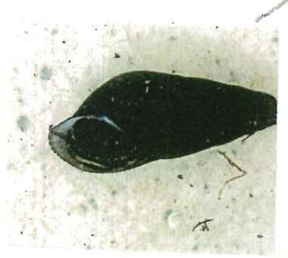



カワセミ


オオバン

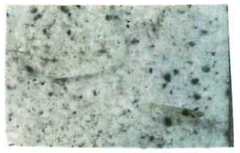

サワガニ(2


ヨシボリ(


川ニナ(多)


アブラハヤ


ザリガニ(2)


ヌマエビ(多)

2月1日　ジャブジャブ池



サワガニ

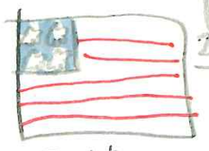
水のきれいな、
小川などにすんでいる。



アメリカザリガニ

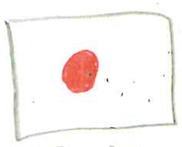
外国からウシガエルのえさとして持ちこまれ全国ですてられたりしてはんしょくした。大きなハサミを持ち、こうげきせいがある

100ぴきほどいたけど
お友だちのときに分かり
20ぴきになった。



アメリカ

1927年
20匹



日本



カワムツ

せい長すると、ひれが黄色くなる。



カワニナ



ヌマエビ

2月1日　（ジャブジャブ池）



オオバン



ヒドリガモ



（ヒドリガモ）

2月1日（ジャブジャブ池）



カワセミ

コリカモメ

上江づ湖

観察レポート

1，観察した日　3 月 1 日(　)　13 時 30 分

2，

天候		気温	22°
採集した の深さ	あさい	水温	20°
流れの様子	おそい	川底の様子	すんでる
水の色	すんでいる		

あたたかい

生息していた植物

セリ
ブラジルチドメグサ

採集した生物

生物は、1ヶ月の間に成長

ドジョウ（5）
ヌマエビ（多数）
スジエビ（5）
カワムツ（3）
ナベブタムシ（1）
ヨシノボリ（1）
オニヤンマのヤゴ（1）
スミウキゴリ（2）
ザリガニ（2）
カワニナ（5）
サワガニ（1）
アブラハヤ（1）



3月1日　（上江ゞ湖）



体長（15cm）

ドンコ



体長（12cm）

〃



体長（8cm）

〃

うんさうレポートにドンコが5匹とれたと書いてあるが、それは1.2cmほどの小さなドンコ。

3月1日　（上江ゞ湖）



ヌマエビ

江津湖やほかの水辺ではかならずとれる生き物



スジエビ

体長（5cm）

ヌマエビより大きい

3月1日　(上江ブ湖)



カワムツ

10～15cm



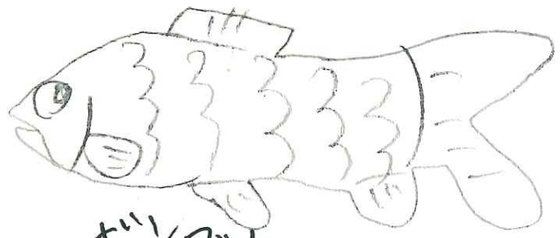
せい長すると、ひれが黄色くなる。

3月1日　上江ブ湖

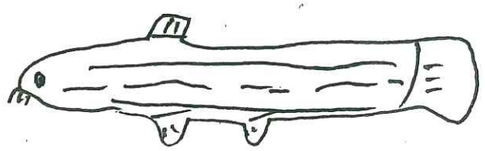


アブラハヤ

その名の通り、表面に油をぬったようなぬめりがある。



ギンブナ



3月1日（上江津湖）

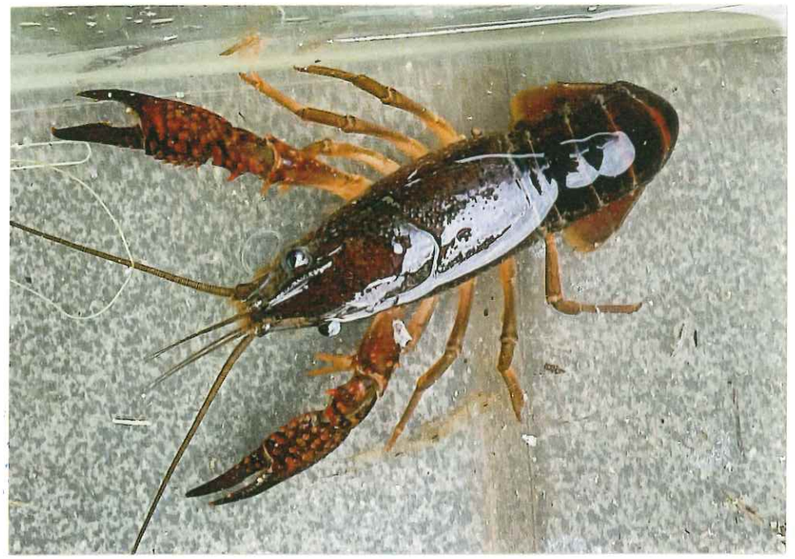


ゴクラク
ハゼ



ウキゴリ

3月1日



アメリカザリガニ



子もちのザリガニだった。

次の日、赤ちゃんザリガニは親から離れた
たくさんいたザリガニは1匹となり
体長5mm 4/4 体長1cmくらいになった。

3月1日　（上江ヶ沼）



アメリカザリガニ



サワガニ

3月1日



ヤゴ（オニヤンマ）



ヤゴ（イトトンボ）



カワニナ

観察レポート

1，観察した日　3月1日(　)　14時00分　ジャブジャブ池

2，

天候	曇	気温	22°
採集した の深さ		水温	19°
流れの様子	速め	川底の様子	すんでいる
水の色	すんでいる		

生息していた植物

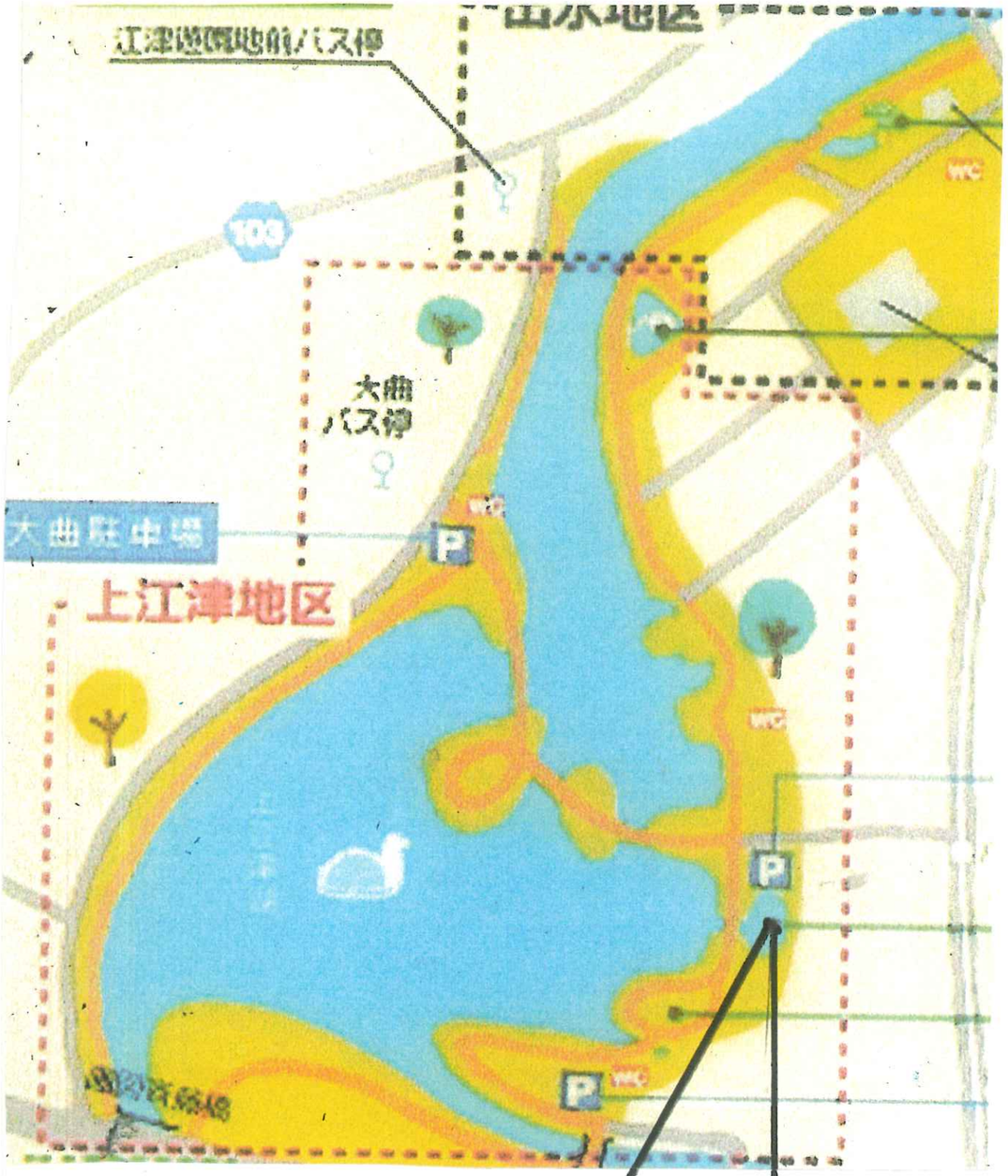
トリ

コサギ (1)　　銀60cm 別名シラサギ

採集した生物

ヨシノボリ(1)

人が多くて、魚が見つからなかった





ヨシノボリ

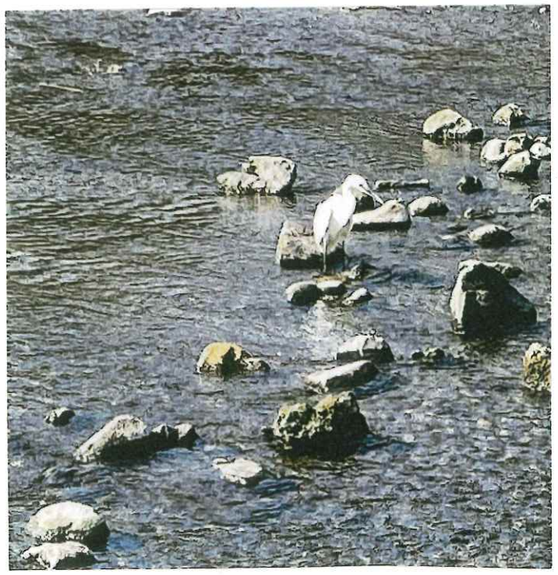


コサギ

3月1日　シャブジャブ池

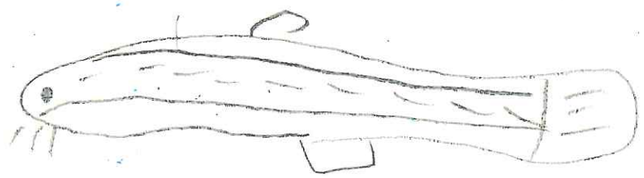


ヨシノボリ



コサギ
(シラサギ)

全長60cm



観察レポート

1，観察した日　3月19日(　)　1時40分

2，

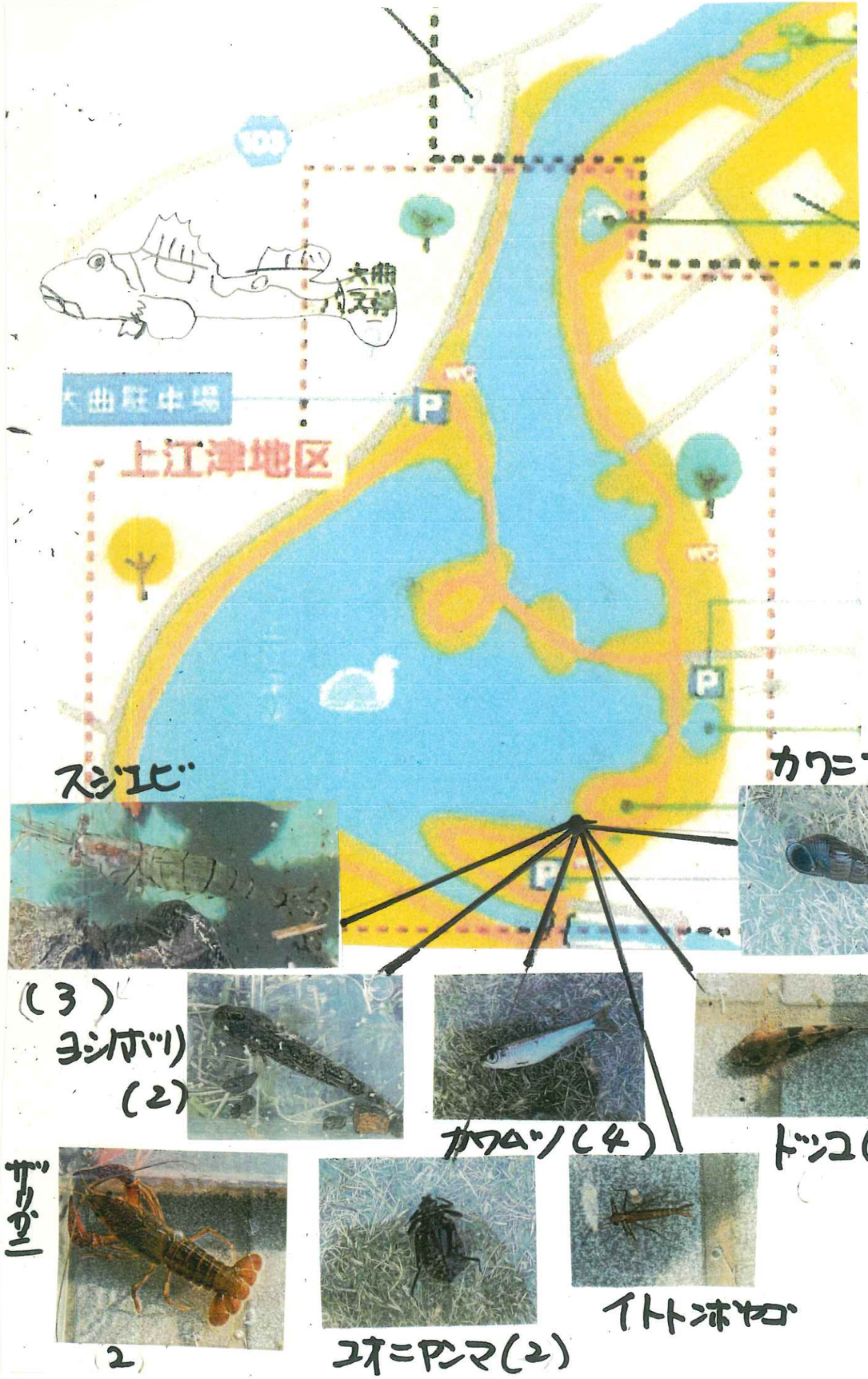
天候		気温	21℃
採集したの深さ	やや深い	水温	20℃
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	
水の色			

生息していた植物

採集した生物

ヨシノボリ　(2)
カワムツ　(4)
ヌジエビ　(3)
コオニヤンマ　(2)
サナエトンボヤゴ　(2)
イトトンボヤゴ　(2)
アメリカザリガニ(2)

ドンコ(12cm) 3
カワニナ



3月19日（上江津湖）



ヨシノボリ

エサ
幼魚：ミジンコ
成魚：カワゲラ、小さい魚、エビ、アカムシ、ゴカイ類



ドンコ

エサ
幼魚：ミジンコ
成魚：水カゲラ、魚、エビ、エビ、カニ



アメリカザリガニ

3月19日　（上江津湖）



カワムツ

4ひきとれた



コオニヤンマ

体長 2.5cm

大きい



イトトンボ

観察レポート

1，観察した日　3月19日(　)　2時30分

2，ジャブジャブ

天候		気温	21℃
採集したの深さ	20cm	水温	19℃
流れの様子	速い	川底の様子	すんでいる
水の色			

生息していた植物

採集した生物

ヨシノボリ 2

ナベブタムシ (6)





ヨシノボリ(2)



ナベブタムシ(6)

観察レポート

1，観察した日　3月19日(　)　13時30分

2，下江ブ沽月

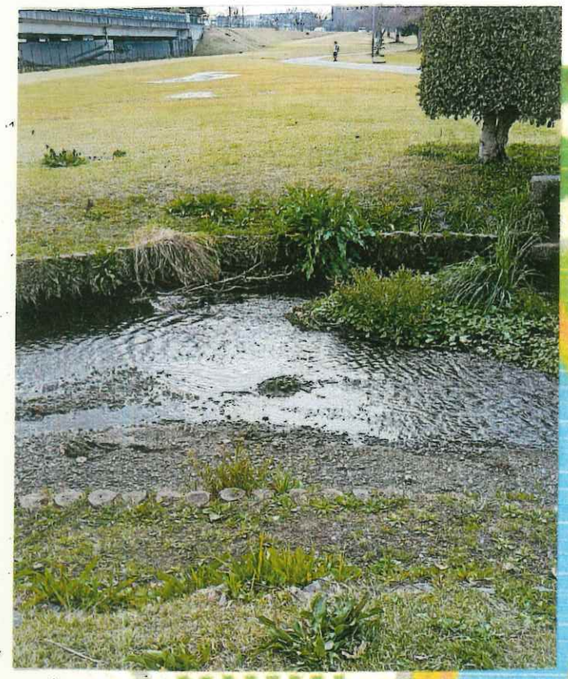
天候		気温	20℃
採集したの深さ	深い	水温	19℃
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	コンクリート化されているところがある
水の色	上流にいくほどにごる		

生息していた植物

採集した生物

子ザリガニ(2)
ヌマエビ(5)
タナゴ(1)

魚がたくさん泳いでいたが　魚が早く泳いでいたためつかまえにくかった





子ザリガニ(2)

ヌマエビ(5)

バラタナゴ(1)

3月19日
下江ヶ湖



子ザリガニ



ヌマエビ



タイリク
バラタナゴ

ブルーギル同じく中国から来た外来生物。

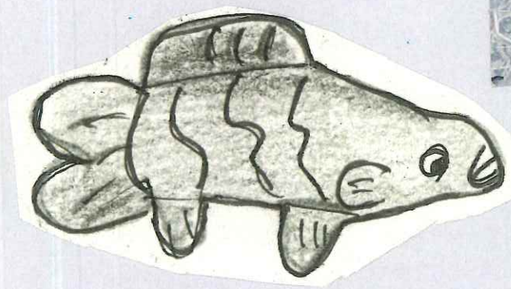
ビエブ湖でくらす

魚　エビ　カニ　貝　鳥　植物

2026 3～4月

観察日記 2









オイカワ



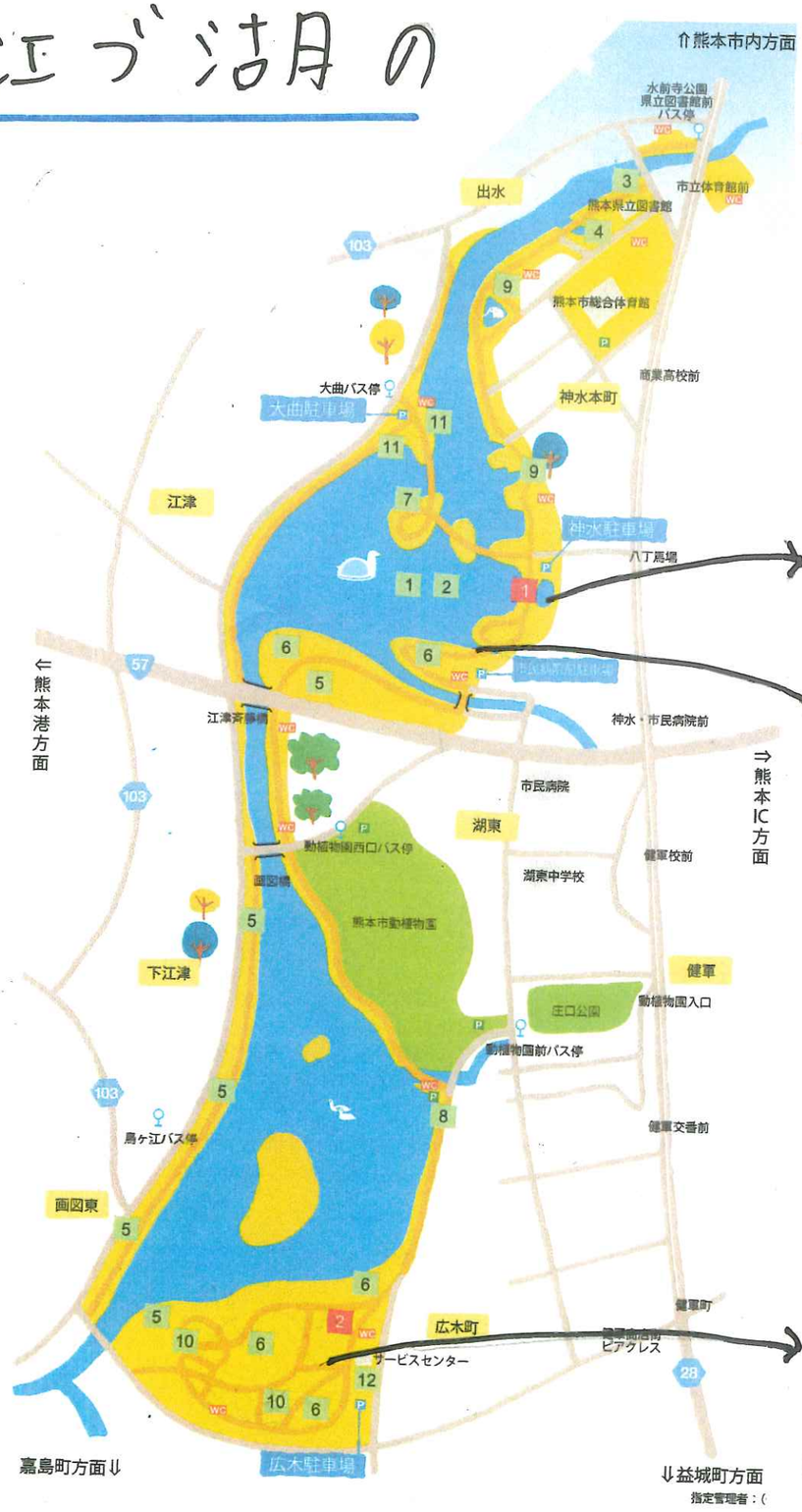
ヨシノボリ





3月　上江づ湖のようす

水生生物をさい集した江づ湖の地図



観察レポート

1，観察した日　3 月 21 日(　)　11 時 10 分

2，

天候		気温	21℃
採集した の深さ		水温	20℃
流れの様子	ない	川底の様子	すんでいる
水の色			

日射しが強くなった。

上江ノ湖

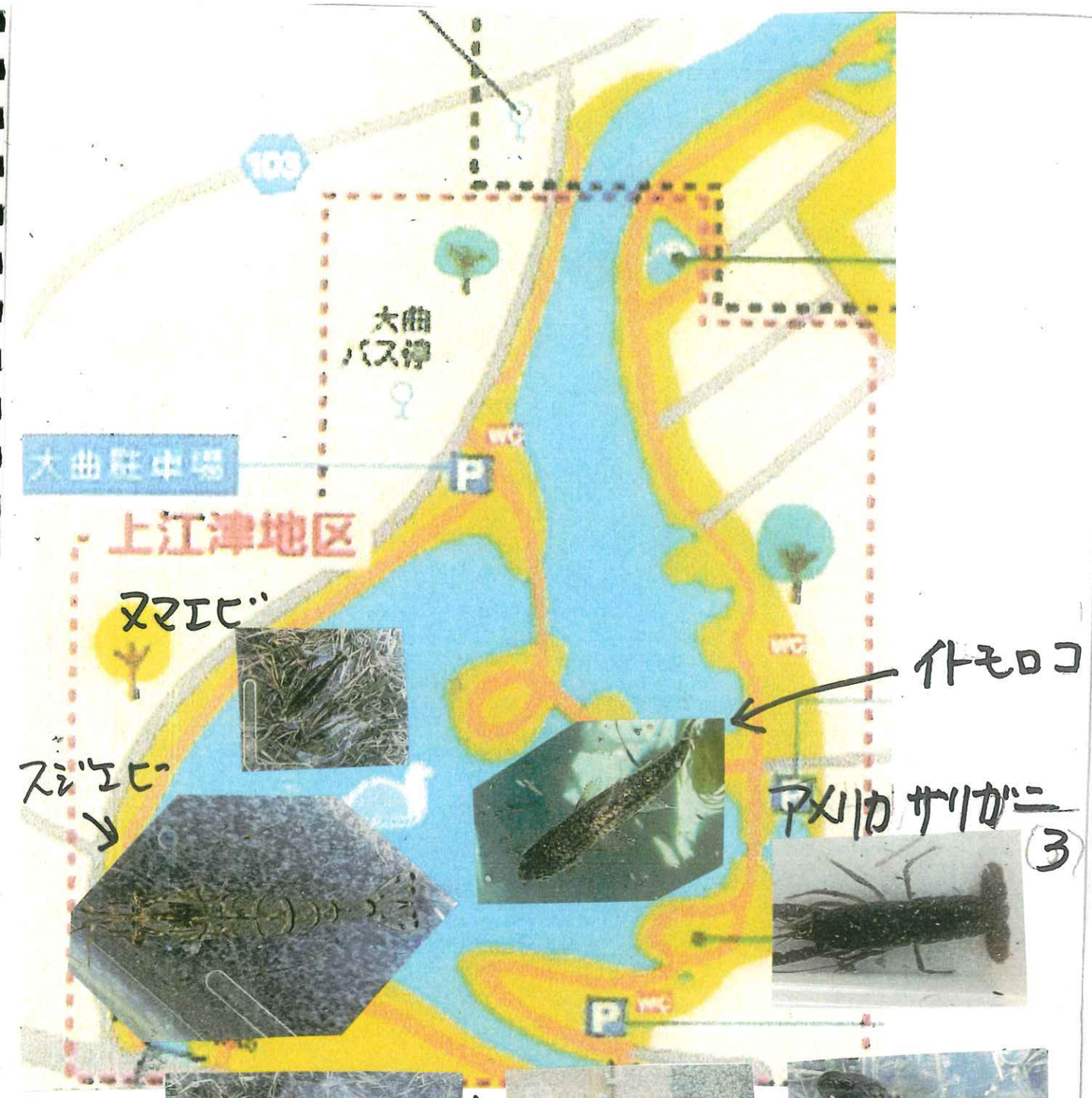


生息していた植物
オランダガラシ

魚が大きくなっている

採集した生物

ヤゴ　コオニヤンマ（1）　オニヤンマヤゴ
スジエビ（1）
ドンコ（1）　ヨシノボリ（1）　ヤゴ { イトトンボ 5 / オニヤマ 1 / コオニヤマ 1 / サナエトンボ 2
ヌマエビ　イトモロコ（2）
カワムツ（8）大きい
オイカワ（2）20cmくらい
ザリガニ（3）11cm　スジエビ / ヌマエビ



3月21日（上江津湖）



カワムツ

この日にとれたカワムツは10cmより大きかった。
（オイカワも）



オイカワ

カワムツとオイカワのちがいは
はんしょく期月にかわる色
カワムツは尾れが黄色くなり全身が青みがかた色になる。一方、オイカワは黄緑とピンクのもようができる。

↓ヌマエビ



3月21日（上江津湖）



ヨシノボリ

じゃじゃの池では石の下にいた。



ドンコ



スジエビ

大きくなっている体長6~7cm

3月21日（上江ノ湖）

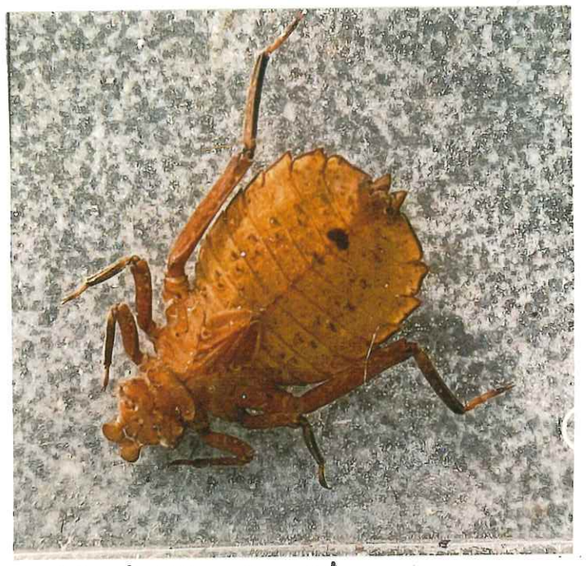
ザリガニ





イトモロコ

3月21日　（上江ノ湖）



コオニヤンマ

（体長3cm）

サナエトンボ



オニヤンマ



（体長2cm）

イトトンボ



（体長2cm）

ヤゴにもいろいろな種類がいる
日本には200しゅるいほどのトンボがいる

観察レポート

1，観察した日　3 月 21 日(　)　12 時 15 分

2，じゃぶじゃぶの池

天候	晴れ	気温	21°C
採集した の深さ		水温	19°C
流れの様子	おだやか	川底の様子	
水の色	すんでいる		

生息していた植物

鳥

シラサギ　別名ユサギ

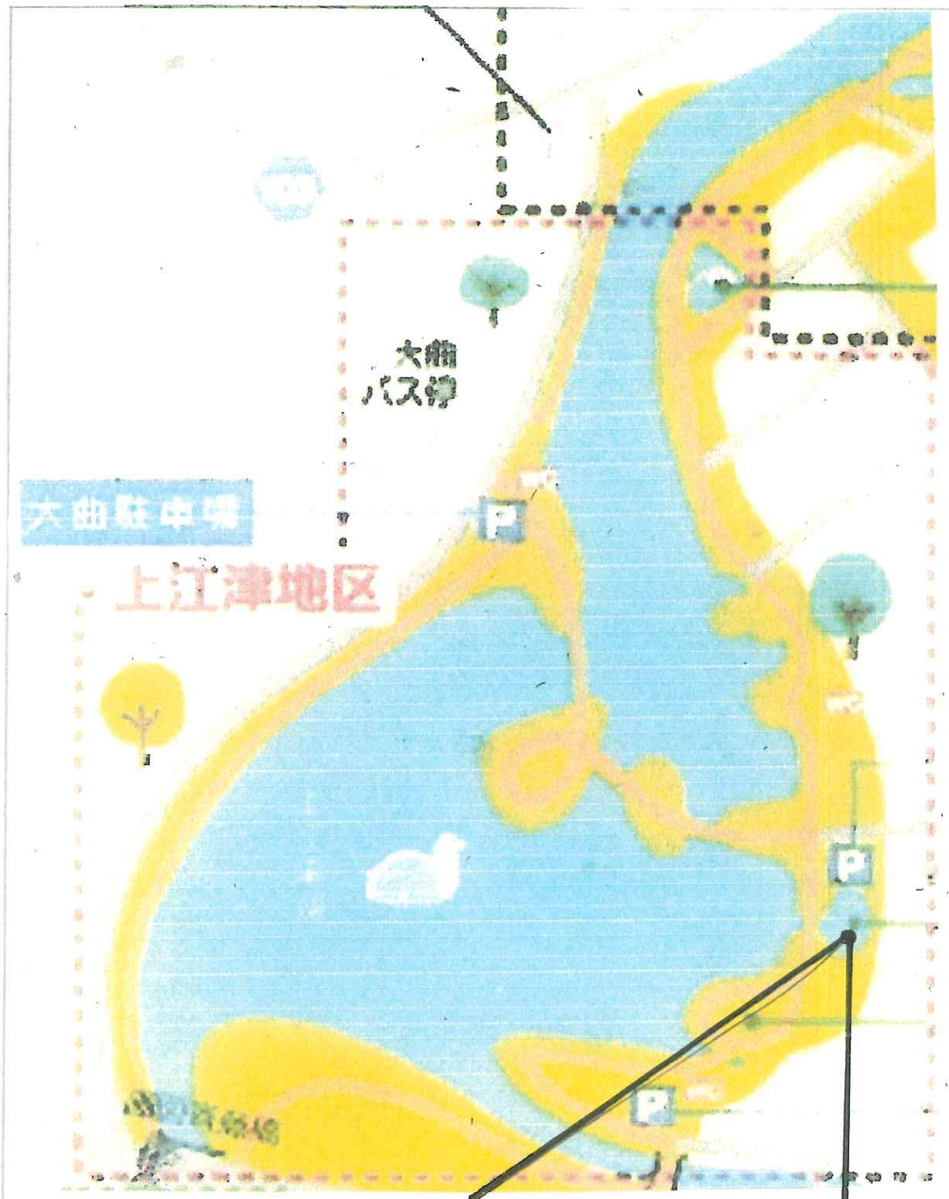


子どもが多い

採集した生物

サワガニ（3）

アブラハヤ（2）



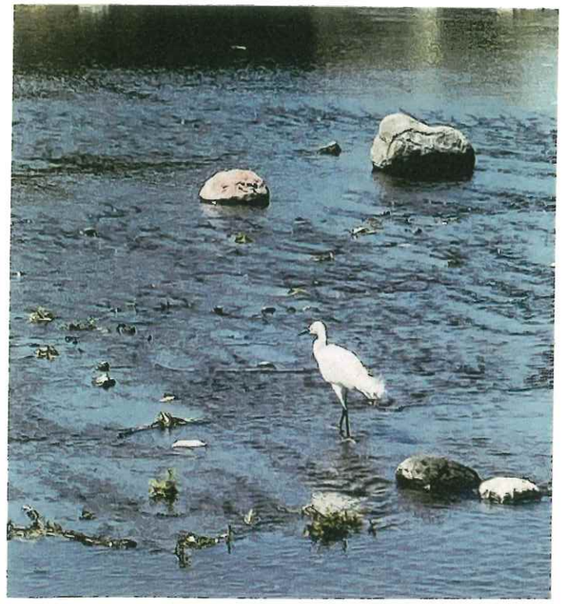


サワガニ(3)



アブラハヤ(2)
体長5cm

3月21日　じゃぶじゃぶの池



ゾウサギ

別名は
コサギ



サワガニ

サワガニは
石の下にかくれている

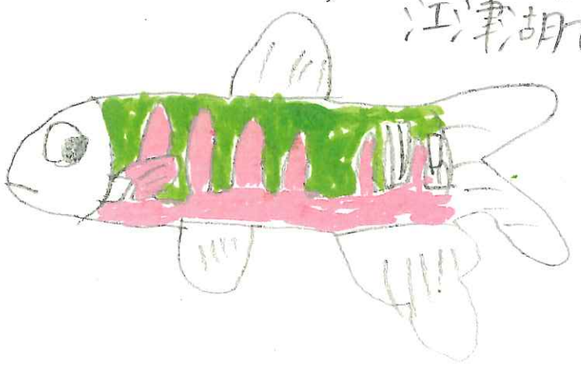
きれいな水に
すむ

3月21日　じゃぶじゃぶの池



アブラハヤ

体長 7cmくらいの
大きなハヤ
だった。



オイカワ
銀15cm前後。
江津湖でも見られる。

観察レポート

1，観察した日　3月21日(　)　時　分

2，下江つ湖月

天候	☀	気温	18°
採集した の深さ		水温	21°
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	
水の色			



生息していた植物
オオフサモ
外来植物

採集した生物
イトモロコ(2)
タナゴ (1)
スジエビ (1)　5cm
ヨシノボリ (2)
サワガニ (1)



下江ブ湖



イトモロコ(2)



タイリク
バラタナゴ
(1)



ヨシノボリ (2)



サワガニ (1)

3月21日（下江づ湖）



イトモロコ

スゴモロコは
せなかの点が
ほとんどでなり



ヨシノボリ

ヨシノボリ
全長　4～10cm
はんらん期　5月～9月



タイリクバラタナゴ

広く各地の池などで
見られるが日本のせいたい
けいにひがをおよぼす
外来しゅしたい係ひがい
ぼう止外来しゅ

3月21日　下江づ湖



サワガニ

水があさくて
きれいなところに
サワガニがいました。

メスのサワガニがいた。メスのサワガニは今年はじめて。



スジエビ



ヤリタナゴ

観察レポート

1，観察した日　4 月 5 日(日)　14 時 20 分

2，上江ノ湖

天候	☀	気温	26°
採集したの深さ		水温	20°C
流れの様子	少ない	川底の様子	
水の色	すんでいる		

生息していた植物
オランダガラシ
血止め草

採集した生物
カワムツ (4)　ザリガニ (2)　オイカワ (1)
ヨシノボリ (2)　イトモロコ (1)
スジエビ (2)　アブラハヤ (2)
ヌマエビ (5)　サワガニ (1)
ドンコ (7)
イトトンボのヤゴ (2)　→ 巨大 (12cm)
カワニナ (3)



4月5日（上江ブ湖）



カワムツ

よく見かける
かくれた/ところを
あみでさぐると
ときどき つかまる



シマヨシノボリ

石の下などに
ひそんでいる
うまく すくえば
つかまる



スジエビ

魚といっしょに
とれることが
多い

4月5日(上江ブ湖)



ドンコ

ドジョウや ヌマエビ
メダカなどを食べる



モロコの仲間



オイカワ

カワムツとオイカワの
ちがいは
りびれが大きいのが
オイカワ

りびれ

4月5日(上江ブ湖)



アメリカザリガニ



ヤゴ(イトトンボ)



カワニナ

石の下で
カニといっしょに
つかまることが
多い

観察レポート

1，観察した日　4 月 5 日(　)　15 時 30 分

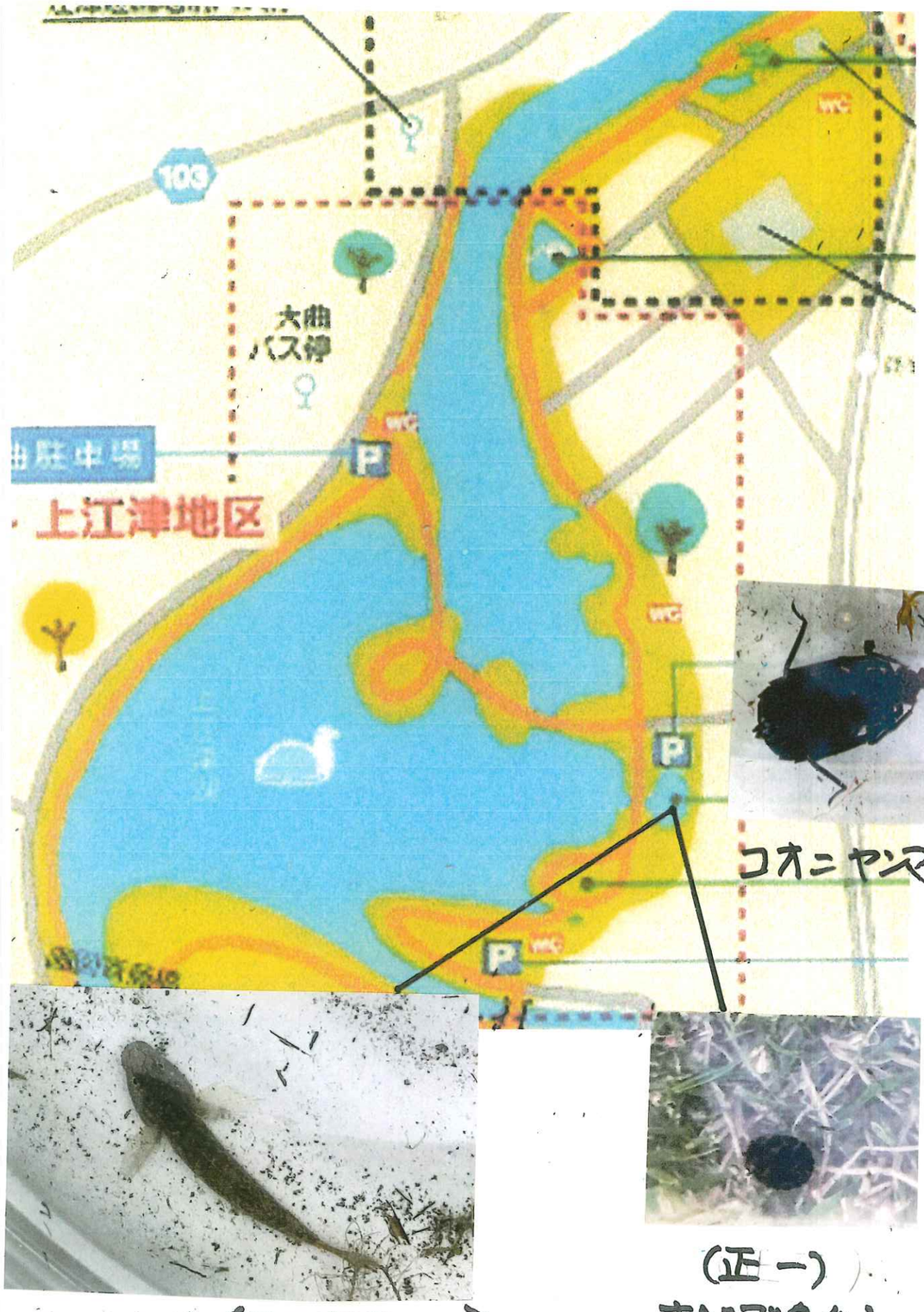
2，

天候		気温	21°
採集したの深さ		水温	19°
流れの様子	少し早い	川底の様子	15cm
水の色	すんでいる		

しゃぶしゃぶの池

生息していた植物

採集した生物
- ヨシノボリ(21)
- ナベブタムシ(6)
- コオニヤンマ(1)



コオニヤンマ

ヨシノボリ(正正正正一)

(正一)
ナベブタムシ

観察レポート

1，観察した日　4月5日(　)　4時　分

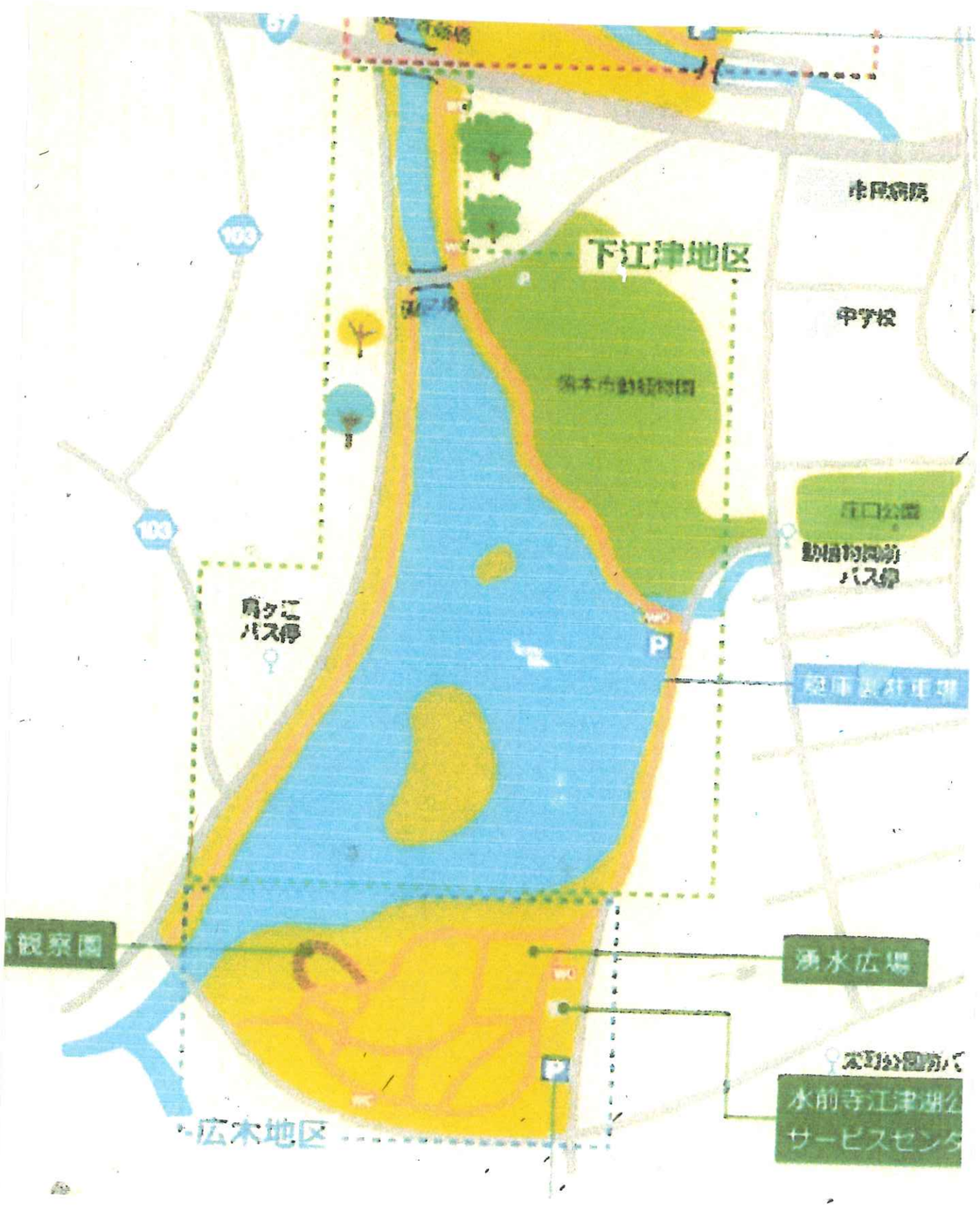
2，下江津湖

天候	晴れ	気温	22.6°
採集したの深さ	30cm	水温	~~20°21°~~
流れの様子	はやい	川底の様子	
水の色	にごっている		

生息していた植物

採集した生物

水中カメラをもっち
たくさんの魚がいることがわかった。



水中カメラで見たら大イカワの魚の
すがたがたくさんだった。

観察レポート

1，観察した日　4月18日（　）　雨のち晴　14時00分

2，

天候		気温	25°C
採集したの深さ		水温	21°C
流れの様子		川底の様子	
水の色			日ざしが強い

生息していた植物

ブラジルチドメグサ

ナガエツルノゲイトウ →

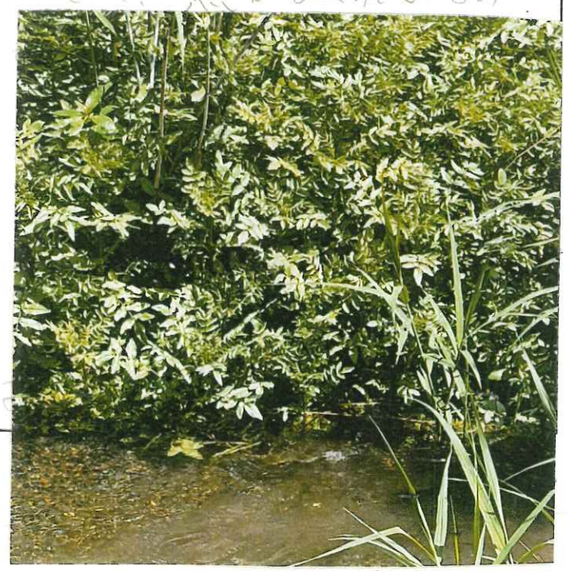


採集した生物

ドンコ（10）
サワガニ（3）
ヨシノボリ（2）
カワムツ（4）
ヤゴ（5）
ザリガニ（1）

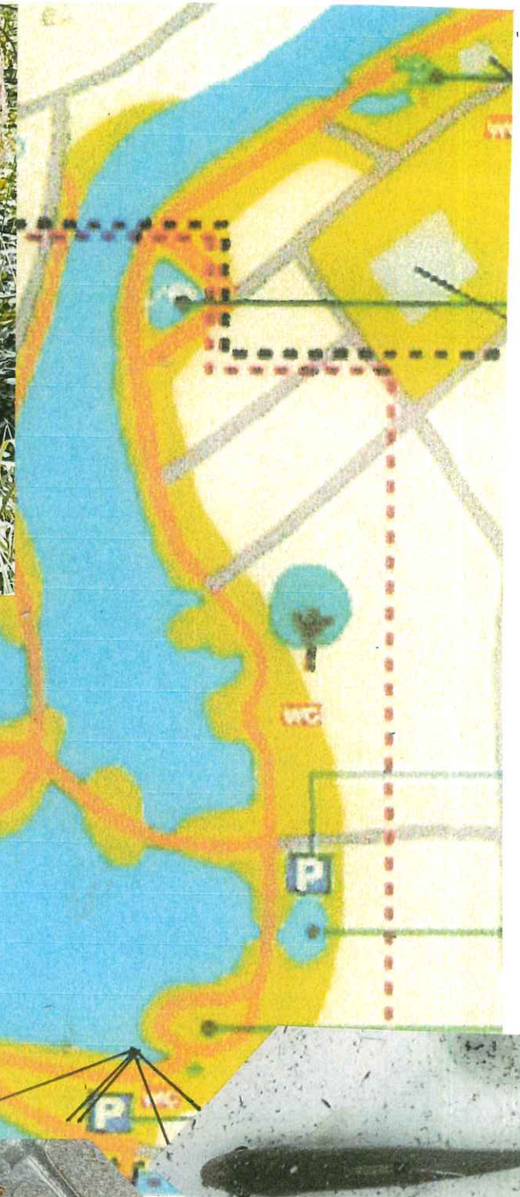
（今日）とったザリガニは

ハサミが大きくて真っ赤）



4月18日　上江津







ザリガニ(－)



ヤゴ(下)



ドンコ
（10cm）
（正正）

カワムツ(正)



ヨシノボリ(下)

4月18日（上江づ湖）



ドンコ

10cmの巨大な大きさ

（5ひきとれた）



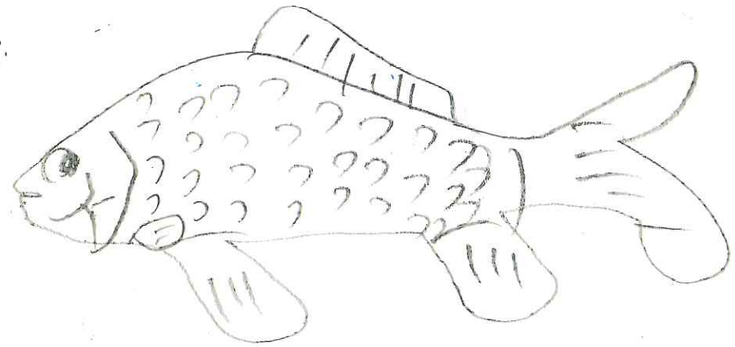
カワムツの幼魚

4月18日



サワガニ

だっぴをした後なのか、色が、茶色っぽい。



↓はさみをつり上げ、いかくするアメリカザリガニ



ザリガニ

ザリガニの色が赤い

観察レポート

1，観察した日　4 月 18 日(　)　14 時 30 分

じゃぶじゃぶ

2，

天候		気温	25°
採集した の深さ	あさい	水温	19°C
流れの様子		川底の様子	すんでいる
水の色			

生息していた植物

採集した生物

ヒラタ

ヨシノボリ　(16)　カゲラ幼虫　(1)

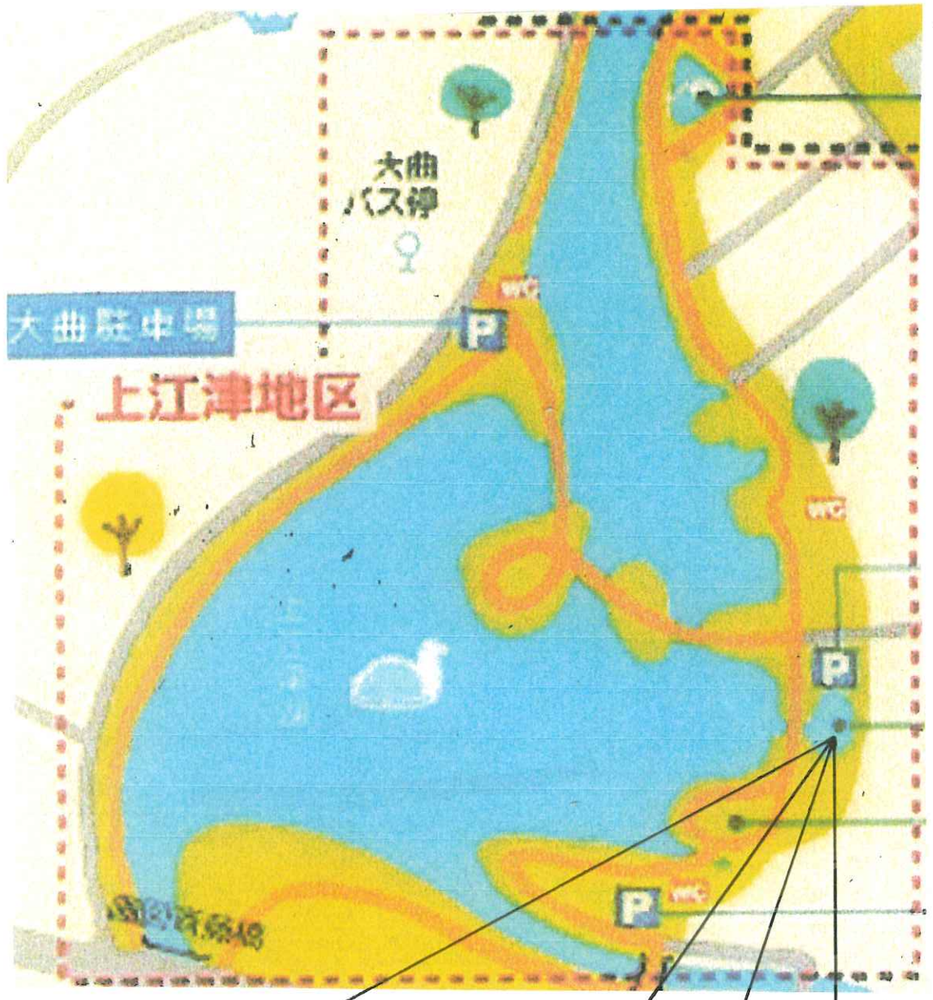
ナベブタムシ(2)

アブラハヤ　(1)

サワガニ　(1)

ザリガニ(1)

4月18日（じゃぶじゃぶ池）





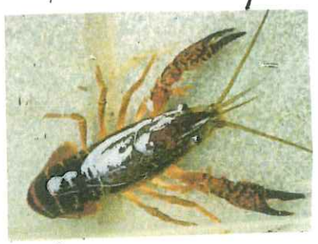
ヨシボリ(正正正一)



アブラハヤ(一)



サワガニ(一)



ザリガニ(一)



ナベブタムシ(1)

4月18日（じゃぶじゃぶ池）



ヨシノボリ
頭が大きい
ずんぐりしている



サワガニ
赤のサワガニ



ヌマタムシ

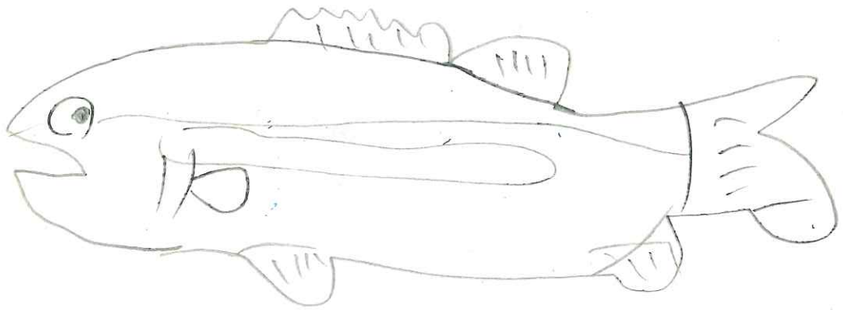


アブラハヤ
大きくて、すばやい



ザリガニ

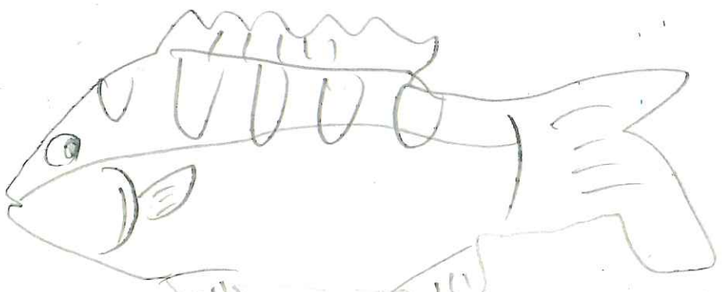
江津湖の外来魚(6しゅ)



オオクチバス

全長30~50cm、まれに60cm

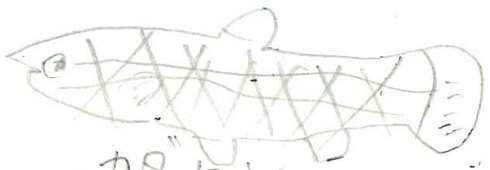
サンフィッシュ科



ブルーギル

15~30cm

サンフィッシュ科



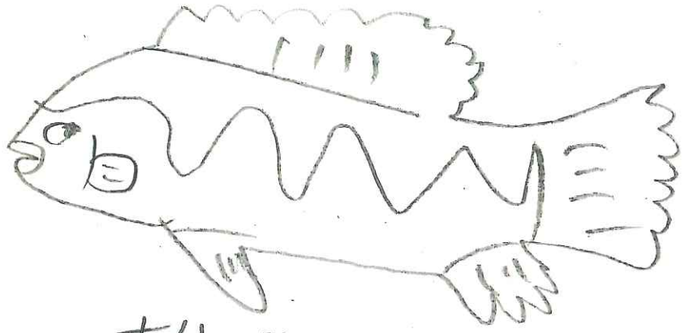
カダヤシ

オス3cm、メス5cm

カダヤシ科

つづく→

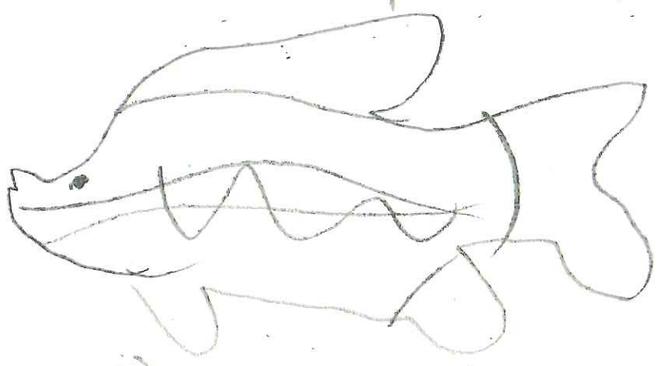
江津湖にいる!



ナイルティラピア

30~50cm、まれに80cm

カワスズメ科



ジルティラピア

20~30cm、まれに50cm

カワスズメ科



カムルチー

80cm

タイワンドジョウ科

江津湖でくらす

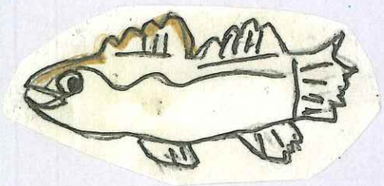
植物
魚
エビ
貝
カニ
鳥

観察日記



2026. 5～8月

3









テナガエビ

江ブ湖に
生息している生物
を5月から8月まで
さい集して観察した。



上江ブ湖
↓

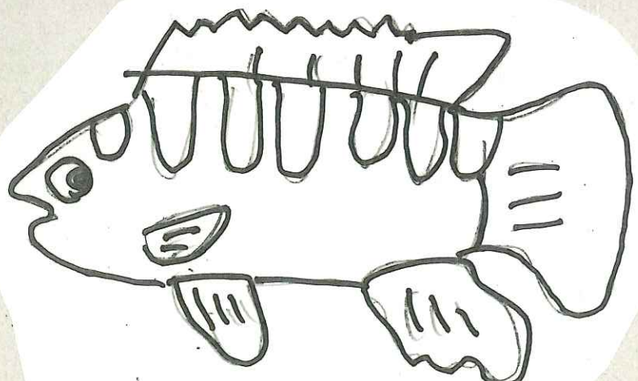




7月
下江ブ湖

7月 ブルーギル



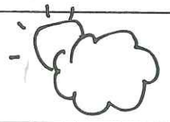


ジルティラピア

観察レポート

1，観察した日　5 月 4 日(　)　12 時 40 分

2，上江ヶ湖

天候		気温	23°
採集した の深さ		水温	21°
流れの様子		川底の様子	
水の色			



生息していた植物

・オランダガラシ

採集した生物

イトモロコ(2)
ドンコ(1)
ヤゴ(コオニヤンマ2, イトトンボ2)
スミウキゴリ(1)
カワムツ(4)
スジエビ(2)
サワガニ(3)
カワニナ(1)
ザリガニ(1)



アオサギ



カワニナ



スジエビ(2)



イトトンボ



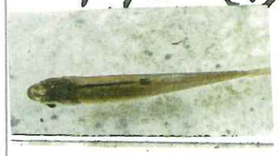
サワガニ(3)



コオニヤンマ



ザリガニ(1)



モロコ(2)



ドンコ(1)



スミウキゴリ(1)

5月4日(上江津湖)



タモロコ



ドンコ



スミウキゴリ

5月4日



アメリカザリガニ



ヤゴ(イトトンボ)



ヤゴ(コオニヤンマ)

観察レポート

1，観察した日　5月4日(　)　時　分

2，じゃぶじゃぶ池

天候		気温	23°
採集した の深さ		水温	11°
流れの様子	少しはやい	川底の様子	
水の色	すんでいる		

生息していた植物

採集した生物

ヨシノボリ（5）　ヒラタドロムシ（1）
ナベブタムシ（2）




ヨシノボリ
(正)


ヒラタドロムシ
(T)


ナベブタムシ
(T)

5月4日（じゃぶじゃぶ池）



ヨシノボリ
全長　4～10cm
はんしょく期　5月～9月



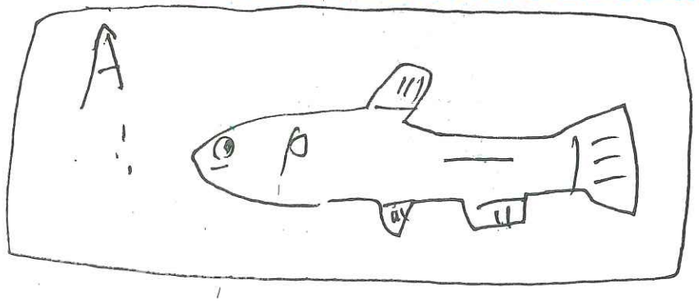


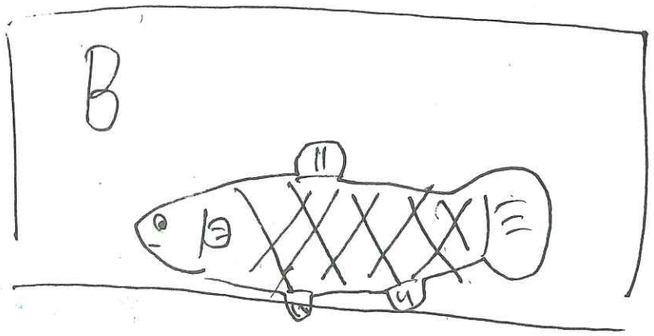
ナベブタムシ



ヒラタドロムシ
（幼虫）

どっちがメダカで、どっちがカダヤシ？





答えは下にあります。

答え：Aがメダカ、Bがカダヤシ

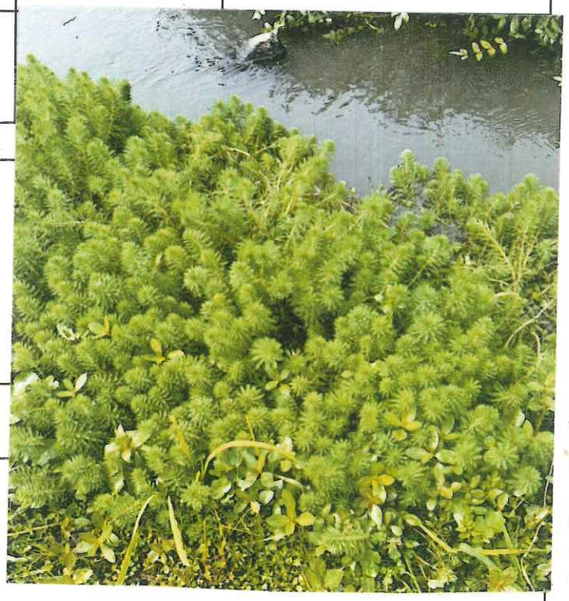
観察レポート

1，観察した日　5月4日(　)　14時00分

下江つ沼明

2，

天候		気温	23°
採集した の深さ		水温	21°
流れの様子		川底の様子	
水の色			



生息していた植物
オオフサモ
特定外来生物

採集した生物
ヤゴ
ヌマエビ（多数）
オイカワ（1）
ザリガニ（1）　カワムツ（2）

水質は上江つ沼明と比べて
全てよかった。COD=8



オイカワ(1)

ザリガニ(1)

ヌマエビ(多)

ヤゴ



カワムツ(2)

5月4日(下江ご湖)



カワムツ(幼魚)



ヤゴ(オニヤンマ)



アメリカザリガニ

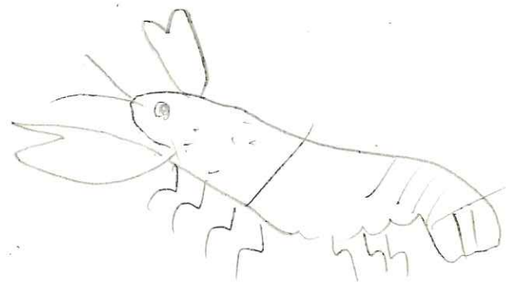


オイカワ

カワムツ

コイ目

- おびれの付け根からえらのあたりまで太く黒い線がある。
- はんしょく其月はは"でなオレンジ色とのびたしりビレが目立つ。



アメリカザリガニ

観察レポート

1，観察した日　6 月 15 日（日）　13 時 10 分

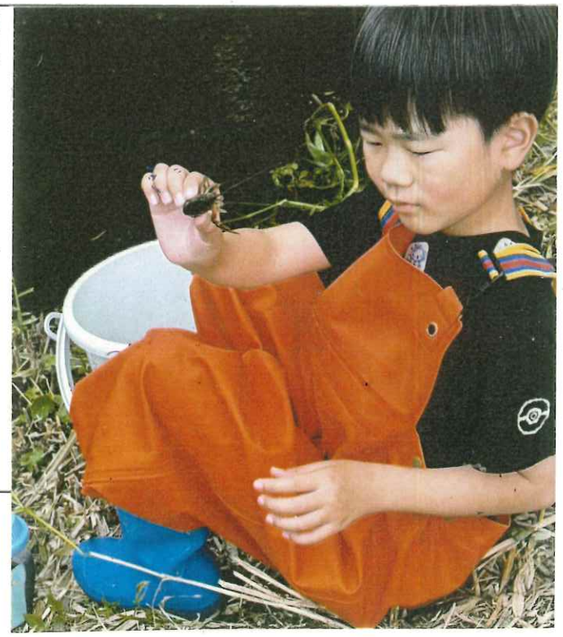
2，上江ノ湖

天候		気温	28°
採集したの深さ		水温	20°
流れの様子	おそい	川底の様子	
水の色	すんでいる		

生息していた植物　草むらをしてあり、様子が少しかわていた

採集した生物　コオニヤンマ（ー）

ドンコ（正）
ヤゴ（正）
カワムツ（ー）
ザリガニ（ー）
ヨシノボリ（下）
サワガニ（下）





→ヨシノボリ（下）

サワガニ（ー）



ドンコ（正）



カワムツ（ー）





ヤゴ（正）



ザリガニ（ー）



コオニヤンマ（ー）

6月15日　(上江づ湖)



ドンコ

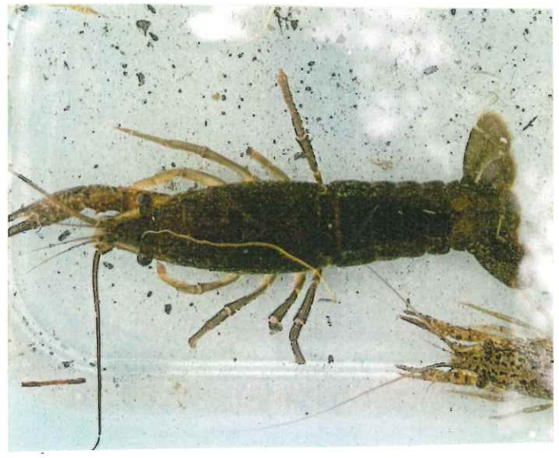
小魚、エビ、
カエルなど食べる



ミヤマカワトンボ



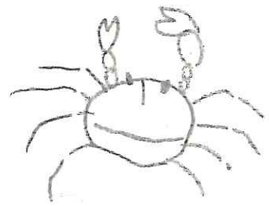
オイカワ



ザリガニ



サワガニ





コオニヤンマ



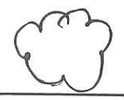
ヨツボリ

観察レポート

1，観察した日　6 月15 日(　)　13 時 40 分

じゃぶじゃぶ

2，

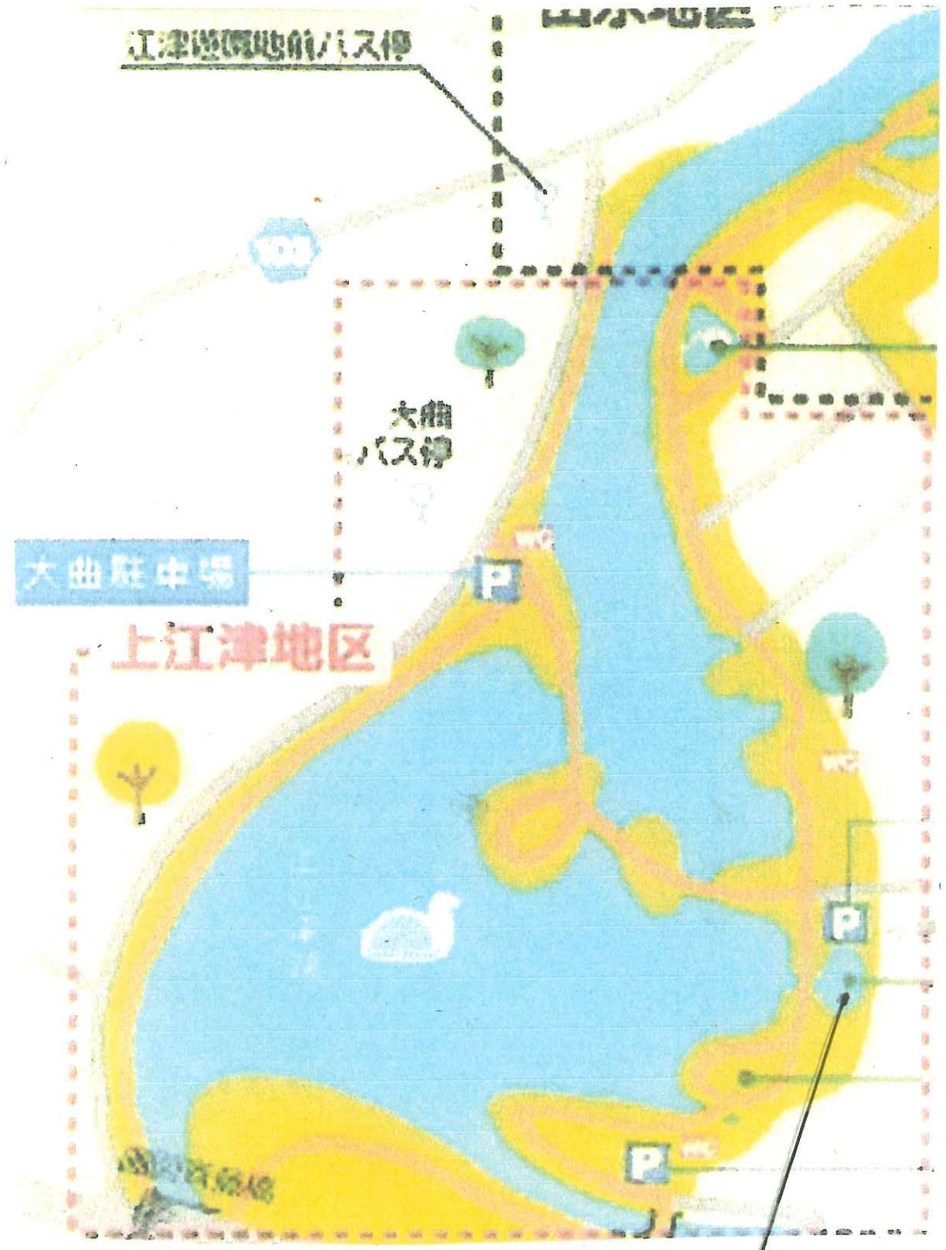
天候		気温	28°C
採集したの深さ	15cm	水温	19°
流れの様子	速い	川底の様子	すんでる
水の色	すんでる		

生息していた植物

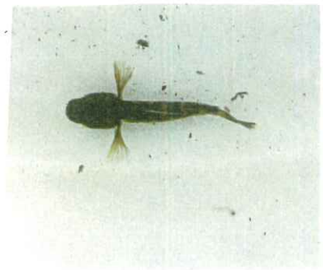
採集した生物

ヨシノボリ(正)





ヨシノボリ
(4ひき)



観察レポート　下江ヴ湖

1，観察した日　6月15日(　)　14時42分

2，

天候		気温	26°
採集したの深さ		水温	22°
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	
水の色	少しにごっている		

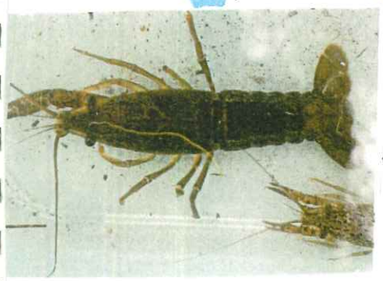
生息していた植物
オオフサモ
ブラジルチドメグサ　）外来種
ナガバミズアオイ

採集した生物
ザリガニ（T）
オイカワ（正）
テナガエビ（一
カムルチー（T）





テナガエビ（初めて）
7cm↑


ザリガニ（T）


オイカワ（正）


カムルチー（一）



6月15日　下江づ湖



アメリカ
ザリガニ



カワムツ

6月15日. 下江づ湖

テナガエビ



6月15日（下江ヅ湖）



ナガバ
ミズアオイ

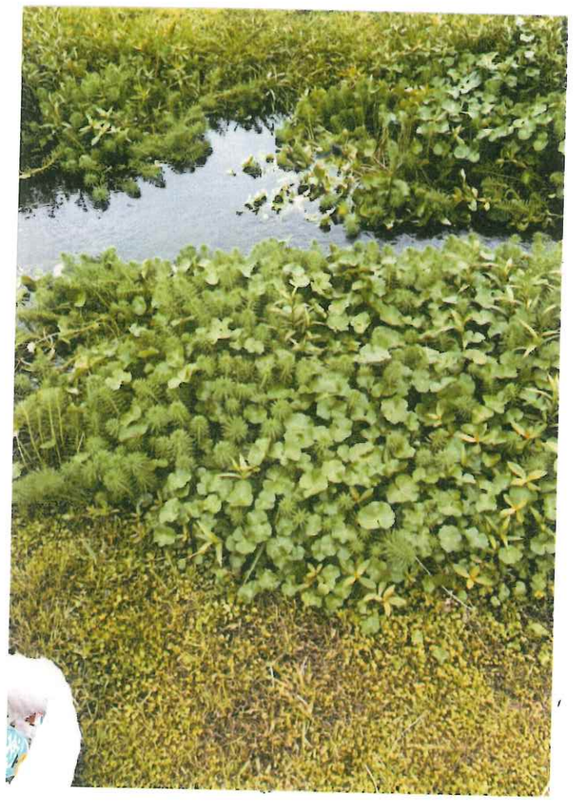
タト来種



オオフサモ

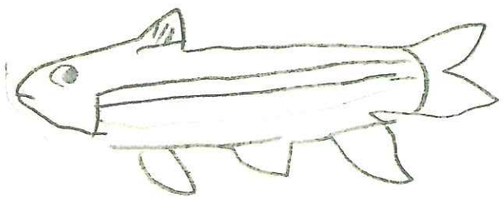
外来種

6月15日（下江ヅ湖）



ブラジル
チドメグサ

タト来種



観察レポート

上江津湖

1，観察した日　7 月 11 日(　)　13 時 50 分

2，

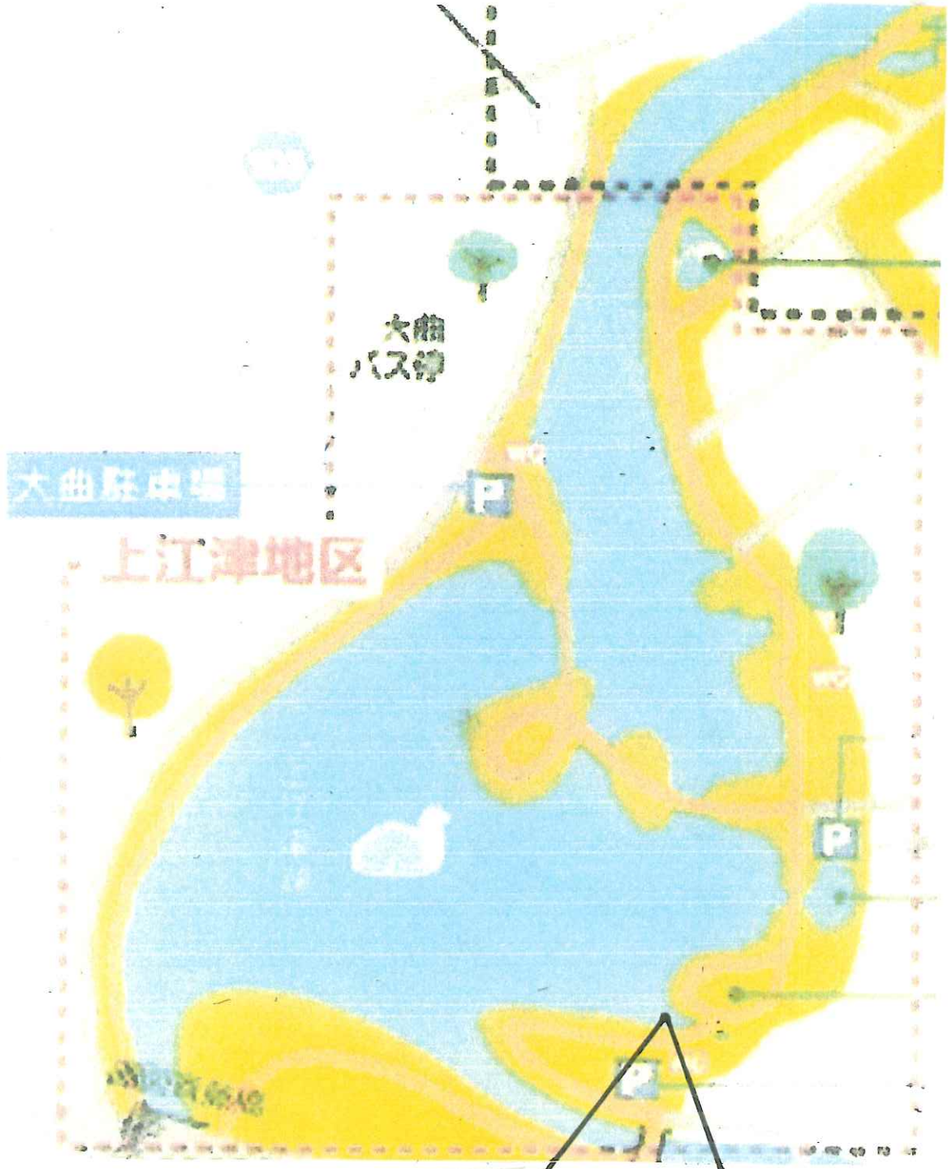
天候		気温	35°
採集した の深さ		水温	21°5'
流れの様子		川底の様子	水深が あさい
水の色			

生息していた植物



採集した生物

サワガニ（1）
ヌマエビ（1）





サワガニ（一）



ヌマエビ（一）

観察レポート

1，観察した日：　7　月　日（11）　14時00　分

2，じゃぶじゃぶ

天候		気温	35°
採集した所の深さ	あさい	水温	20°
流れの様子	少し速い	川底の様子	すんでいる
水の色			

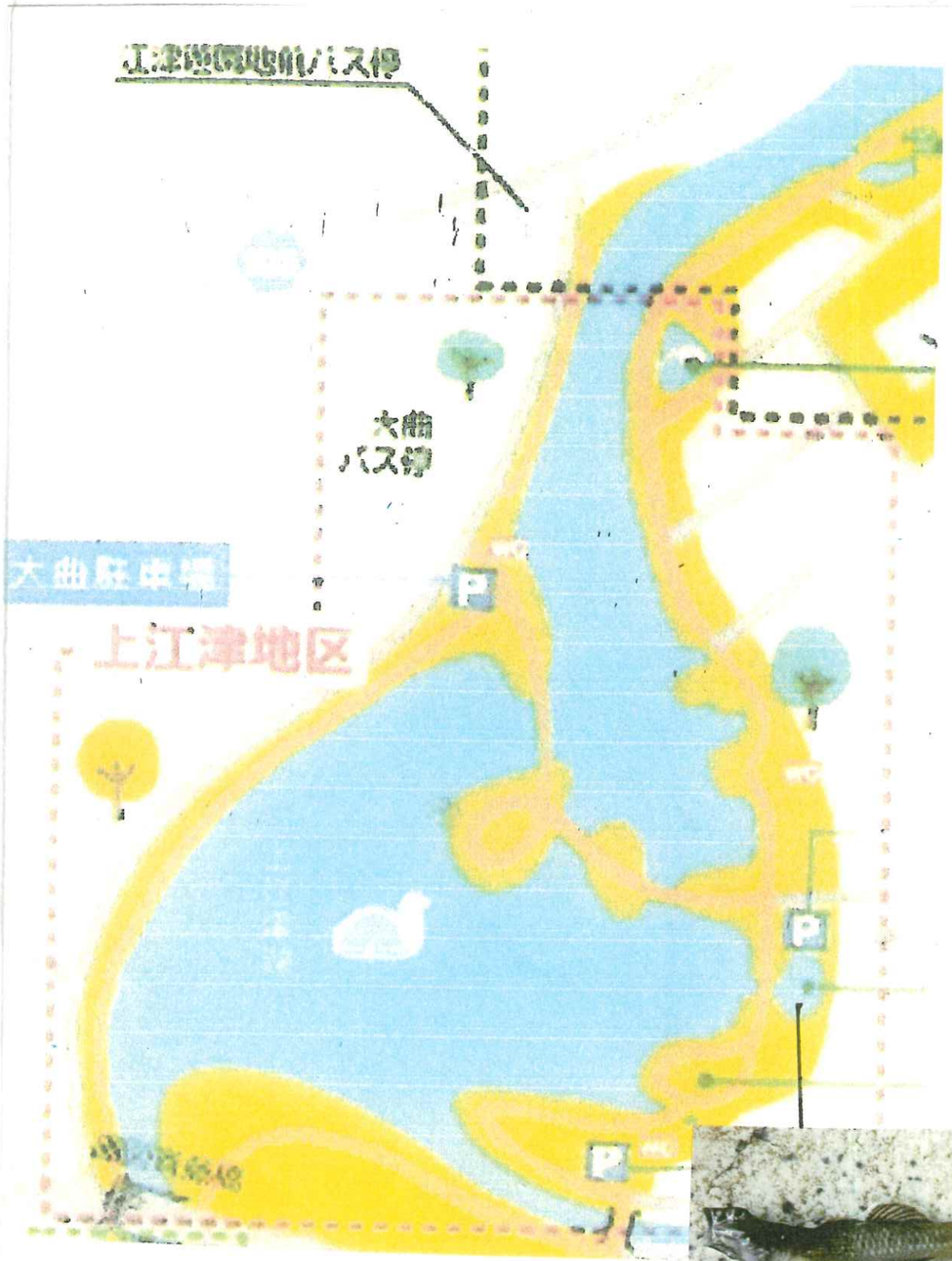
生息していた植物



採集した生物

ヨシノボリ（一）

休日で人が多い



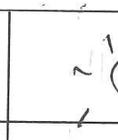


ヨシノボリ（一）

観察レポート

1，観察した日　7 月 11 日(　)　15 時 00 分

2，下江で沼

天候		気温	36°
採集した の深さ	やや深い	水温	28°
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	少しにごっている
水の色	にごっている		



生息していた植物

オオフサモ
ブラジルチドメグサ

採集した生物

モクズガニ(T)
カネヒラ(T)
カワムツ(T)　　テナガエビ(ー)
ブルーギル(しめて帰った)正　ヨシノボリ(ー)
オイカワ(正T)　　ザリガニ(F)



ザリガニ(下)



ヨシノボリ(ー)



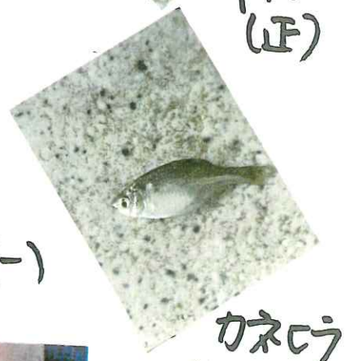
モクズガニ(T)



ブルーギル(正)



テナガエビ(ー)



カネヒラ(T)



オイカワ(正T)



カワムツ(T)

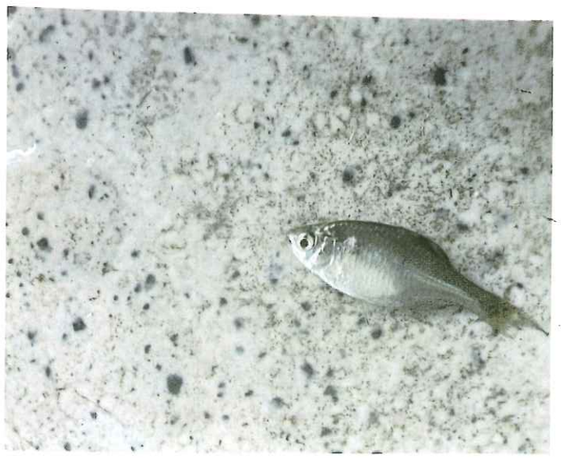
7月11日（下江ヅ湖）



モクズベガニ

ハサミについている毛は、岩にぎたいするのにやく立つ。

（2年間、がんばってさがしていた）



カネヒラ

他のタナゴより大きくなる

7月11日（下江ヅ湖）



カワムツ

（コイ目）

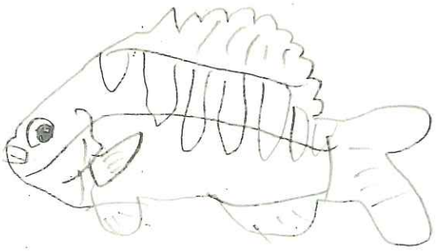
- おびれの付け根からえらのあたりまで太く黒い線がある。
- はんしょく其月にはでなオレンジ色とのびたしりビレが目立つ。



ブルーギル

原さん土色は北アメリカ。





ブルーギル

7月11日（下江ブ湖）



オイカワ

- はんしょく其月のオスだけしりビルが長く、全身の色もはでになる。
メスや未成じゃくなものは銀色。
ハエ、ハヤ、ヤマベなど、様々な別名でよばれる。

オイカワのメスはしりビレが短い。

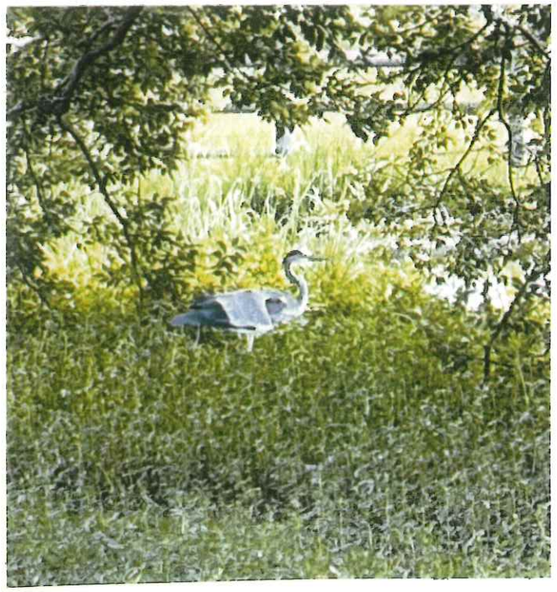


テナガエビ

7月18日ごろ脱皮した。



ヨシボリ



アオサギ

全長 90~120cm

日本最大のサギ

アオサギは「グワッ」と鳴く

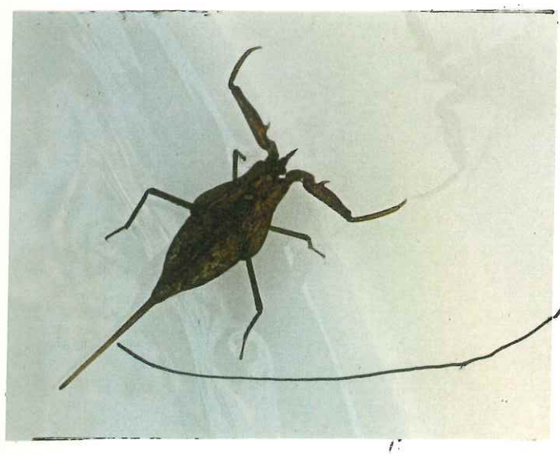
7月18日
下江ブ湖



7月18日 (下江ブ湖)



ブルティラピア
江津湖の
特定外来魚



タイコウチ
おしりの長いくだは
息をするところ



オイカワ
オスのオイカワ

観察レポート

1，観察した日　8月6日(　)　時　分

2，上江津湖

天候	曇	気温	36°
採集した の深さ	少し深い	水温	21°
流れの様子		川底の様子	
水の色	すんでいる		

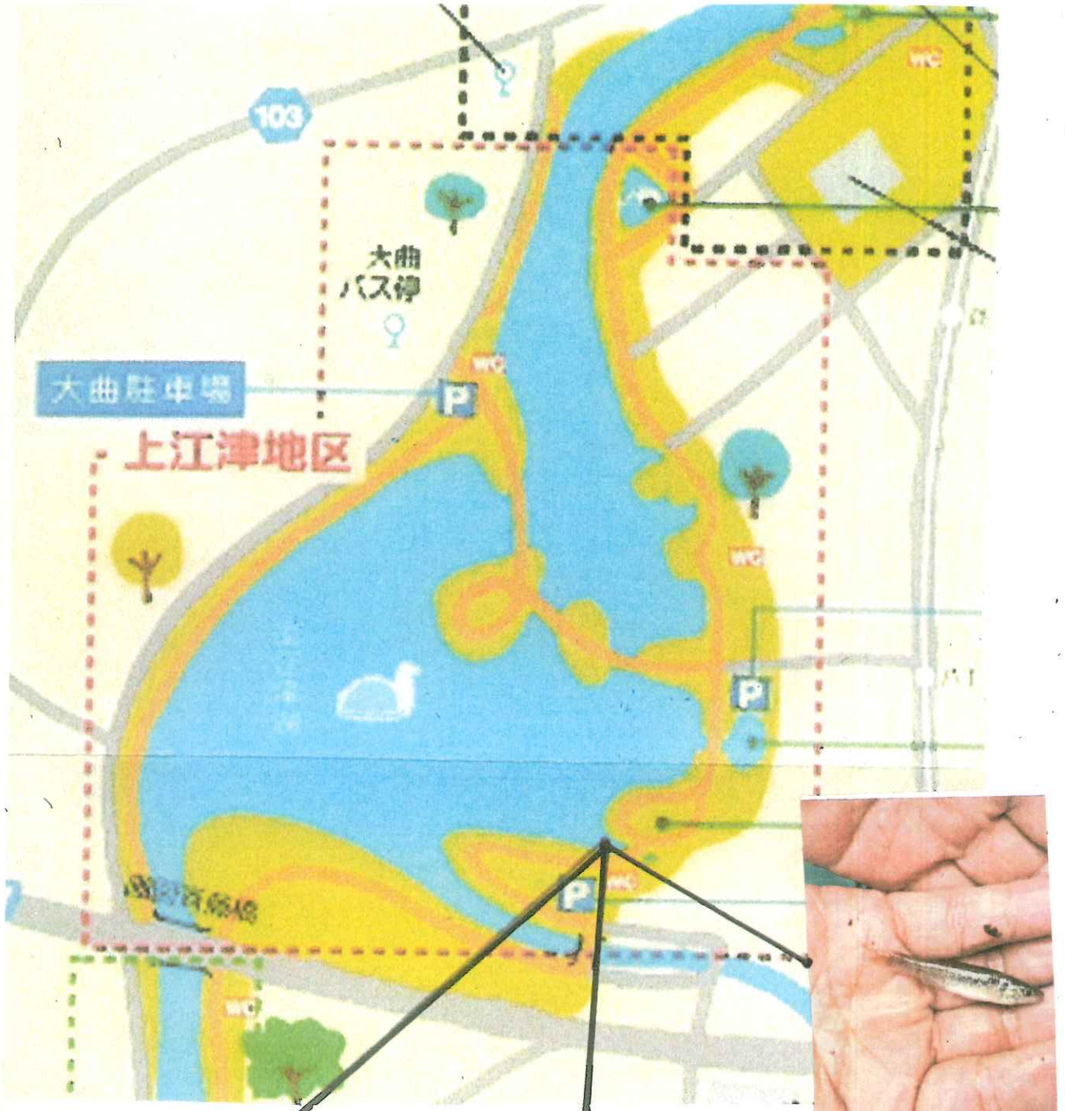
生息していた植物

採集した生物

アメリカザリガニ(一)

ドンコ(一)

アブラハヤ(一)





アメリカザリガニ(一)



ドンコ(一)

アブラハヤ(1)

8月6日（上江ヅ沽用）



ドンコ



アメリカザリガニ

8月6日（上江ヅ沽用）

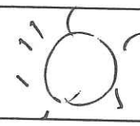


アブラハヤ

観察レポート

1，観察した日　8月6日(　)　13時00分

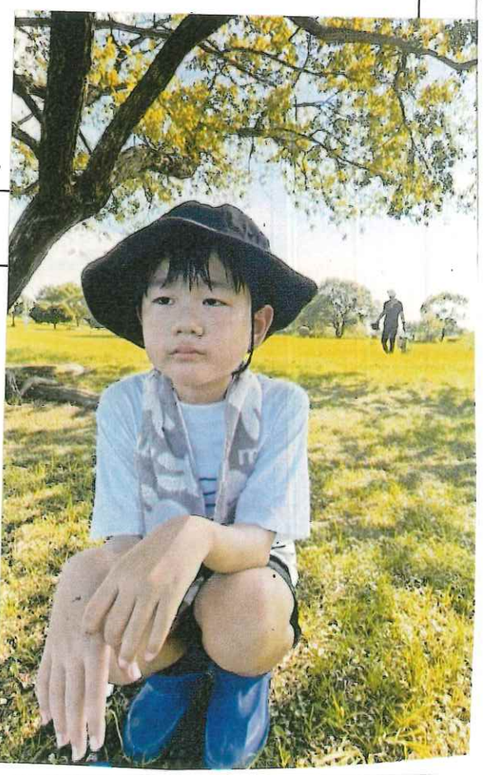
2，下江戸湖

天候		気温	37°
採集したの深さ	30cm	水温	27°
流れの様子		川底の様子	
水の色	にごっている		

生息していた植物

オオフサモ



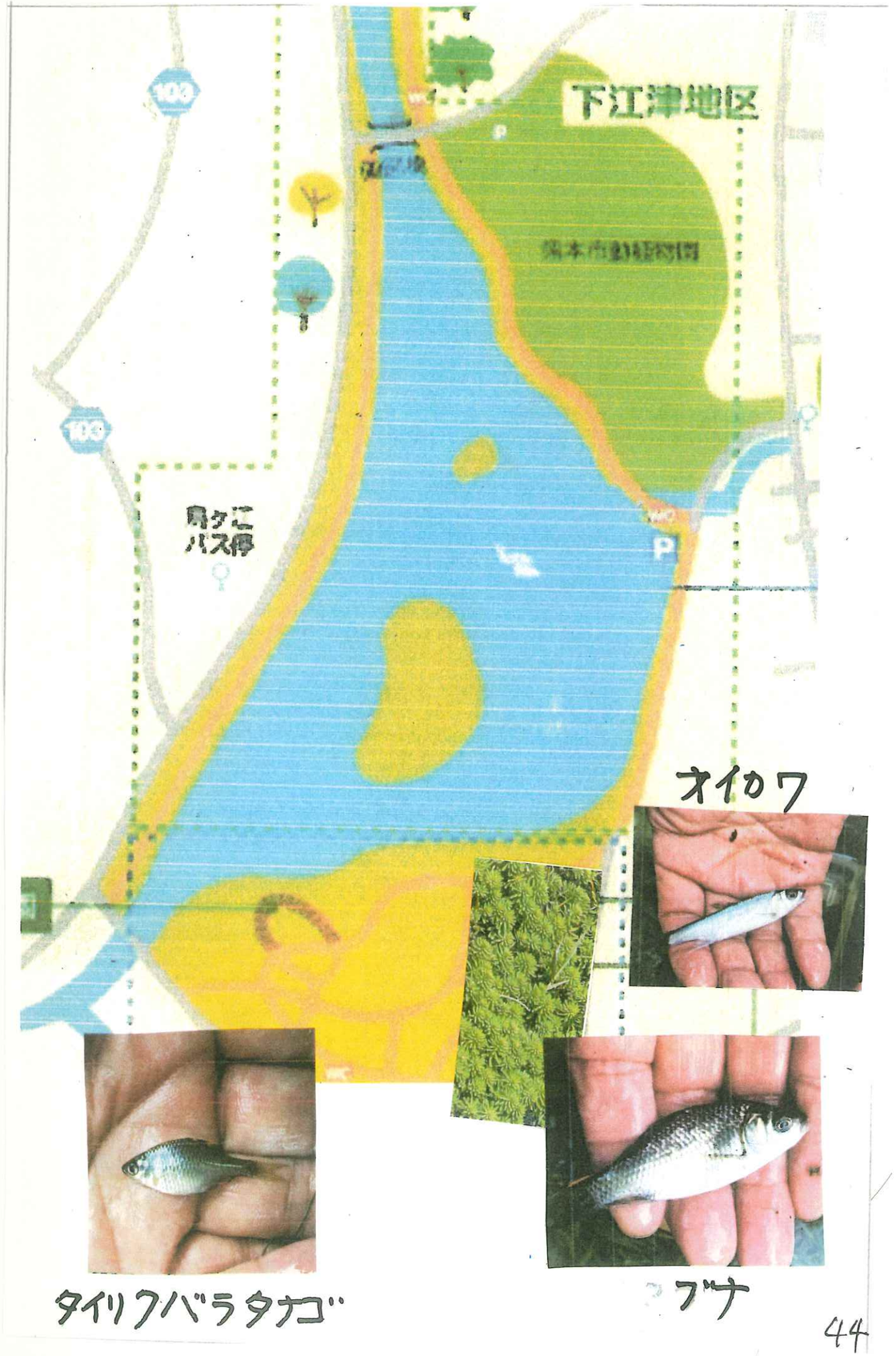


採集した生物

ギンブナ(1)

タイリクバラタナゴ(1)

オイカワ(下)



オイカワ

タイリクバラタナゴ

フナ

8月6日（下江ヶ沼）



ギンブナ



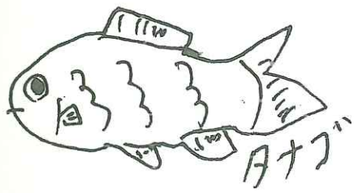
タイリク
バラタナゴ

8月6日（下江ヶ沼）



オイカワ

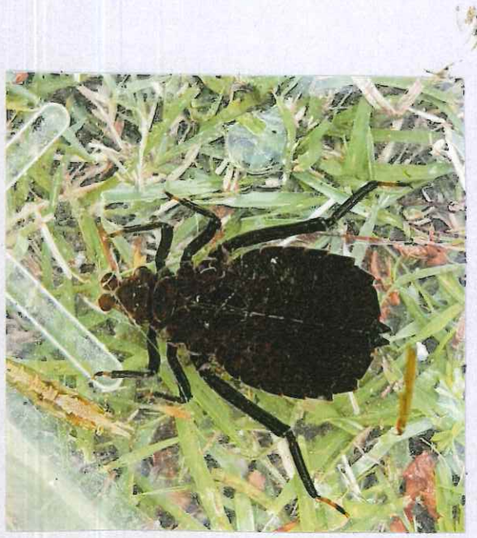






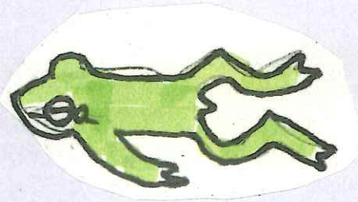
水辺や田んぼにすむ生物

2026.3～8月



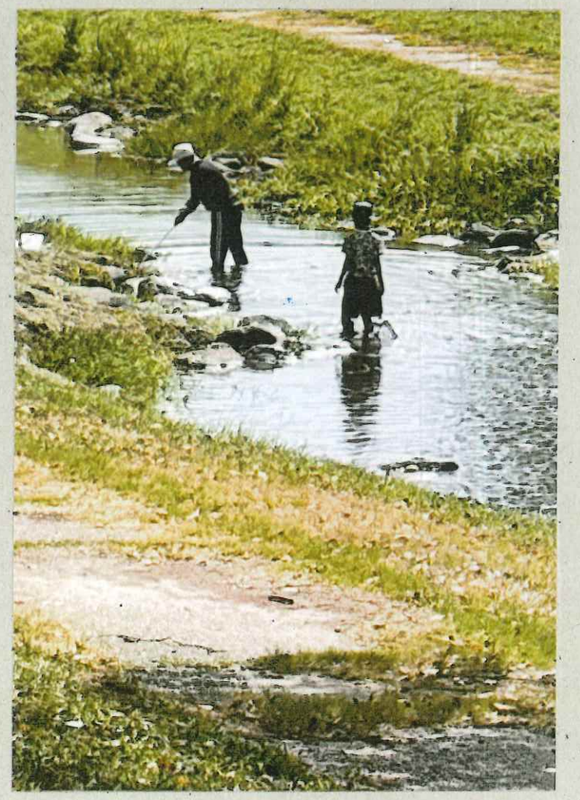














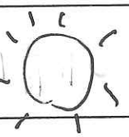
近くの 田んぼ

水辺の川

観察レポート

1，観察した日　3　月26日（　）　2　時00　分

2，水辺の川

天候		気温	21℃
採集した の深さ	20~30cm	水温	19℃
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	少しにごっている
水の色	にごりがあるところがある		



生息していた植物

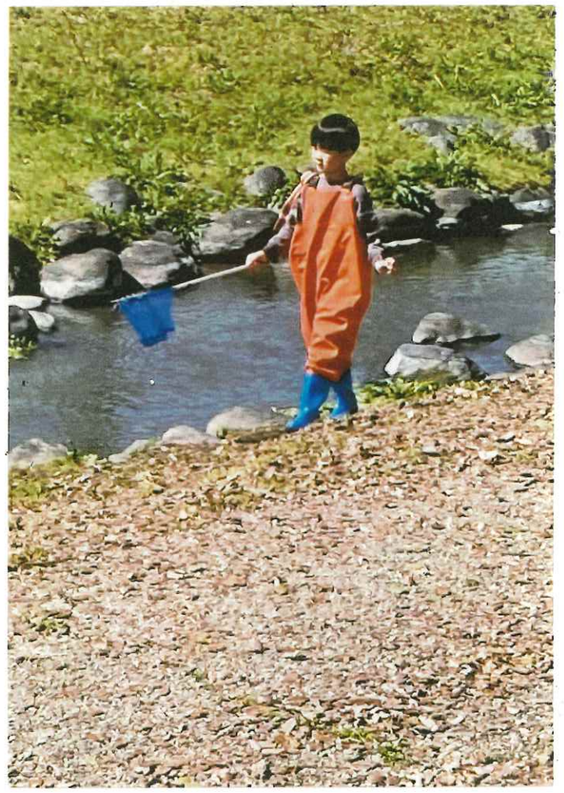
採集した生物

ザリガニ（2）　カワゲラ（1）
カワムツ（8）　ゲンゴロウ（1）
ヨズスマシ（1）　イトトンボ（ヤゴ）（1）
ヌマエビ（39）
カワニナ1
~~カ~~（1）

3月26日　水辺の川



カワムツ



3月26日



ヌマエビ1



ヤゴ
(シオカラトンボ)



ダゲンゴロウ

3月26日



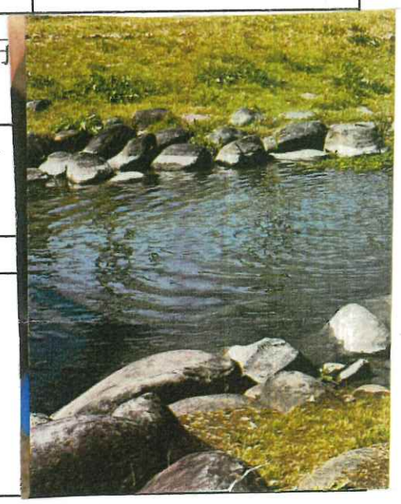
ヤゴ
(イトトンボ)

観察レポート

1，観察した日　4月13日(月)　14時30分

2，

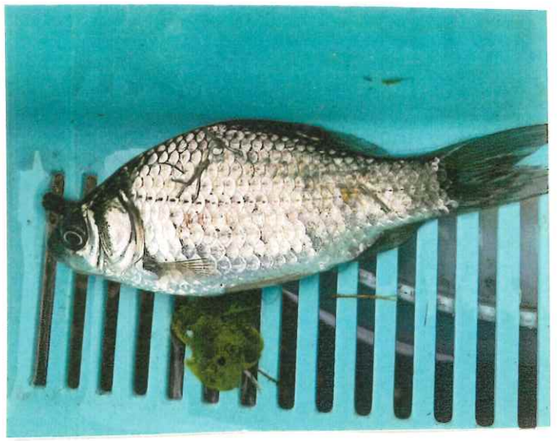
天候		気温	
採集した の深さ	ややう深い	水温	21°
流れの様子	ゆるやか	川底の様子	
水の色	にごっている		



生息していた植物
ブラジルチドメグサ

採集した生物
ヤゴ（イトトンボ）　オオヤマトンボ　メダカ(T)
ミズスマシ(3)　イトモロコ
ヨコエビ(多)　ギンブナ（1）9cm
オイカワ(4)
ゲンゴロウ(1)
ザリガニ(3)
カワゲラ

4月13日



ギンブナ



オイカワ



イトモロコ

4月13日



ヤゴ
(オオヤマトンボ)



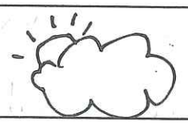
ナゲソゴロク



観察レポート

1，観察した日　8月8日(　)　14時00分

2，

天候		気温	36°
採集した の深さ		水温	31°
流れの様子		川底の様子	
水の色	にごっている		

生息していた植物

採集した生物

ギンブナ(2)　タモロコ(1)

アブラハヤ(1)　ミナミヌマエビ

ドンコ(1)　ヤゴ(イトトンボ) 5

8月8日(水辺の川)



ギンブナ

全長5cm
～7cm



アブラハヤ
そのタロの通り、
ヌルヌルとした
い感



ドンコ
肉食

8月8日



タモロコ



(ギンブナ)

8月8日



ニナミ
メマエビ



イトトンボヤゴ



研究のまとめ

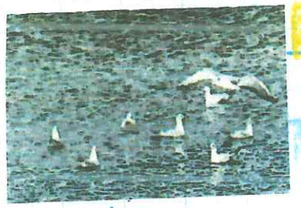
水前寺江津湖公園MAP



（江津湖で見た鳥）



カワセミ
2月1日
じゃぶじゃぶ池



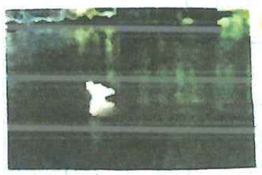
ユリカモメ
2月1日
じゃぶじゃぶ池



ヒドリガモ
2月1日
上江津・じゃぶじゃぶ



オオバン
2月1日
上江津・じゃぶじゃぶ



コサギ
1月10日
じゃぶじゃぶ池

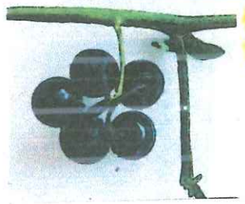


セグロセキレイ
1月10日
じゃぶじゃぶ池



アオサギ
7月11日
下江津5丁目

シエブ沼周辺で見られた植物（1月～8月）



シオデ
1月10日
じゃぐじゃぐ沼



ブラジルチドメグサ
1月10日
シエブ沼



オランダガラシ
3月21日
シエブ沼



オランダガラシ
5月4日
シエブ沼

オランダガラシの花

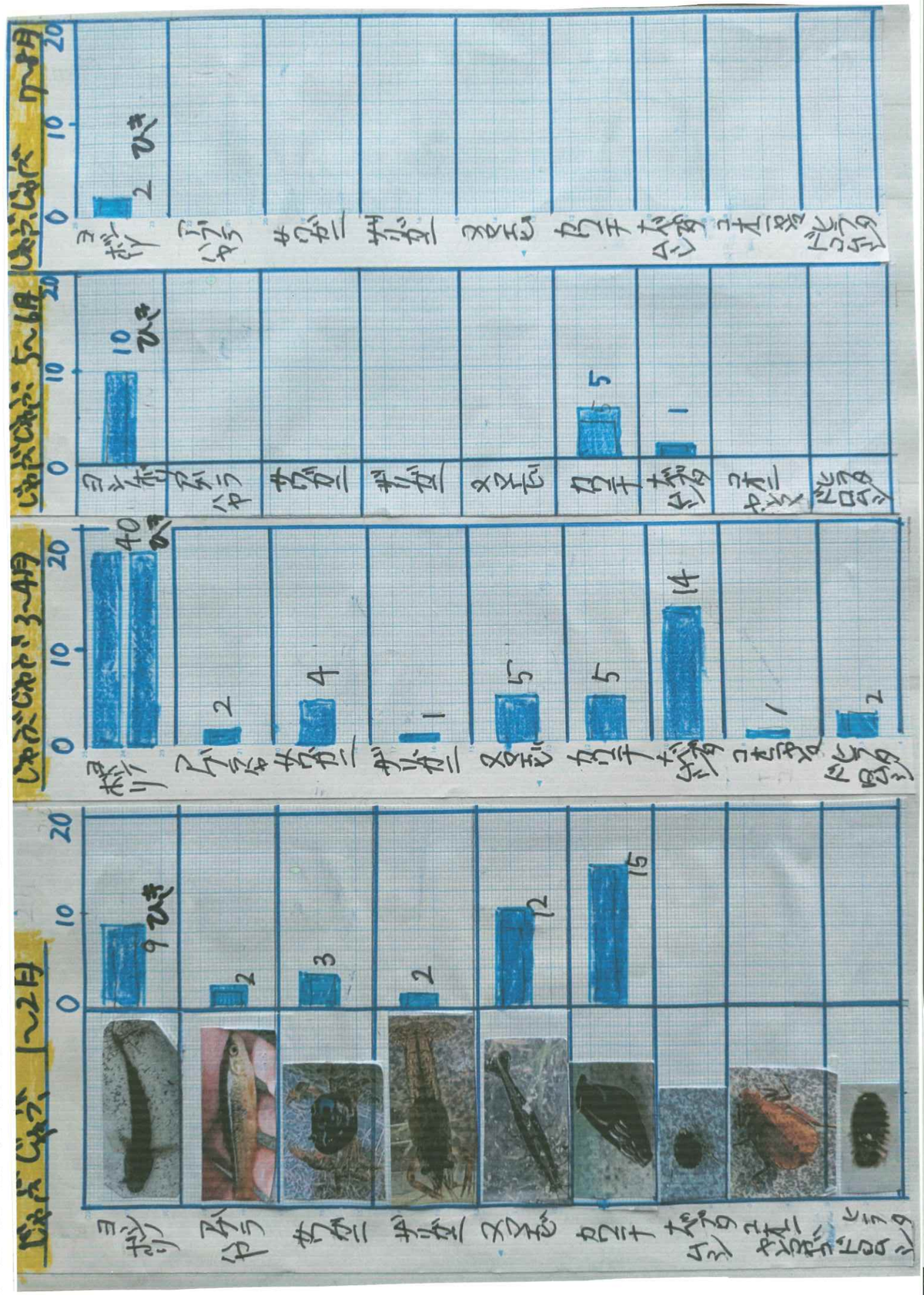


ナガミミズカイ
6月15日
下シエブ沼



オオフサモ
5月4日
8月
下シエブ沼

※地点によってそれぞれ種類のちがう植物が生育していた。



上江ヶ湖 1~2月

ヨシノボリ	7 ひき
ハゼ	1
スミウキゴリ	1
オイカワ	
イトモロコ	
ドンコ	3
タモロコ	1
サワガニ	3
ザリガニ	1
スジエビ	1
ヌマエビ	30
ナベブタムシ	2
イトトンボ	3
サナエトンボ	
コオニヤンマ	
カワニナ	7
カワムツ	
オヤニラミ	

上江ヶ湖 3~4月

ヨシノボリ	
ハゼ	4
スミウキゴリ	2
オイカワ	3
イトモロコ	1
ドンコ	26 ひき
カダヤシ	
サワガニ	3
ザリガニ	10
スジエビ	12
ヌマエビ	12
ナベブタムシ	
イトトンボ	5
オニヤンマ	3
コオニヤンマ	2
カワニナ	14
カワムツ	20
サナエトンボ	6

上江ヶ湖 5~6月

ヨシノボリ	3 ひき
ハゼ	
スミウキゴリ	1
オイカワ	
イトモロコ	2
ドンコ	6
カダヤシ	
サワガニ	6
ザリガニ	1
スジエビ	2
ヌマエビ	5
ナベブタムシ	
イトトンボ	7
オニヤンマ	
コオニヤンマ	3
カワニナ	10
カワムツ	5
サナエトンボ	

上江ヶ湖 7~8月

ヨシノボリ	
ハゼ	1
スミウキゴリ	
オイカワ	
イトモロコ	
ドンコ	3
カダヤシ	
サワガニ	2
ザリガニ	2
スジエビ	
ヌマエビ	5
ナベブタムシ	
イトトンボ	
オニヤンマ	
コオニヤンマ	
カワニナ	
カワムツ	
サナエトンボ	

下江ヶ湖 3~4月

オヤニラミ	
カワムツ	
ブルーギル	
カネヒラ	
カダヤシ	2
ヨシノボリ	2
イトモロコ	2
ギンブナ	
ハラタビラ	2
ザリガニ	3
スジエビ	1
サワガニ	2
イトトンボ	
タイコウチ	
ミズカマキリ	
ヌマエビ	5

下江ヶ湖 5~6月

オイカワ	6 ひき
カワムツ	3 ひき
ブルーギル	
カネヒラ	
カダヤシ	2
ヨシノボリ	
キンブナ	
タイリクバラタナゴ	
ザリガニ	3
スジエビ	
サワガニ	
イトトンボ	2
タイコウチ	
ミズカマキリ	2
モクズガニ	
ヌマエビ	20

下江ヶ湖 7~8月

	12 ひき
	3 ひき
	6
	2
	2
	1
	1
	1
	3
	1
	1
	2
	5

水辺でとれた生物

水辺でとれた生物（3月～8月）

ギンブナ		正一	
カワニナ		正丁	
オタマジャクシ		正	
ミズスマシ		下	
ドンコ		丁	
メダカ		丁	
ヌマエビ		正正正正	
ザリガニ		正	
イトミミズ		正正一	

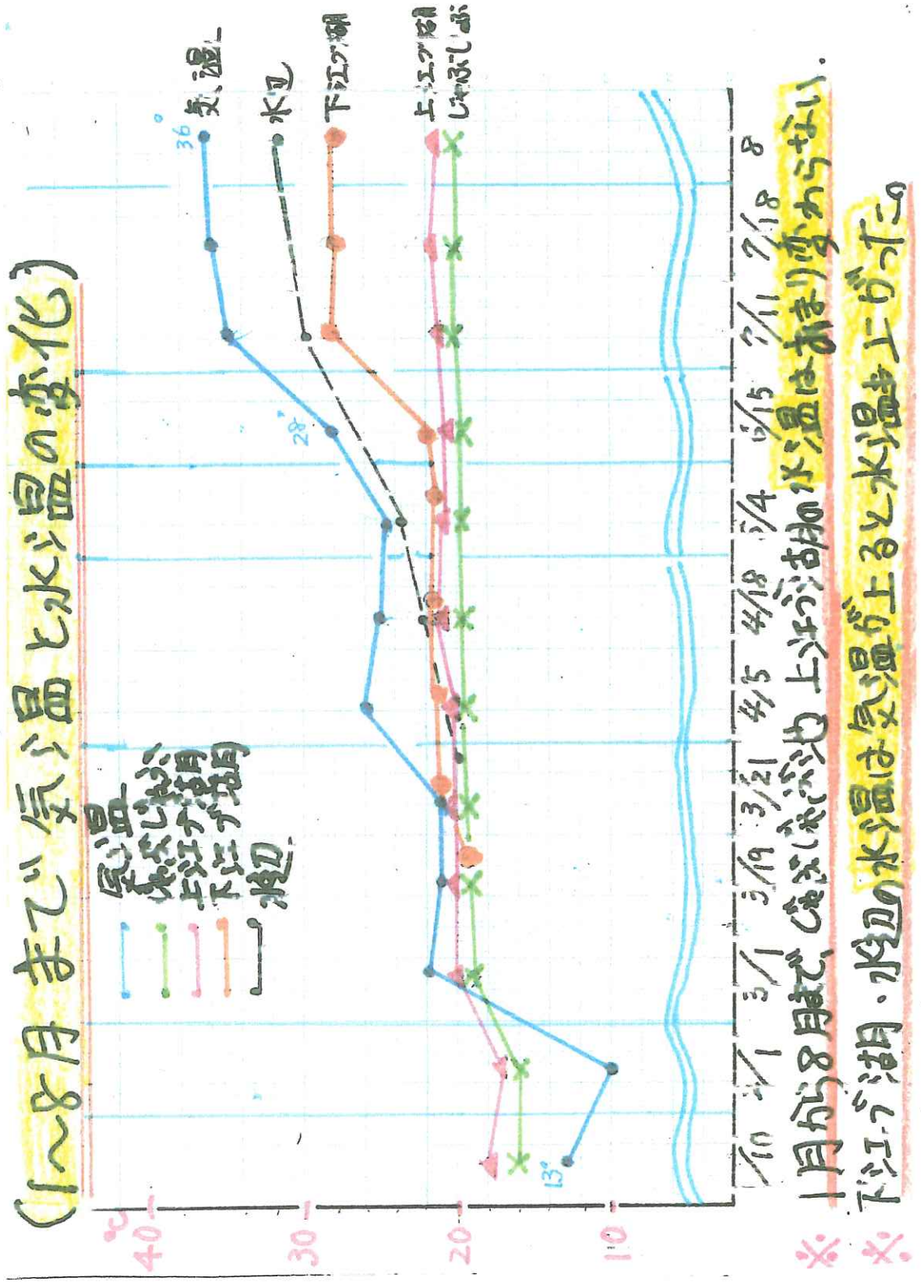


田んぼでとれた生物（3月～7月）

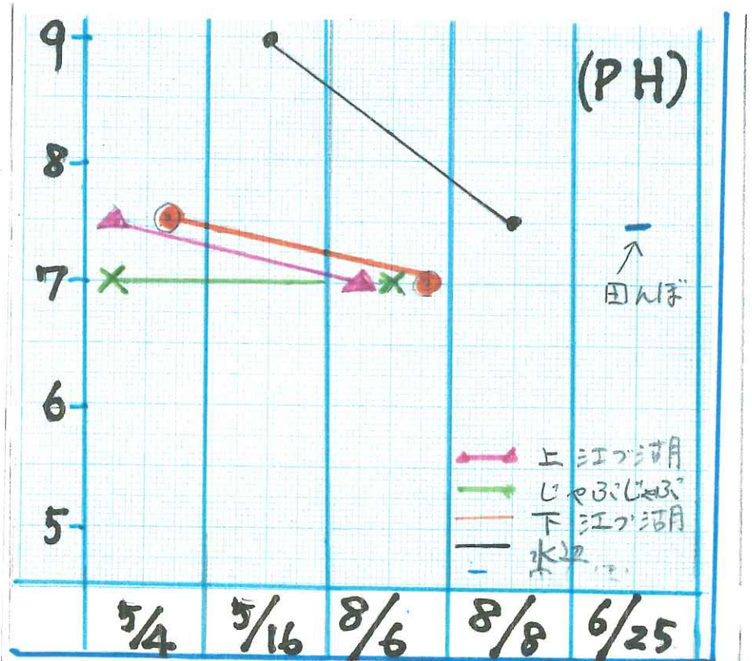




ホクネンエビ（かく大）



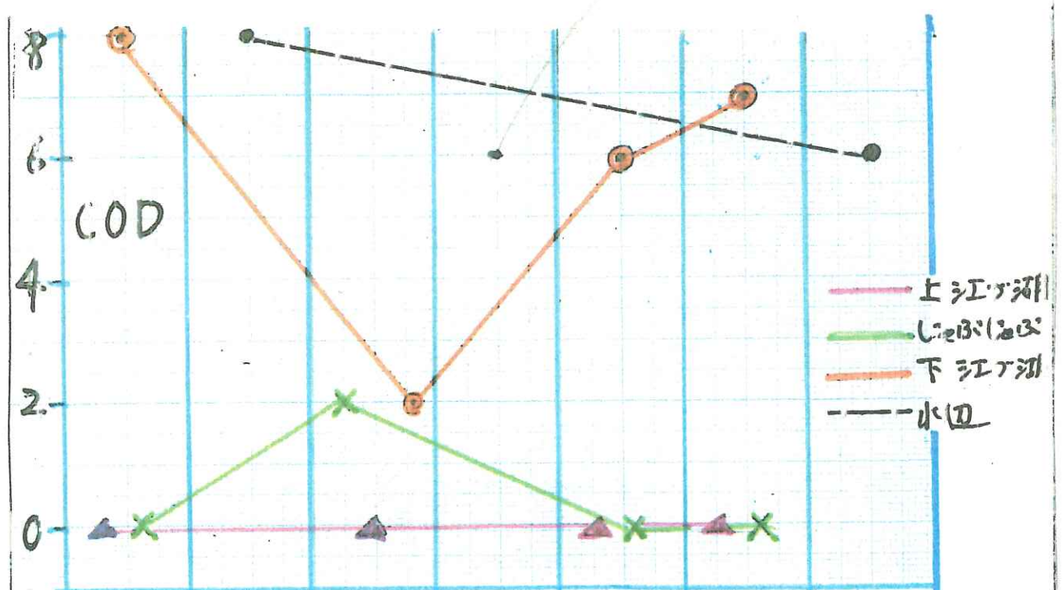
PH 検査結果



PHは、水の酸性・アルカリ性をしめす。
強酸、強アルカリ性は生物の生息に向かない。いづれも強酸・強アルカリではない。
上江ブ湖はPH7~7.5 水辺は9~9.5



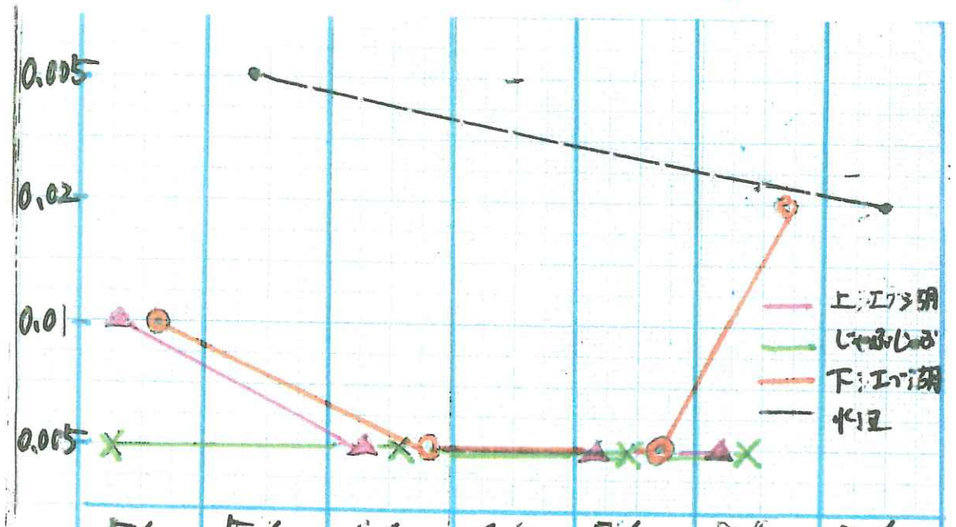
COD



COD（数値が高いほど、水がよごれている）

COD	1未満（きれい）	上江ヶ湖	→ きれい
	1〜2（ふつう）	じゃぶじゃぶ	→ きれい
	2〜5（少しよごれている）	下江ヶ湖	→ ふつう・よごれている
	5以上（とてもよごれている）	水辺	→ 少しよごれている

NO_2



NO_2

上江ヶ湖　4回のうち 0.005〜0.01 → 河川の上流水
じゃぶじゃぶ　4　〃　0.005 → 河川の上流水
下江ヶ湖　〃　0.01〜0.02 → きれいな水

水辺は 0.05（少しよごれている）田んぼもの（少しよごれている）

石井究のまとめ

① 1月から8月までの8ヶ月間

江づ湖(じゃぶじゃぶ池 上江づ湖 下江づ湖)に、月2回ほど行って、江づ湖の生物や植物などの観察を行った。

その結果、感じたことは、江づ湖には、たくさんの水生生物が生息し、きせつごとにたくさんの植物1~2月にはかわいい鳥を発見した。

江づ湖は、たくさんのゆたかな自然があり、とてもよい所だと思った。

② 上江づ湖で、18種類(多くの種類の生物)がとれた。

じゃぶじゃぶ池で 9種類

下江づ湖で18種類

全部で28種類の生物がとれた。

場所によって、とれた生物がちがうことがわかった。

今年初めてとれた生物は

スミウキゴリ、タモロコ、ナベブタムシ、カネヒラ、カムルチー、ジルティラピア、タイコウチ、テナガエビ、モクズガニの9種類であった。テナガエビ・モクズガニはめったにとれない江づ湖の宝である。

③ じゃぶじゃぶ池では、ヨシノボリが多かった。
それぞれの場所で、とれた生物の種類がちがう理由は、その場所で水しつがちがったということが考えられる。

④ 水しつけんさをしてわかったことは、上江ブ沼、じゃぶじゃぶ池は、8ケ月間を通して、水温がほぼ同じで、冬(1~2月)はあたたかく夏(7~8月)はつめたく感じた。
それは、江ブ沼には地下水(わき水)が大量に出ているからだと思う。

⑤ 水しつけんさをそれぞれの場所で7回ほど行った。
その結果、上江ブ沼・じゃぶじゃぶ池の水は上流水できれいだった。
下江ブ沼は、少しよごれていた。
それは、わき水の量がそれぞれちがうからだと思う。
水辺・田んぼの水は、少しよごれていた。

⑥ きせつによって、とれた生物がふえたり、へったりした。7~8月は、とれる魚が少なかった。

⑦ じゃぶじゃぶ池で、魚があまりとれなかったのは、水深があさくて、魚にとって住みにくいかんきょうだったかもしれない。

⑧ 江ブ湖の外来種は、魚がオオクチバス、ブルーギルなど。
植物はブラジルチドメグサ
オオフサモなど。
これらは、特定外来生物といって
生きたままのいどうや持ち帰り
し育や放流などは禁じられて
いる。
江ブ湖で見つけたバラタナゴは
調べたら外来種だということがわかった。
ざい来のバラタナゴは江ブ湖には
いなくなってしまっていることがわかった。

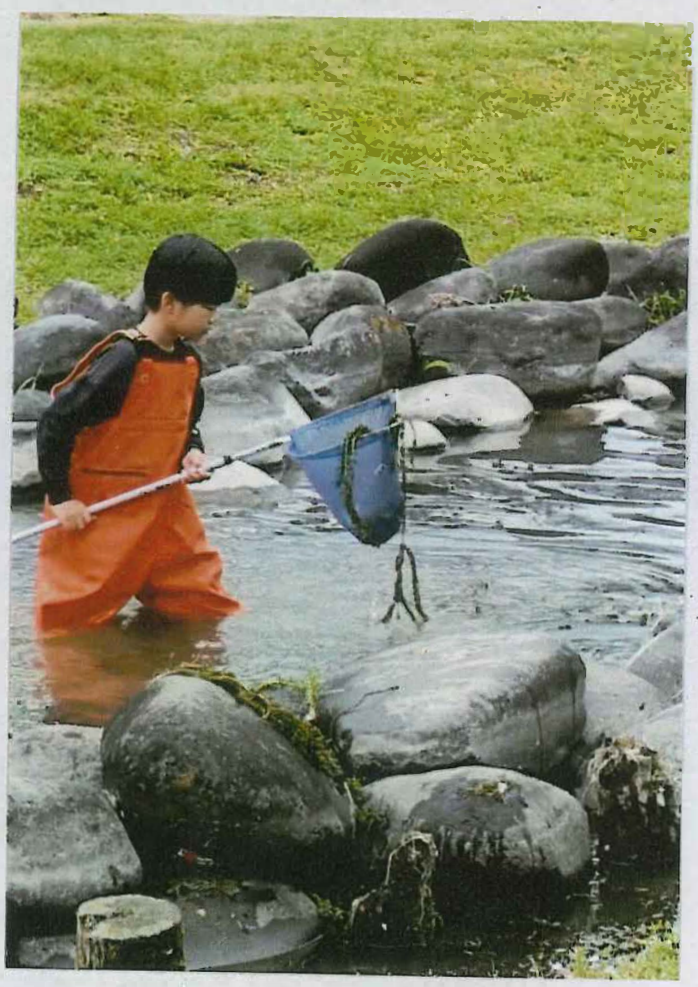
⑨ 江ブ湖は、熊本市動植物園
のとなりにあり、とても自然ゆたか
で多くの人がさん歩したり、遊ん
だり、魚をとったりすることが
できるいい場所だと思った。

⑩ 江ブ湖の生物は、きれいな水
をこのむ生物もいれば、少し
よごれた水を好む生物もいる
ということがわかった。



水しらべノート





水生生物が生息する水のかんきょうは？





2026年
1～8月





近くの田んぼ



1. 水しつけんさをする動機

ジェゾン湖では、上ジェゾン湖・下ジェゾン湖じゃがじゃが池で水生生物をとったりしましたが、場所によって、生息している生物がちがうことに気がきました。それは、なぜだろうと思い、水のけんさをしてみることにしました。

2. けんさの方法

水を調べる方法は、どうしたらよいのかを3年生見学旅行で行った「白川わくわくランド」の先生に聞いてみた。

その結果、自由研究キット

「やってみよう 水のけんさ」

を使うことにした。



○ 調べる水

- 上江づ湖
- 下江づ湖
- じゃぶじゃぶ池
- 水辺
- 田んぼ

○ 水いを調べるためのパックテストを使った。

手順

調べ方

①

1.調べる水を準備する。

・ビーカーに調べる水を入れる。

・水温計で水温を計り、記録表に記録する。



②

2.試薬に採水する。

・試薬の先についている栓を抜く。



・指でつまんで空気を押し出す。そのまま先端を水に入れて指をはなし、水を吸い上げる。



③

3.記録表に測定結果を記入する。

・測定時間を計り、変化した水の色と比色紙を比べる。

PH … 20秒
NO2 … 2分
COD … 6分(10℃の場合)
5分(20℃の場合)
PO4 … 5分



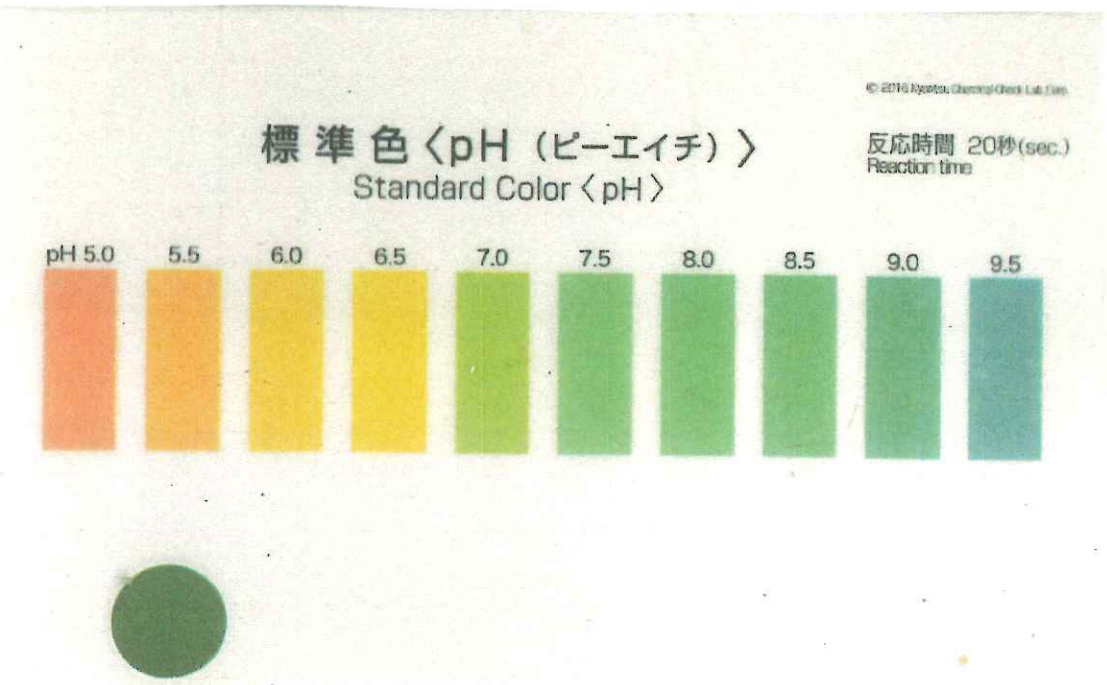
・結果を記録紙に記入する。

測定項目

pH（ペーハー）
水素イオン濃度



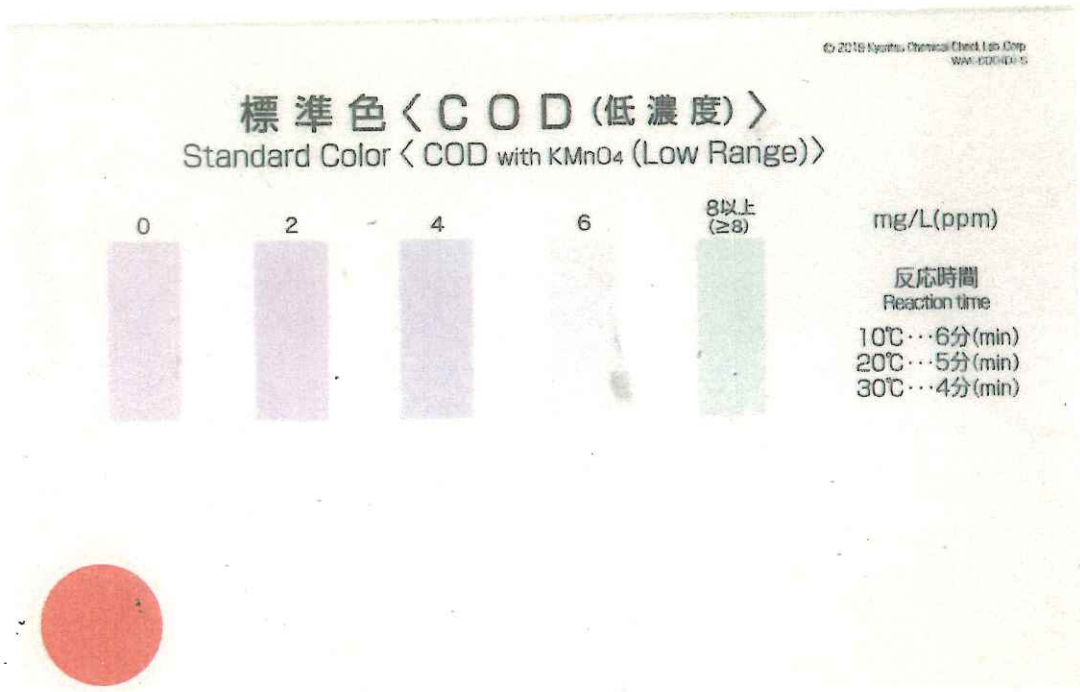
水の酸性/アルカリ性を表します。一般的には値７が中性とされています。強酸・強アルカリ性のいずれも生物や植物の生息には適さない環境となります。



シーオーディー
COD
科学的酸素要求量



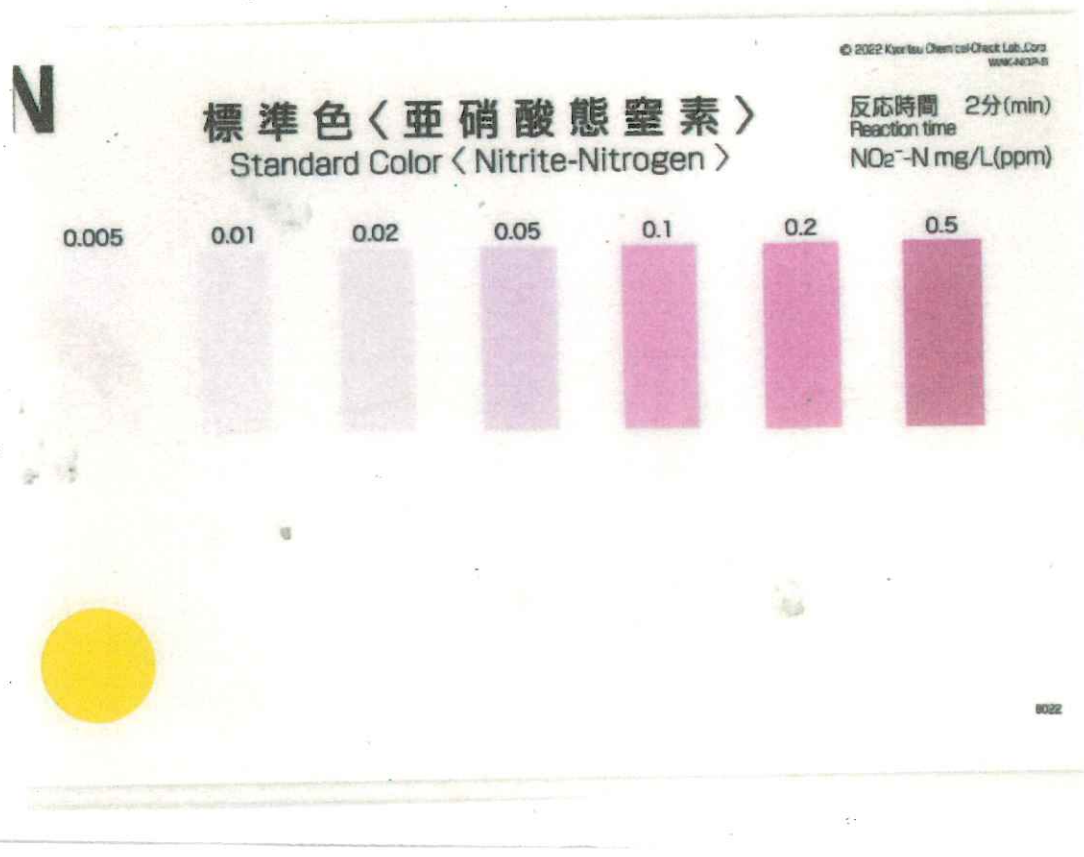
水中にある物質（主に有機物）が酸化されるときに消費する酸素量の値です。
この値が高いと、水中の酸素が不足して、魚が生息できない環境となります。



エヌオーツー
NO2
亜硝酸態窒素



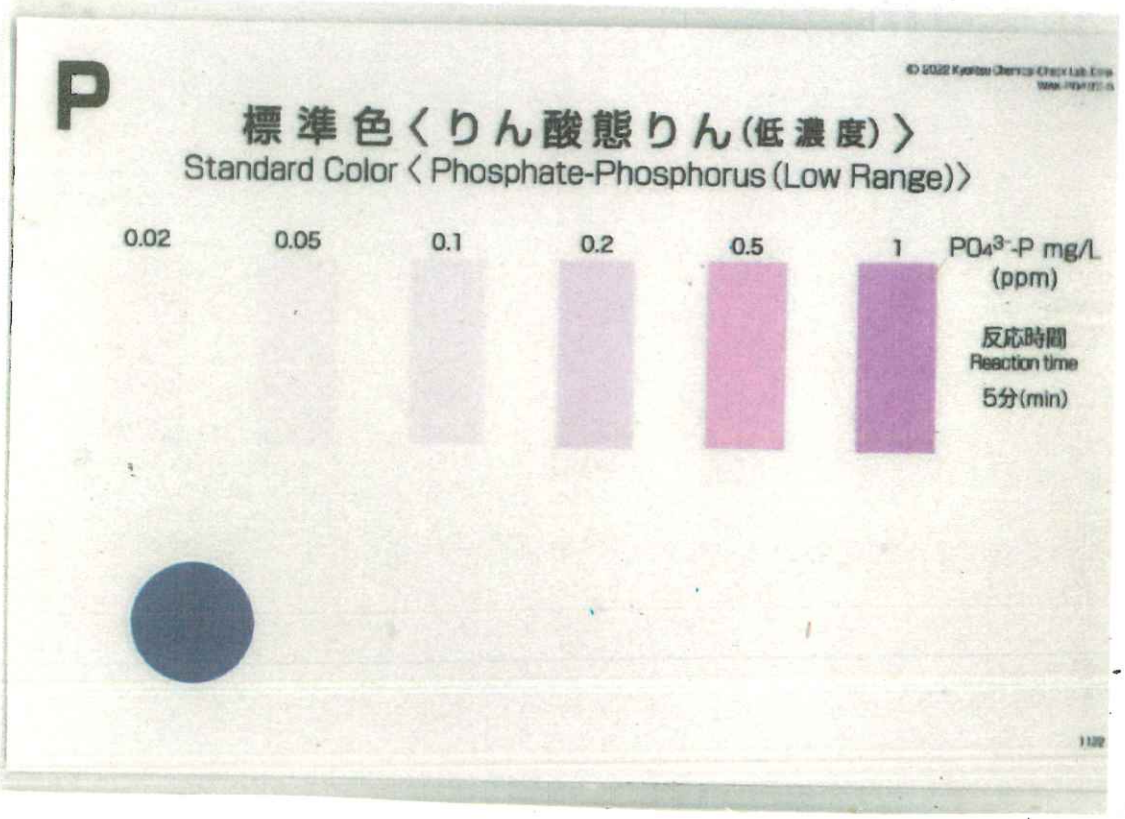
亜硝酸は、窒素が自然界で分解される途中の段階です。生活排水や土壌から流れ込むことにより、水中の窒素化合物が変化して生成されます。
値が高くなるほど、汚染源が近くにあるとされます。



ピーオーフォー
PO4
りん酸態りん

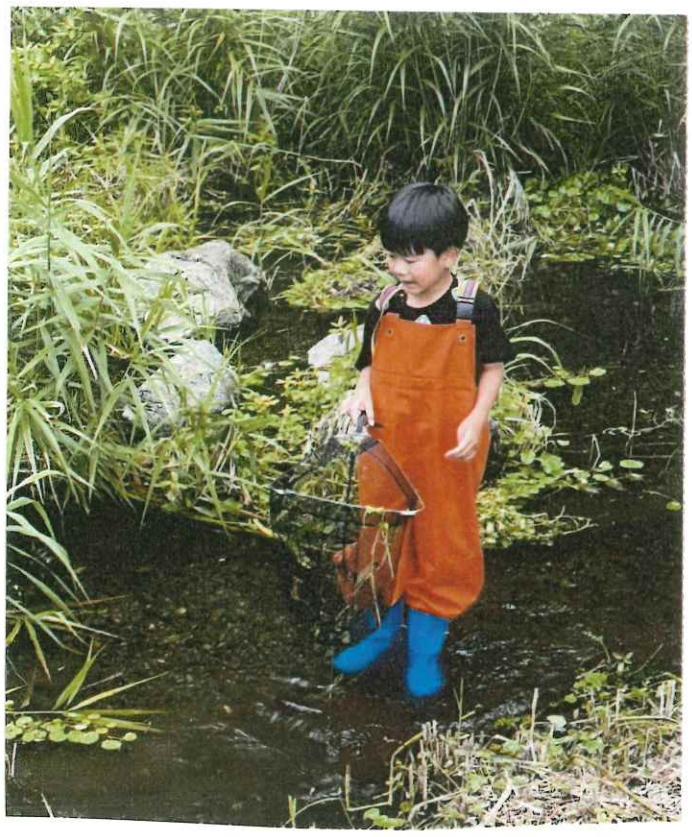


りん酸は、樹木や水草や生物の死がいなどの分解から供給されますが、本来水中には少ししかありません。
工場排水、生活排水の流れ込みによって生じた汚れから、より高い値となり、藻類の大量発生の原因にもつながります。

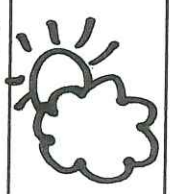




5月　（上江で沽月）





日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度	COD 科学的酸素要求量	NO 2 亜硝酸窒素	PO4 リン酸態りん
					２０秒	５分	２分	５分
5月4日	12:40		21°	上江の水は澄んでいる	7.5 中性	0 きれい	0.01 きれい	0.1 多い









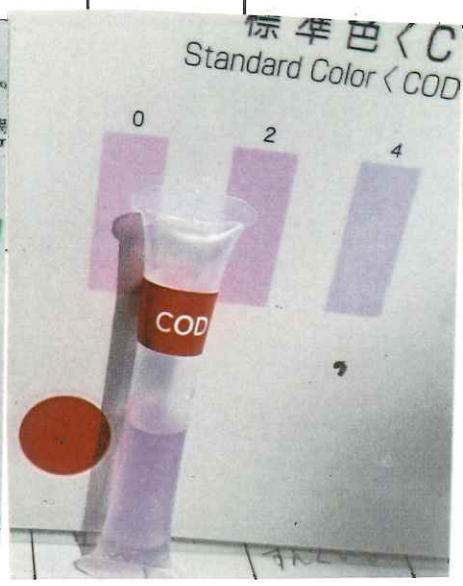
5月 - (上江戸湖の



水をとっている)

日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 ２０秒	COD 科学的酸素要求量 ５分	NO２ 亜硝酸窒素 ２分	PO4 リン酸態りん ５分
5月4日	13:15	晴	19°	じゃぶじゃぶ 泡	7.0 中性	0 きれい	0.005 きれい	0.05 少ない







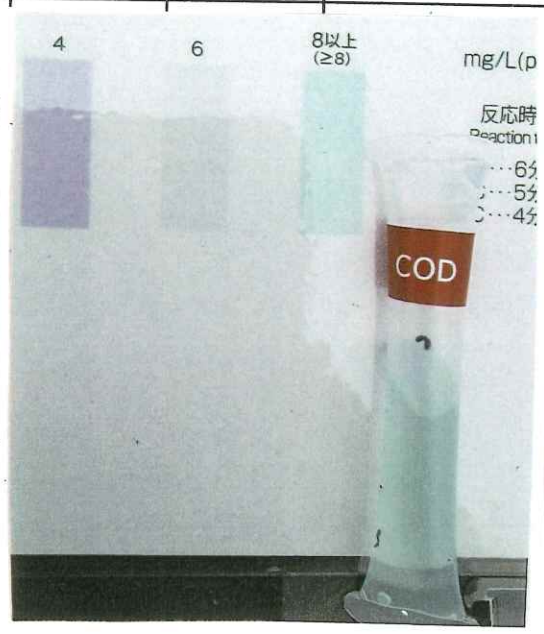


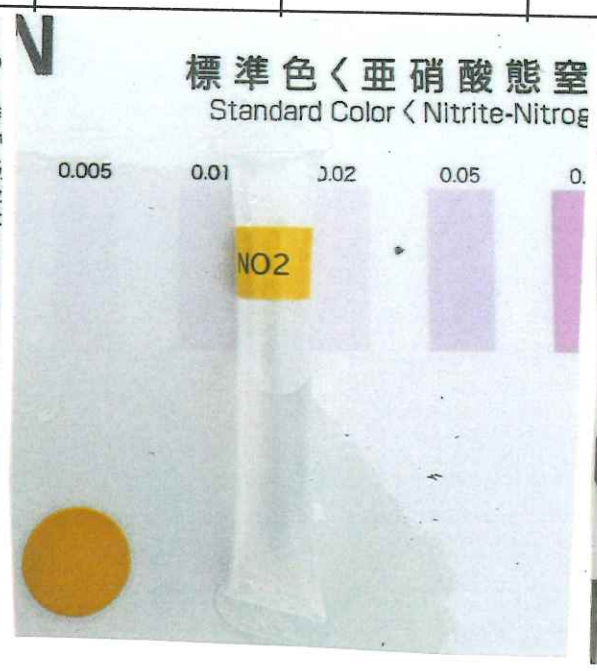


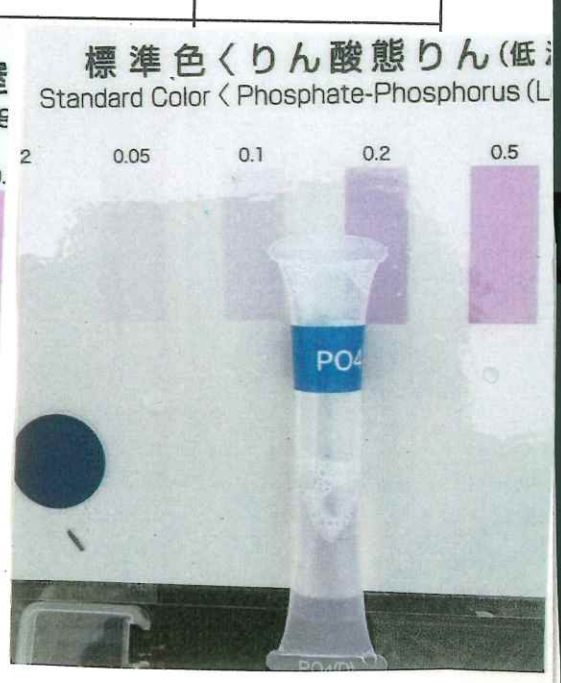
（カムルチー）

日にち	時間	天気	水温	場所	PH	COD	NO 2	PO4
					水素イオン濃度	科学的酸素要求量	亜硝酸窒素	リン酸態りん
					２０秒	５分	２分	５分
5月4日	14:30-	☼	21°	下江別駅	7.5 中性	8 とてもにごっている	0.01 きれい	0.1 えっ！









※CODの結果が8だった。少しよごれている

6月　（じゃぶじゃぶ池）



水しつ検査

日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 ２０秒	COD 科学的酸素要求量 ５分	NO 2 亜硝酸窒素 ２分	PO4 リン酸態りん ５分
6月15日	13:40	☁	19℃	じゃぶじゃぶ池	×	2	0.005	0.02



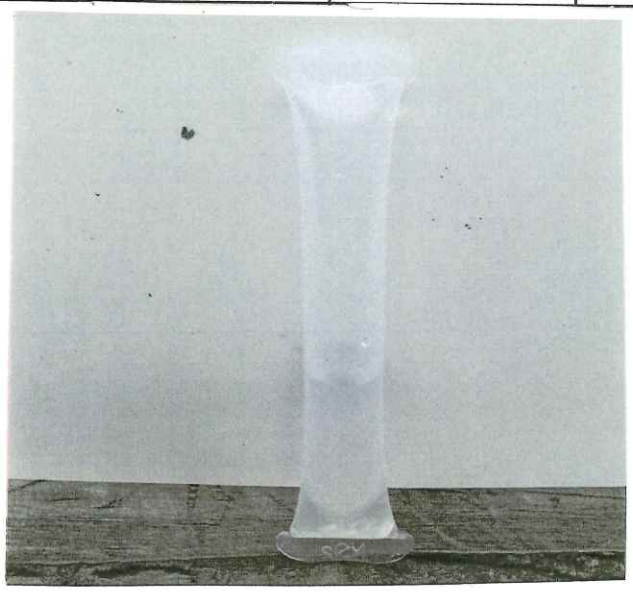


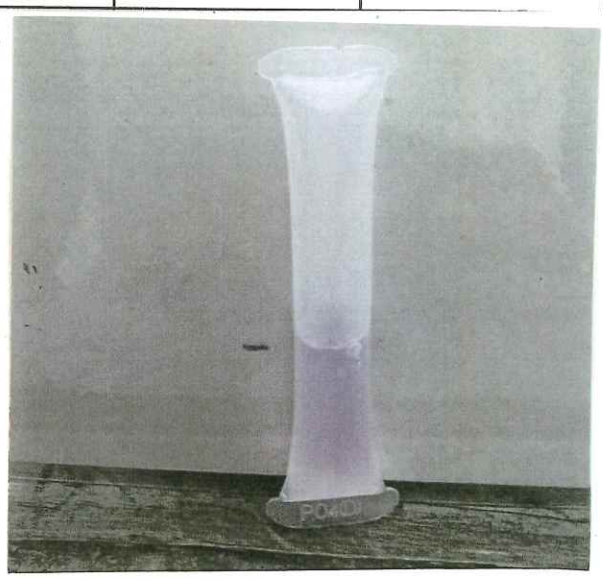




日にち	時間	天気	水温	場所	PH	COD	NO 2	PO4
					水素イオン濃度	科学的酸素要求量	亜硝酸窒素	リン酸態りん
					２０秒	５分	２分	５分
6/15	13:10		20℃	上江津湖	なし	0	0.005	0.1 ~~0.05~~





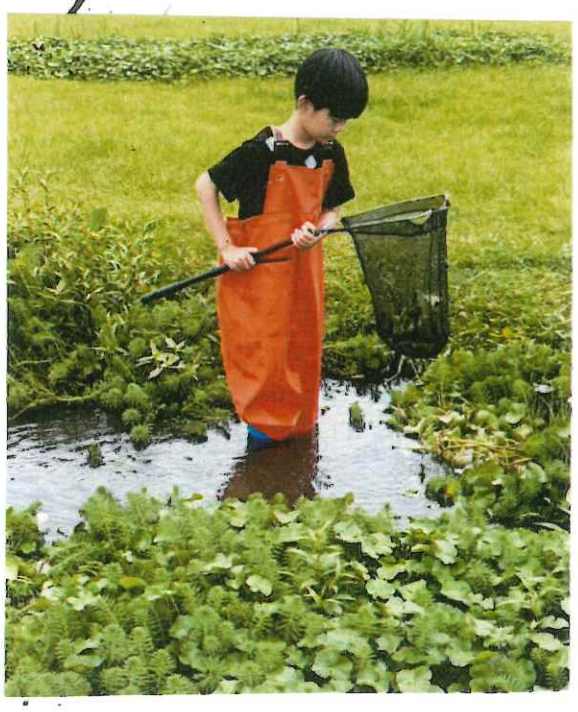


6月　下江ヶ湖

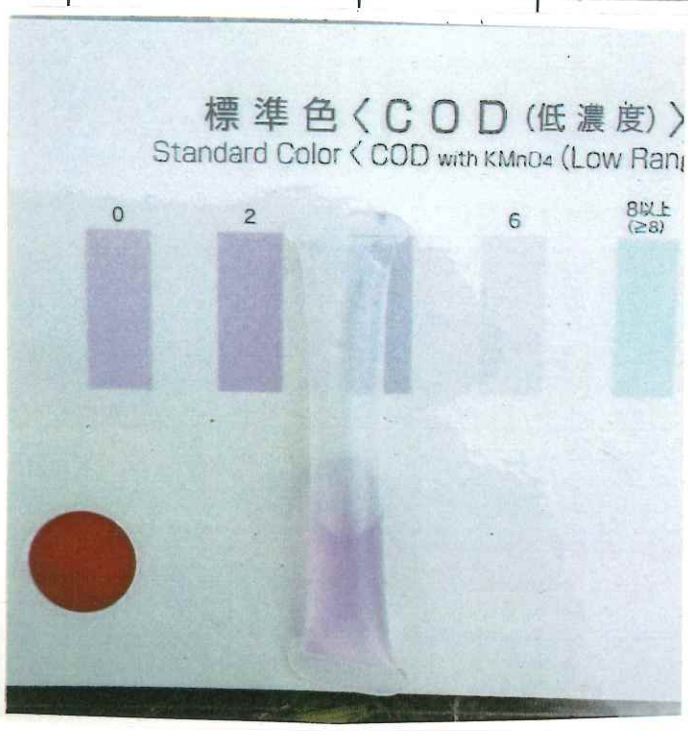


（水をとっている）

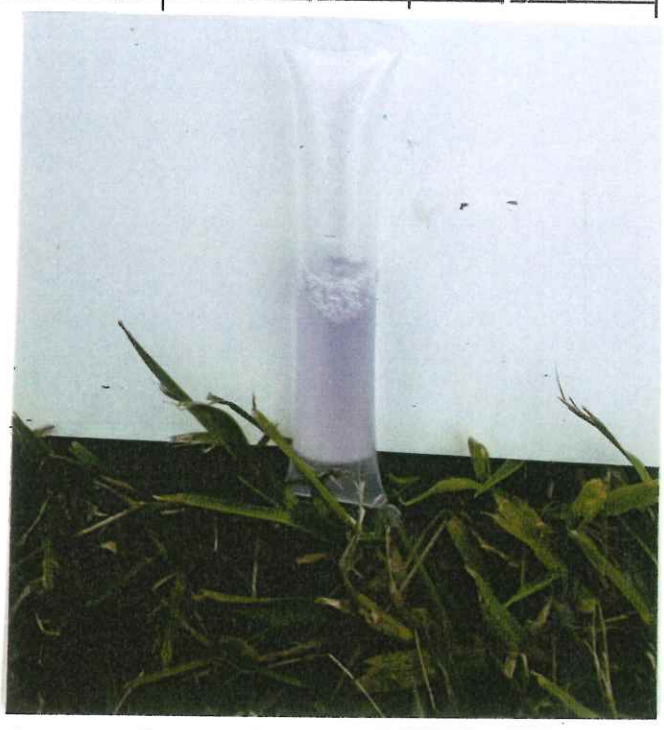




日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度	COD 科学的酸素要求量	NO 2 亜硝酸窒素	PO4 リン酸態りん
					２０秒	５分	２分	５分
6月15日	15:00	☁	21°	下江ヶ湖		2	0.005	0.1





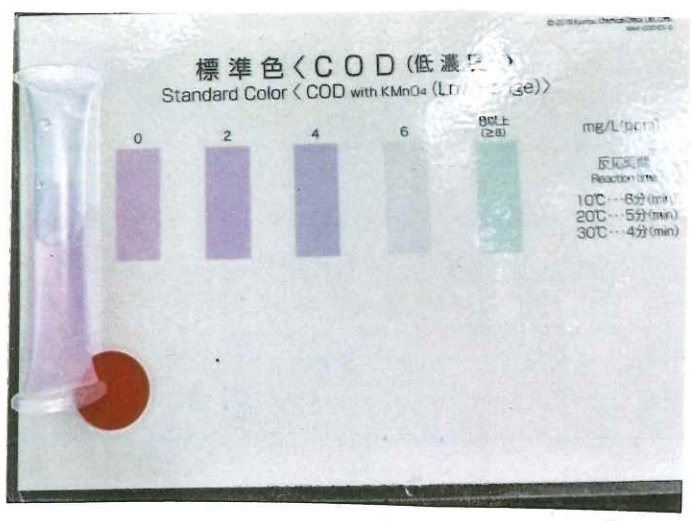


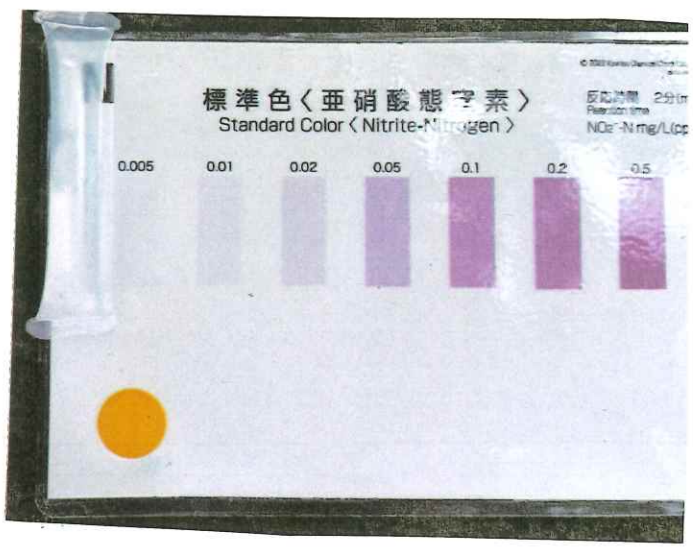
7月　じゃぶじゃぶ池

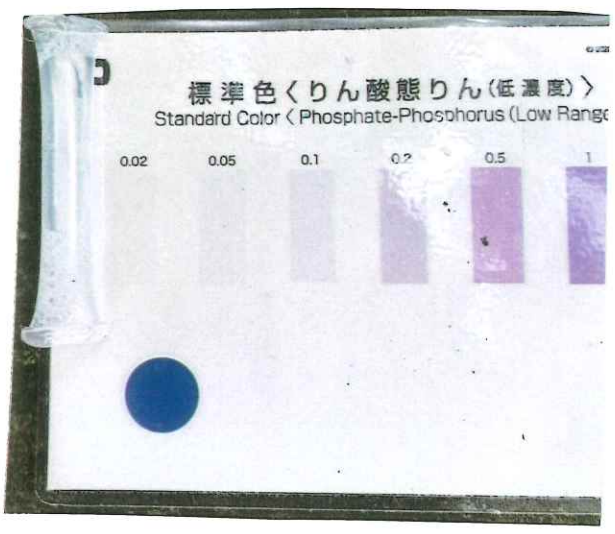


水しつ検査

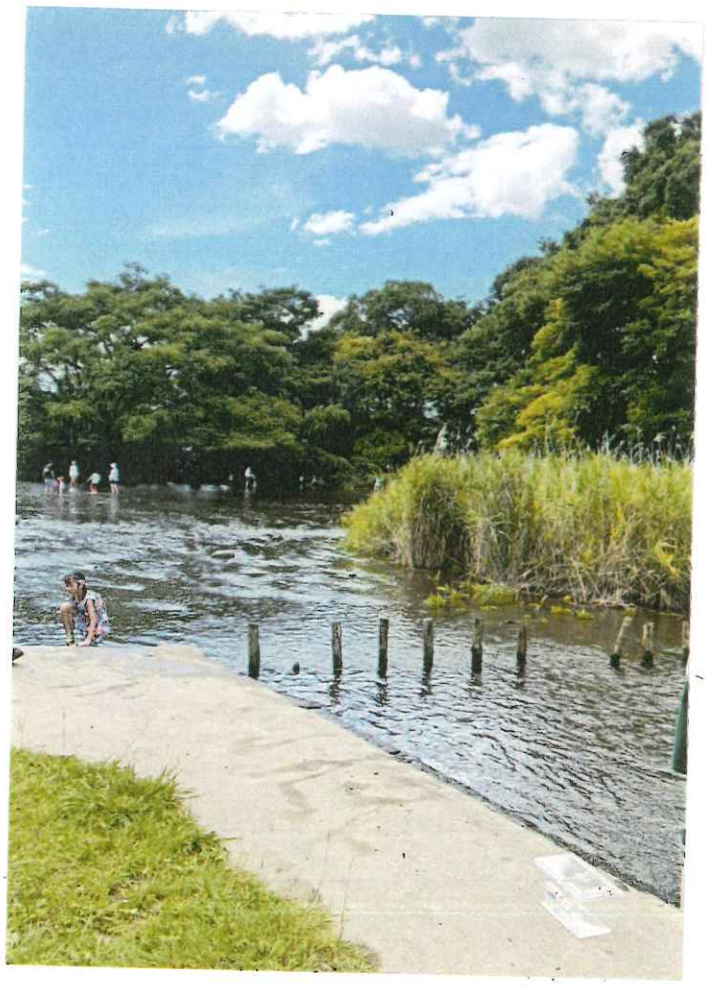
日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 ２０秒	COD 科学的酸素要求量 ５分	NO 2 亜硝酸窒素 ２分	PO4 リン酸態りん ５分
7/11	14:00	くもり	20℃	じゃぶじゃぶ池		0	0.005	0.02





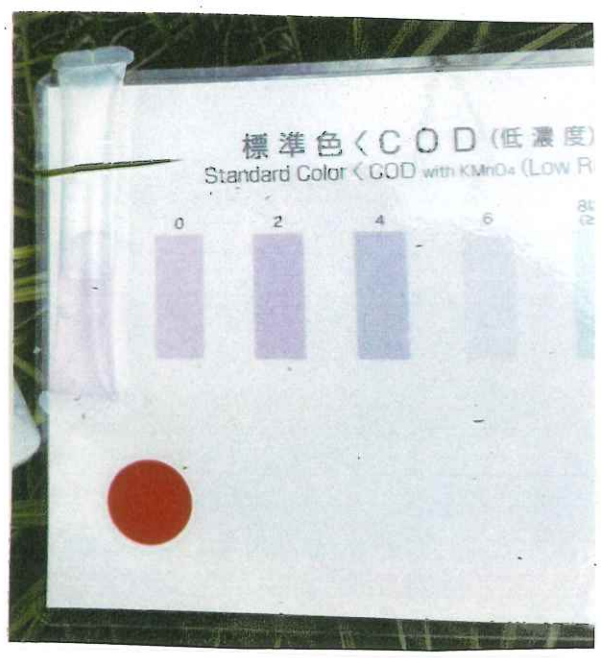


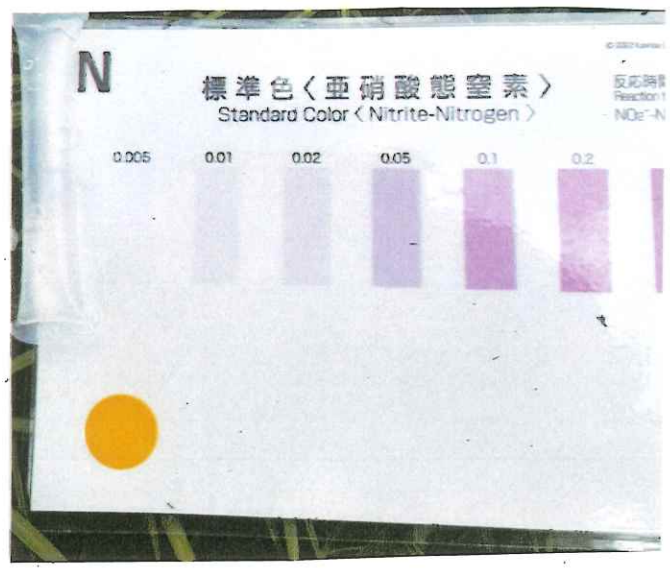




いわふねいけ
池

日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度	COD 科学的酸素要求量	NO 2 亜硝酸窒素	PO4 リン酸態りん
					２０秒	５分 30℃以上(4分)	２分	５分
7/11	13:45	(35°)	21℃	上ノエつ湖		0	0.005	0.02





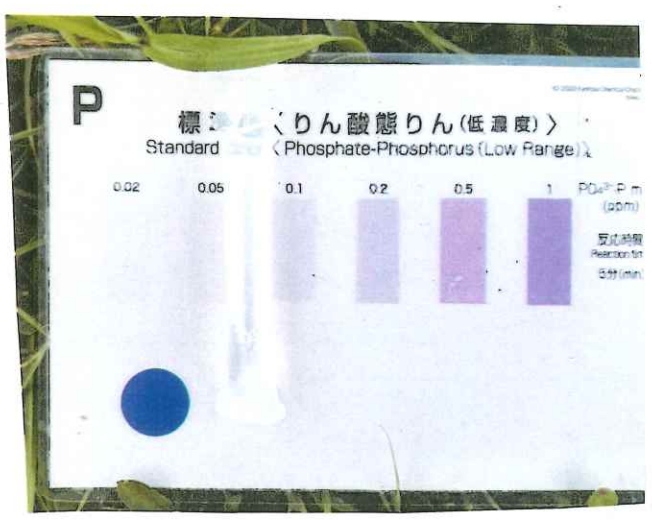


下江づ湖（7月）

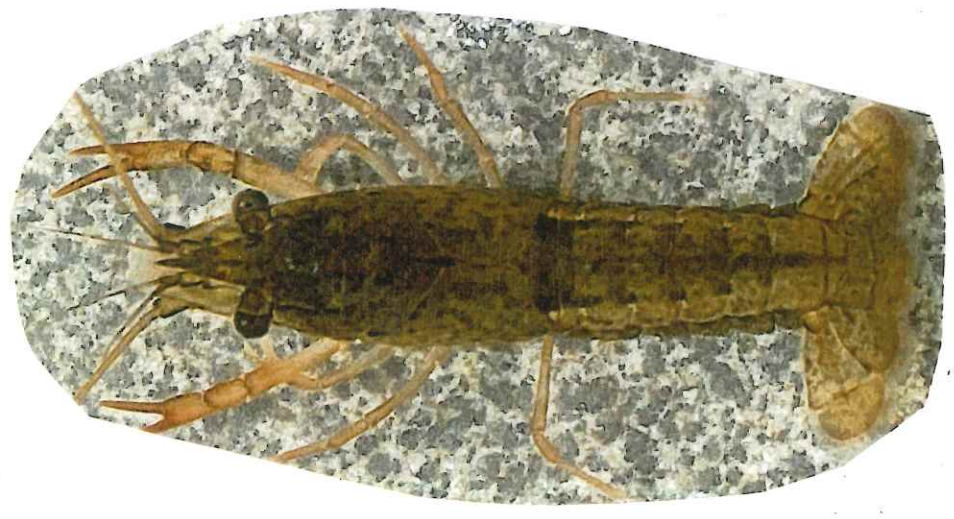




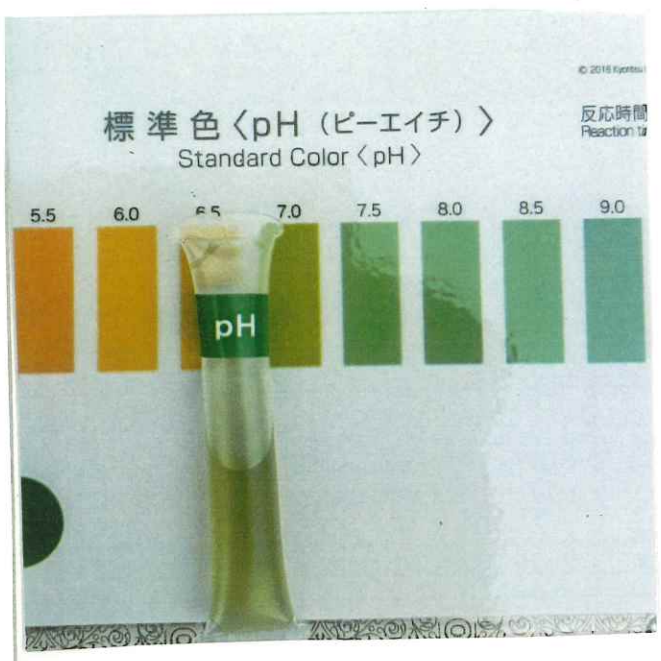
日にち	時間	天気	水温	場所	PH	COD	NO 2	PO4
					水素イオン濃度	科学的酸素要求量	亜硝酸窒素	リン酸態りん
					２０秒	５分	2分	５分
7月11日	15:00	36℃	28℃	下江づ湖		6	0.005	0.05







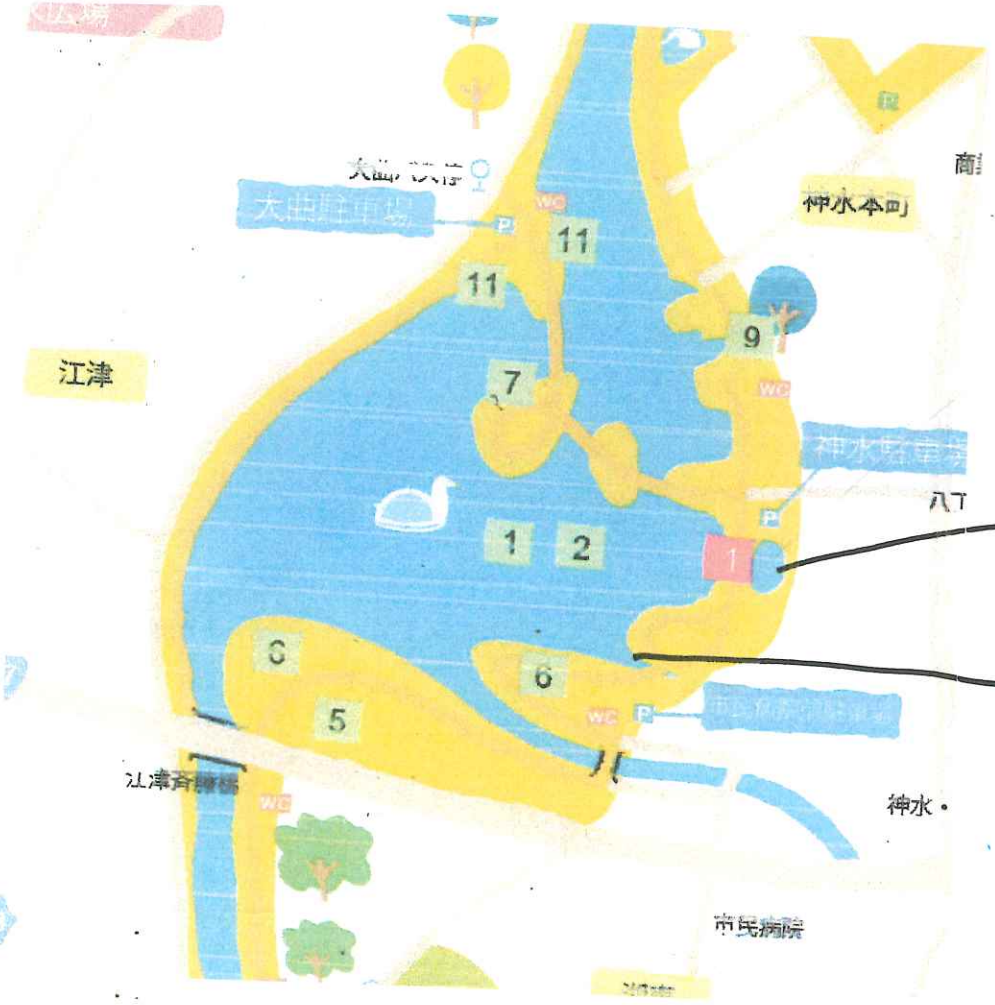
日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 20秒	COD 科学的酸素要求量 5分	NO 2 亜硝酸窒素 2分	PO4 リン酸態りん 5分
8月6日	14:00	37°	21°	上江洞湖	7	0	0.005	0.02







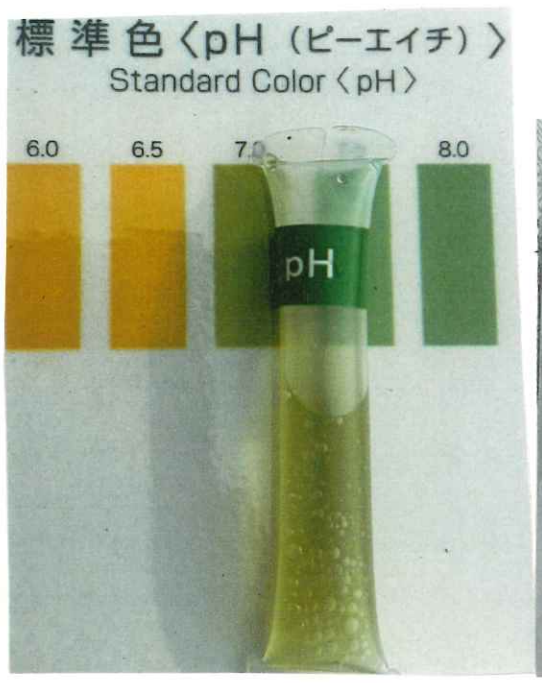




じゃぶじゃぶ池

上江津湖

日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 20秒	COD 科学的酸素要求量 5分	NO2 亜硝酸態窒素 2分	PO4 リン酸態りん 5分
8月6日 8/6	15:00	曇れ 37℃	19°	じゃぶじゃぶ池	7	0	0.005	0.1





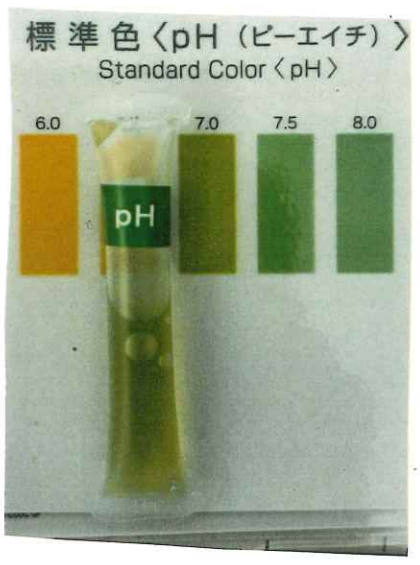




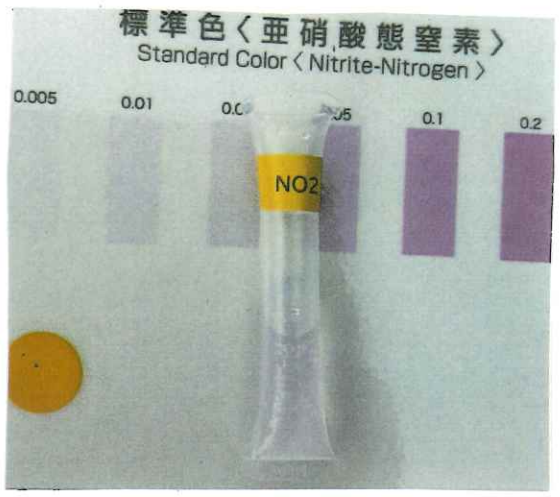


下江ブ湖

日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 20秒	COD 科学的酸素要求量 5分	NO2 亜硝酸窒素 2分	PO4 リン酸態りん 5分
8/6	15:00 37℃	晴 37℃	27℃	下江ブ湖	7	7	0.02	0.02



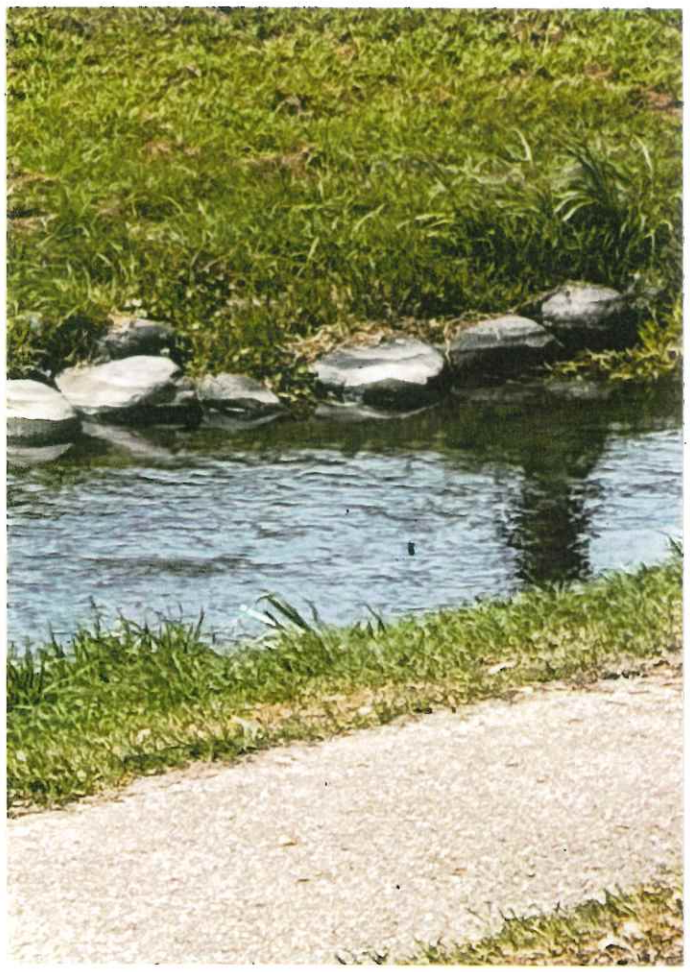






5月16日

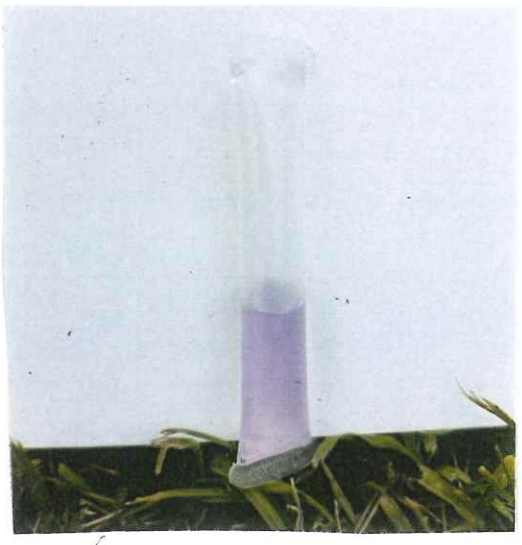
水辺の川



日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度 ２０秒	COD 科学的酸素要求量 ５分	NO２ 亜硝酸窒素 ２分	PO4 リン酸態りん ５分
5/16		晴	24℃	水辺	9	8	0.05	0.2

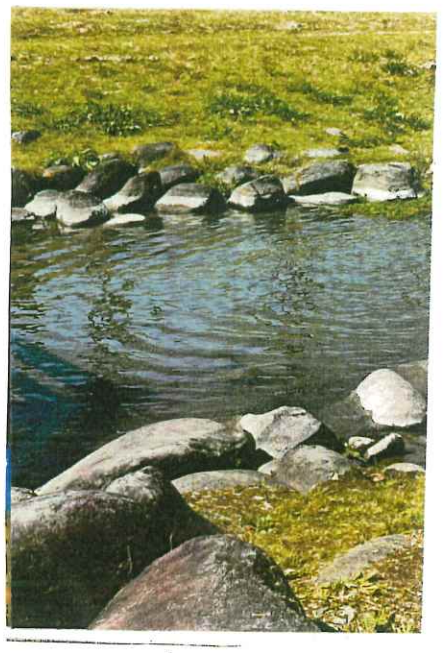
COD　　NO2　　PO4







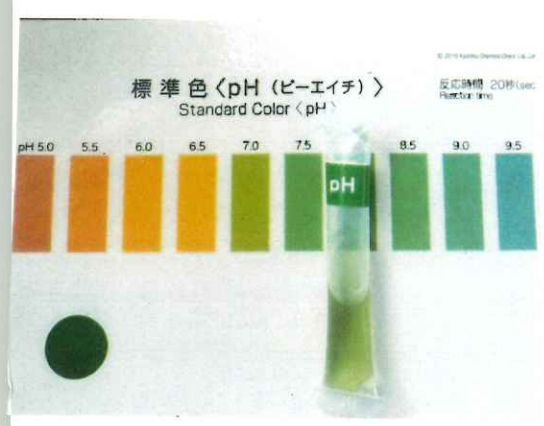
水辺の川

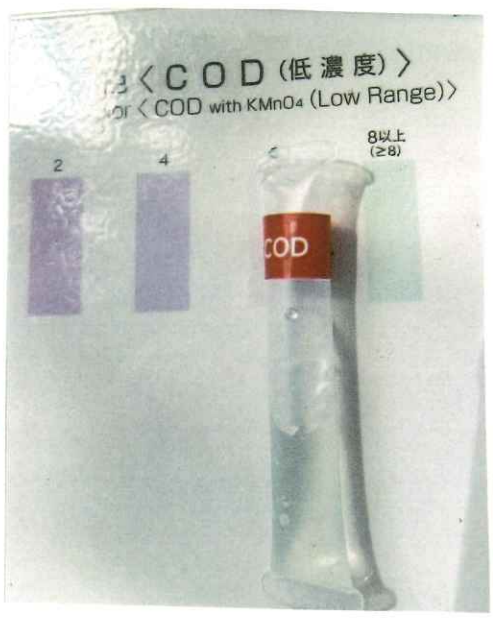




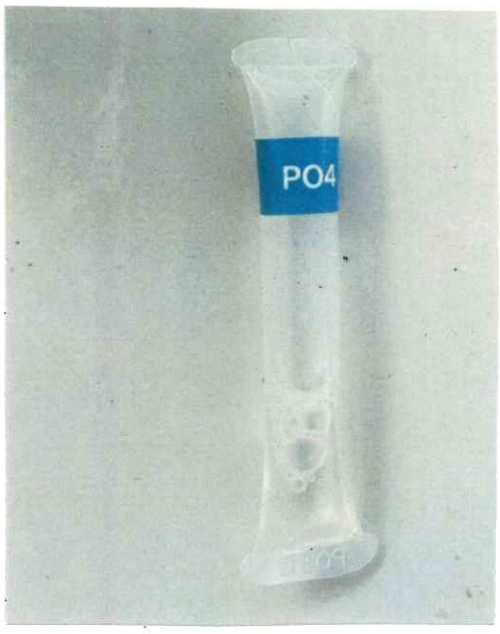
どんこ

日にち	時間	天気	水温	場所	PH 水素イオン濃度	COD 科学的酸素要求量	NO2 亜硝酸窒素	PO4 リン酸態りん
					２０秒	５分	２分	５分
8/8	14時	くもり 30	31℃	水辺	7.5	~~7.5~~ 6	0.02	0.02










マルタニシ


マツモムシ

家の近くの田んぼ




ハラアカイモリ


オタマジャクシ


ホタル

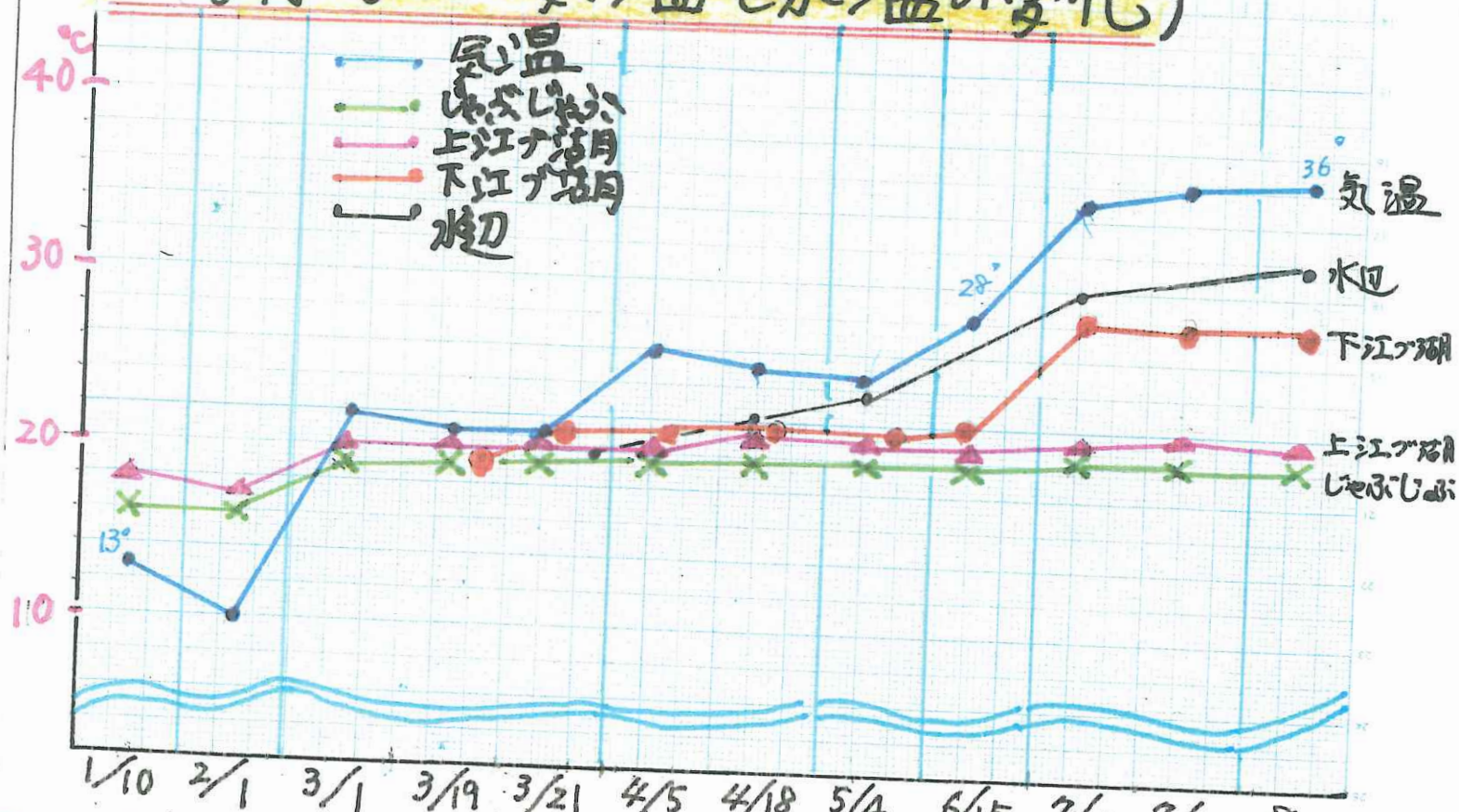
日にち	時間	天気	水温	場所	PH	COD	NO 2	PO4
					水素イオン濃度	科学的酸素要求量	亜硝酸窒素	リン酸態りん
					２０秒	５分	２分	５分
6月25日	18:00	30°	26°	田んぼ		6	0.02	0.05







(1～8月まで気温と水温の変化)

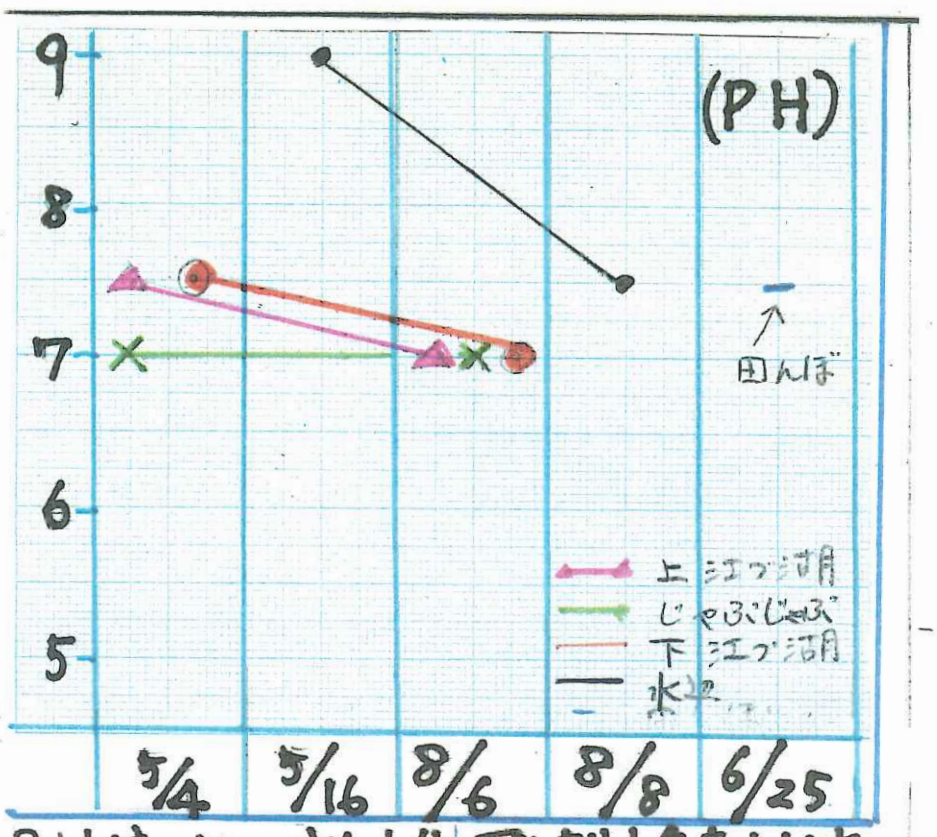


※ 1月から8月まで、じゃぶじゃぶ池 上江ノ沼の水温はあまり変わらない.

※ 下江ノ湖・水辺の水温は気温が上ると水温も上がった.

PH

検査結果

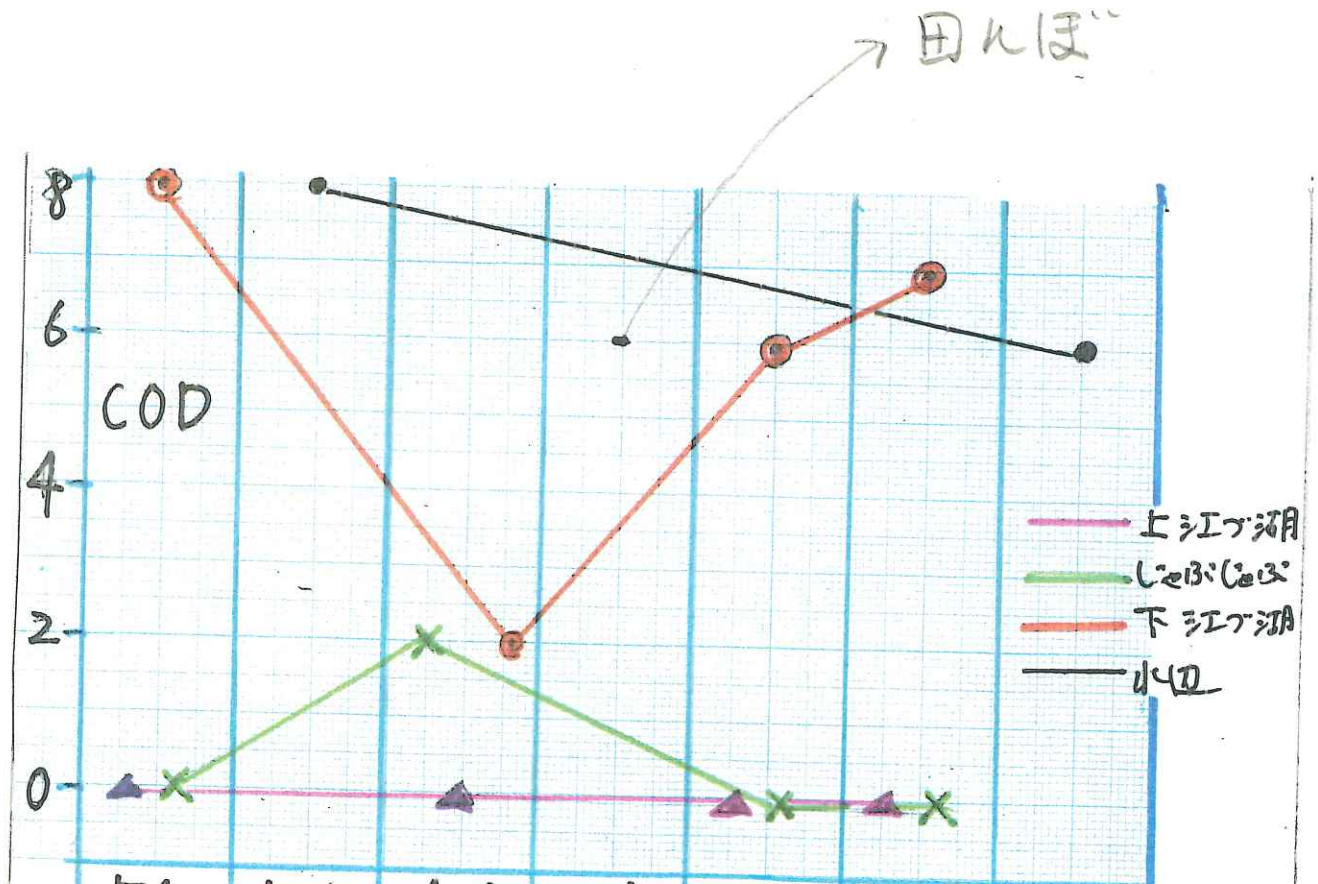


PHは、水の酸性・アルカリ性をしめす.

強酸、強アルカリ性は生物の生息に向かない.いづれも強酸・強アルカリではない.

COD

検査結果



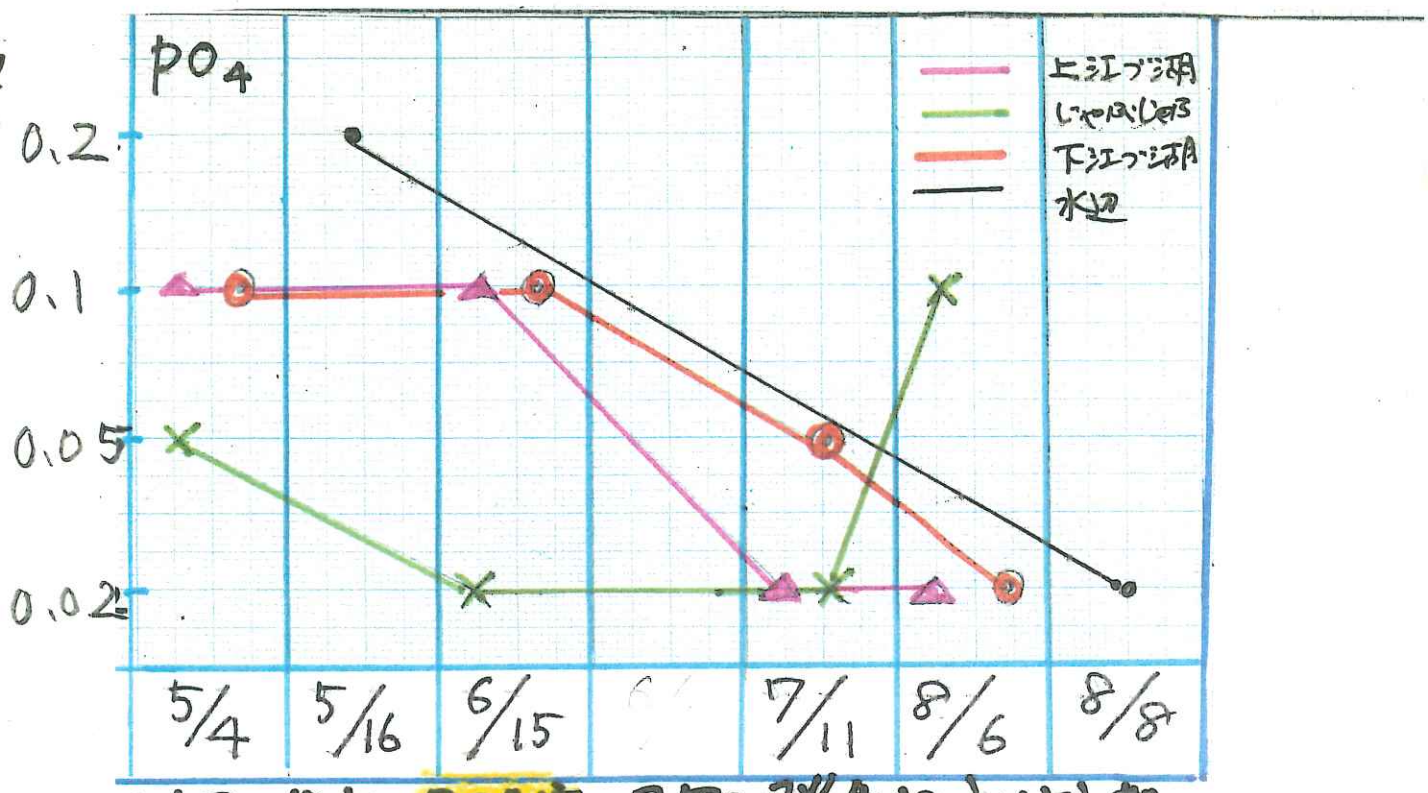
〈COD〉(数値が高いほど、水がよごれている)

COD 1みまん (きれい)
1～2 (うつう)
2～5 (少しよごれている)
5以上 (とてもよごれている)

上江ノ湖→きれい
じゃぶじゃぶ→きれい
下江ノ湖→うつう・よごれている
水辺→少しよごれている

PO4

検査結果



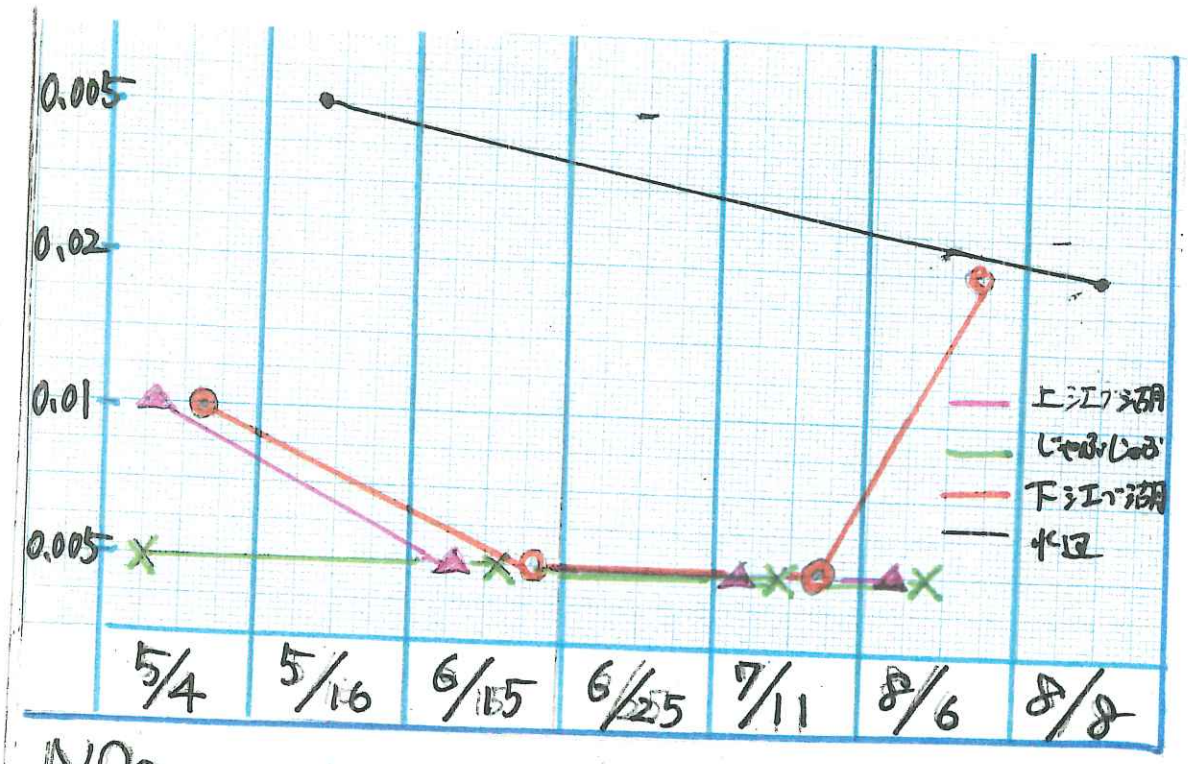
水しつにおけるPO4は、コケの発生やえいようが高いかどうかを表す。

ましいきじゅんは0.5mg/L以下がのぞましい。

この湖は4回ともきじゅん以下だった。

NO_2

検査結果



NO_2

上ジエブ沼　4回のけんさは0.005～0.01→河川の上流水

じゃぶじゃぶ　4　〃　0.005→河川の上流水

下ジエブ沼　〃　0.01～0.02→きれいな水

水辺は0.05（少しよごれている）田んぼも0.05（少しよごれている）